

地域資料個票一覧

2023/07/18 14:53:07

会田血涙資料

【 資料群: 1014001 会田血涙資料 】

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1	昭和11	1936	アリアンサ移住地 創設十年	西澤太一郎 信濃海外移住組合		書籍	アリアンサ移住地創設十年史
2	昭和13	1938	古稀記念 三田村啞佛句集	三田村啞佛 啞佛句集刊行会		書籍	
3	昭和43	1968	きのこ全科	清水大典 家の光協会		書籍	
4	大正8	1919	デモクラシと日本の改造	植原悦二郎 中外印刷工業		書籍	
5	昭和4	1929	大宰相 濱口雄幸	加藤鯛一 文武書院		書籍	2冊
6	昭和11	1936	竹朗句集	佐々木節三		書籍	佐々木節朗金婚式記念
7	昭和31	1956	南安曇郡町村合併記念誌 安曇文化と人物	高山豊次郎 安曇文化研究会		書籍	序文 植原悦二郎
8	昭和3	1928	元禄快挙 赤穂浪士	成田茂作 通俗図書普及会		書籍	血涙の印あり
9	昭和10	1935	昭和十年 年刊句集信濃	田中美穂 長野石楠会		書籍	
10	大正15	1926	佛句集 大空	荻原井泉水		書籍	
11	昭和29	1954	関忠英追懐録	関忠英		書籍	
12	昭和9	1934	句集讀本	比叡禽化 大東社		書籍	
13	昭和16	1941	青人草 上巻	軍事保護院		書籍	聖戦を讃える文章
14	昭和16	1941	青人草 中巻	軍事保護院		書籍	聖戦を讃える文章
15	昭和16	1941	青人草 下巻	軍事保護院		書籍	聖戦を讃える文章
16	昭和11	1936	田庭俳句 子規没後集	杉山田庭 奥田珪		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
17	昭和11	1936	帝国在郷軍人会南安曇郡聯合分会史	上原寅太郎 信濃毎日新聞社		書籍	
18	大正11	1922	空拳努力 信濃立志傳	轟眞廣		書籍	
19	昭和13	1938	萬古を貫く大精神	井上清純 地湧日本社		書籍	会田血涙道元様贈呈の文章あり 手書きの文章2枚あり
20	昭和13	1938	櫻の千句	川上泰岳 金剛社		書籍	
21	昭和19	1944	小知徹二句集 地圓の前	小知徹二 開明堂		書籍	2冊
22	昭和17	1942	國見する者 建国物語第一偏	永田稠 日本力行会出版部		書籍	
23	昭和16	1941	歌集 大黄河	酒井俊治 協力出版社		書籍	
24	昭和12	1937	歌人 内山眞弓	矢ヶ崎榮次郎 内山眞弓刊行会		書籍	
25	昭和12	1937	妻を送りて	古村青山		書籍	
26	昭和9	1934	時雨集	田中美穂 丸萬宇先生句碑建設記念集会		書籍	
27	昭和19	1944	鳥石句集	黒岩鳥石		書籍	
28	昭和11	1936	翠葉集	和田きくゑ		書籍	高松宮殿下台覽之榮の朱印あり
29	明治21	1888	舊新約全書 HOLY BIBLE	日本横浜印行		書籍	
30	昭和32	1957	謙信とその一党	河原信三 古今書院		書籍	
31	昭和14	1939	雷庵贅録	雷庵生		書籍	
32	昭和30	1955	西洋教育史	中央大学助教授 多賀秋五郎 教育全書		書籍	
33	昭和18	1943	亡き妻を語る	古村青山		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
34	昭和34	1959	入宋覚心	河原信三 長野県味噌工業協同組合連合会		書籍	
35	昭和12	1937	戯曲 発明と自由戀愛	武藤富男 東方国民文庫第二編		書籍	
36	昭和11	1936	歌集 安曇 帯木叢書 第十三篇	降旗吉衛		書籍	
37	昭和25	1950	西洋政治思想史	原田鋼 有斐閣		書籍	「7月12日雨の日、御茶の水にて」の記述あり
38	昭和3	1928	或る日の一休 陸奥直次郎	武者小路実篤 長興善郎		書籍	
39	昭和4	1929	趣味の法律	上田保 帝國教育研究会		書籍	
40	大正13	1924	異教を翳して	柴田行々舌 文光社		書籍	
41	昭和9	1934	移住地の建設	永田稠 日本力行会		書籍	
42	昭和25	1950	四國遍路記	紫雲荘 橋本徹馬 紫雲荘出版部		書籍	
43	大正2	1913	明治大帝御偉業史	藤崎孝宗 家政協会		書籍	
44	昭和2	1927	明治大帝 附明治美談	長谷川卓郎 大日本雄辯会講談社		書籍	
45	昭和3	1928	公案の藝術的種々相	乙部吞海 圓通寺布教部		書籍	
46	昭和11	1936	善光寺開帳奉讃句集	善光寺開帳奉讃俳句会		書籍	
47	昭和18	1943	己を耕す	小野周次郎 蔵王閣		書籍	
48	大正9	1920	日蓮上人聖典の新解釋	里見岸雄 天業民報社		書籍	
49	昭和8	1933	神社經典 神道の友	双人社		書籍	
50	昭和12	1937	南米雜録	山岸晋齋 信濃海外協会		書籍	カバーに高津榮の名刺あり
52	大正13	1924	無駄骨を折らぬ心得 能率増進法	梓本乙吉 東京・魁新聞台北支社		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
53	明治42	1909	法然上人 芳躅集	記念出版会		書籍	
54	明治36	1903	防疫学 完	伊藤彪		書籍	
55	明治29	1896	長野県人 征清武鑑	須藤正夫 征清武鑑 発行所		書籍	
56	昭和46	1971	南農 五十年の歩み	長野県南安曇農業高 等学校		書籍	
57	大正12	1923	鐵水 三村壽八郎	横川類吉 松本尋常 高等小学校内三村先 生頌徳会		書籍	
58	大正7	1918	断食と修養	宮坂喆宗 成蹊学園 出版部		書籍	
59	大正12	1923	呪われたる陸軍	中尾龍夫 日本評論 社出版部		書籍	
61	昭和24	1949	新聞講座 編集編Ⅱ	日本新聞協会		書籍	
62	昭和13	1938	インドの叫び	ボース・ラスビハリ 三 教書院		書籍	
64	昭和5	1930	出世の礎	野間清治 大日本雄 辯会講談社		書籍	
63	昭和10	1935	参戦二十提督 日露大海戦を語る	東京日日新聞社 大 阪毎日新聞社		書籍	
65	昭和2	1927	征韓論餘聞 赤坂食違事変	福島成行		書籍	
66	昭和13	1938	素人手引 金銀鋳脈発見法	中央鋳業研究所		書籍	
67	明治45	1912	教育上より見たる明治の漢字	後藤朝太郎 文学士 宝文館		書籍	
68	明治45	1912	増訂 国民之教養	北原種忠 皇道会出 版部		書籍	
69	昭和54	1979	信州に於ける薬用植物	波多腰節 溪声出版		書籍	
70	昭和25	1950	新約聖書	日本聖書協会 昭和 28. 3. 21 祝卒業会 田進様 豊科保育園 の印あり		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
71	昭和21	1946	カトリック入門	上智大学教授ビュー モン ドン・ボスコ社		書籍	
72	昭和39	1964	ケネディは生きている 名演説21篇と その背景	黒田和雄 原書房		書籍	
51	昭和12	1937	南米雑録 続編 皇紀二千六百年記 念	山岸晋齋 信濃海外 協会		書籍	
60	昭和23	1948	新聞講座 編集編	日本新聞協会		書籍	
73	昭和23	1948	才能教育	鈴木鎮一 才能教育 研究会		書籍	
74	昭和11	1936	善光寺句集	田中美穂 北信濃保 勝会		書籍	
75	昭和13	1938	日に吠え雪に吠ゆ 浪々生活記	佐久間作太郎		書籍	
76	昭和10	1935	世間雑話	野間清治 大日本雄 辯会講談社		書籍	
77	昭和10	1935	国立博物館陳列品目録	国立博物館		書籍	
78	昭和25	1950	新工場労働規則大集	長野県警察部工場課		書籍	
79	大正9	1920	悪筆矯正の秘訣	小野東涯 三光社		書籍	
80	昭和48	1973	日本ナショナルリズム史論	木村時夫 早稲田大 学出版部		書籍	
81	昭和30	1955	私立探偵養成講義 第一巻	東京・JSP探偵社		書籍	
82	昭和23	1948	リンゴ剪定整枝ト薬剤撒布	中田儀一 信州莽果 研究会長・長野県園 芸協会理事 明倫堂 書店		書籍	
83	昭和6	1931	田庭俳句 子規時代集	杉山田庭 俳書堂		書籍	
84	昭和18	1943	子寶々典	木富巳雄 大日本法 令印刷		書籍	
85			世界外交史	田村幸策		書籍	大売出しの広告でカバー
86	大正7	1918	ブラジルとヒリッピン	中村國徳 信濃毎日 新聞社		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
87	昭和4	1929	蠶絲業 發達史料	長野県蠶業試験場松本支場 信濃毎日新聞松本支局		書籍	
88	昭和3	1928	梓川農業水利沿革史 全編	梓川農業水利期成同盟会		書籍	
89	昭和10	1935	冬柏山房抄	内山英保 越山荘		書籍	
90	大正14	1925	刑法要論 全	大審院検事法学博士 平井彦三郎 松華堂書店		書籍	
91	昭和4	1929	人間 大倉喜大郎	横山眞雄 萬里閣書房		書籍	
92	昭和23	1948	無月句集	矢島無月 無月先生句集刊行会		書籍	
93	大正6	1917	信濃古文献考	信濃郷土研究会		書籍	
94	昭和24	1949	警察教科書 防犯篇	國家地方警察本部		書籍	
95	昭和24	1949	労働運動と警察活動の限界 警察文化特輯号	警察文化社		書籍	
96	昭和27	1952	歌集 ひまらや杉	青木一男 青木千代		書籍	太田水穂の序文あり
97	昭和22	1947	法句教	友松松圓諦 小升屋書房		書籍	
98	大正13	1924	善光寺案内訳並戸隠紅葉狩伝訳	倉島元彌 佛都新報社		書籍	
99	昭和10	1935	記念句抄 藪鶯	矢吹淡月 清水谷俳道場		書籍	
100	昭和18	1943	傳道学の研究	文学博士 小松雄道 日本出版配給株式会社		書籍	
101	大正9	1920	鷗州戦後の資本と労働	植原悦二郎 精文館書店		書籍	
102	大正14	1925	精神作興詔書十講	渡辺小洋 国民精神協会		書籍	
103	昭和26	1951	当用漢字辞典	中教出版		書籍	長野県南安曇郡豊科町成相 会田勲の記録あり

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
104	昭和26	1951	現代国語辞典	小林国雄		書籍	豊科中学校一年九組 会田勲の記録あり
105	大正11	1922	和英辞典	三省堂		書籍	松商学園高一・五 会田税の記録あり
106			画報と近代百年史1550-1850	国際文化情報社		書籍	
107			画報と近代百年史1850-1950	国際文化情報社		書籍	
108	昭和30	1955	信濃毎日新聞写真ニュース 昭和30-37	信濃毎日新聞社		書籍	2冊
110	昭和34	1959	週刊読売 臨時増刊 皇太子ご結婚式への招待	読売新聞社		書籍	
109	平成7	1995	写真で読む 私の歩んだ二十世紀	八十二銀行		書籍	
111	昭和50	1975	1億人の昭和史 1~15	毎日新聞社		書籍	
112	大正7	1918	外政新論	信夫淳平 大鑑閣		書籍	
113	明治29	1896	佛教会大問題 四個格言	加藤熊一郎 東華堂		書籍	
114	明治19	1886	雷名十勇臣傳	大久保常吉 春陽堂		書籍	
115	明治33	1900	人世の基礎	林稲州 日本中央文社		書籍	
116	昭和35	1960	英作文小辞典	旺文社		書籍	高校時代九月号付録
117	大正15	1926	法律経済語辞典	高城運七 江花常興 日本法律研究会		書籍	
118		—	最新コンサイス和英辞典	三省堂		書籍	昭和二十六年八月二十二日 豊科町安曇書店にて求む 県陵二A 会田倭の記録あり
119	明治40	1907	園藝辞典	片山熊太郎 建文館		書籍	
120	昭和4	1929	新語辞典	吉田熊次 高谷隆 創造社		書籍	
121	昭和7	1932	新特高辞典	横溝光暉 松華堂書店		書籍	
122	昭和24	1949	警察實務法令集	大阪警察管区本部		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
123	昭和21	1946	實用日米會話	内務省警保局		書籍	2冊 警察官が進駐軍と話をする際に役立つとされたテキスト集
124	昭和36	1961	易入門 自分で自分の運命を開く法	黄小娥 光文社		書籍	
125	昭和33	1958	夢に罪あり	柴田錬三郎 大日本雄辯会講談社		書籍	
126	昭和22	1947	草鞋村長百話	鎌田三之助 日米文化社		書籍	
127	大正12	1923	政戦餘業 第一輯	尾崎行雄 大阪毎日新聞社 東京日日新聞社		書籍	
128	昭和18	1943	軍事援護功勞 銃後奉公會及隣組表彰記録	軍人援護會		書籍	
129	明治29	1896	偉人史叢 第五卷 平口國臣 全	東京 裳華房		書籍	
130	昭和25	1950	南農 第四號 創立三十周年記念號	長野県南安曇農業高等学校同窓会		書籍	
131	大正3	1914	立志奮勵 大臣の書生時代	墨堤隠士 東京 大学館		書籍	
132	昭和21	1946	信濃安筑史談	松本史談會 明倫堂書店		書籍	
133	昭和7	1932	北鮮名鑑	北鮮日報社		書籍	
134	昭和7	1932	野間清治短話集	野間清治 大日本雄辯会講談社		書籍	
135			人生を楽観すべし	紫雲莊橋本徹馬 紫雲莊出版部		書籍	
136	昭和5	1930	體驗を語る	野間清治 大日本雄辯会講談社		書籍	
137	昭和7	1932	警衛規程	長野県警察部		書籍	
138	明治25	1892	作文祝詞例	梅原忠蔵 圖書出版會社		書籍	
139	明治29	1896	記事問題	小島安太郎		書籍	
140			文語例			書籍	手づくりで製本したもの

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
141	明治31	1898	美妙 後篇	大月隆	文學全志會	書籍	
142	安政2	1855	志のぶぐさ	八田知紀		書籍	
143			和漢文学 美文斷片 後篇			書籍	
144			詔勅 明治天皇御製 青年必携			書籍	昭和二十一年十一月三日に勅語を記したという手書きあり
145	昭和26	1951	部外秘 長野県警察統計要覧	長野県公安委員会協 議会		書籍	
146	昭和37	1962	新約聖書	日本聖書協会		書籍	英文と和文が併記されている
147	昭和24	1949	新約聖書	日本聖書協会		書籍	
148	大正11	1922	譯註 近古史談	山田鶴川	岡村書店	書籍	東京神田錦町一―二松華堂出版部の手書きあり
149	大正10	1921	佛教信仰の正統	大僧正 本多日生	中央出版社	書籍	
150	昭和10	1935	省政彙覽 第一輯 吉林省篇(満文)	國務院總務廳情報處		書籍	康德2年
151	昭和5	1930	強く正しく明るき政治	濱口雄幸	春秋社	書籍	
152	昭和5	1930	日本經濟の再建設	濱口雄幸 安達謙蔵 俵孫一 井上準之助	春陽堂	書籍	
153	昭和14	1939	月下の惨劇	森村豊	岩波書店	書籍	
154	昭和13	1938	幸福な王子	山田昌司	岩波書店	書籍	
155	昭和14	1939	大教正 小山進傳 附歌集	足立幸太郎	長野新聞社	書籍	
156	昭和12	1937	國民に訴ふ 各党派代表演説集	報知新聞社		書籍	
157	昭和3	1928	歌集 旋花集	松岡虎生	信濃毎日新聞社	書籍	
158	昭和10	1935	日本改造の具體案	田中澤二	立憲養正會	書籍	中澤西次氏より氏子総代宛のハガキあり

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
159	昭和24	1949	学校新聞の作り方	島崎憲一 信濃毎日 新聞社		書籍	
160	昭和16	1941	消防戦法概論	大日本警防協会技師 栗原久作 大日本警 防協会		書籍	2冊
161	昭和8	1933	警察受験叢書 第一編 憲法論	山田洋一郎 新光閣		書籍	
162	昭和7	1932	政局動乱の真相 若槻さんの立場	衆議院議員 佐藤正 先進社		書籍	
163	明治28	1895	冊子 修近古史談字引大全 完	奥山猪吉 林書房		書籍	南安曇郡 会田実の記述あり
164	大正11	1922	信州政當史	江川爲信 盛文堂書 店		書籍	植原悦二郎他手書きの選挙票数の記 述あり(大正13年、昭和12年)
165	昭和16	1941	概説支那阿片史	禁煙總局 馬場口		書籍	康徳8年
166	大正13	1924	善戦善勝	星一 星製菓株式会 社		書籍	
167	昭和15	1940	尊攘堂講演速記 第一號 吉田松陰 先生と日本精神	廣島高等師範学校教 授 玖村敏雄		書籍	
168	明治36	1903	天人論 全	黒岩周六 朝報社		書籍	
169	昭和10	1935	家事の科学 台所讀本	谷孫六 家事科学研 究所		書籍	
170	昭和26	1951	里んご祭 りんご祭	吉村青山 長野白雲 会		書籍	
171	—	—	周川文粹	常田周策 周川		書籍	信州警察文芸作品集やまなみの表紙 がはさまれている
172	大正	—	長野県南安曇農学校生徒實習簿			書籍	金森の印がある
173	昭和14	1939	世相録	町田繁太郎 西澤書 店		書籍	
174	昭和12	1937	問題児の研究	下高井郡女教員會		書籍	
175	昭和18	1943	義勇軍送出指針	東筑摩郡教育会興亜 部 信濃海外協會東 筑支部		書籍	
176	昭和31	1956	特集人物往来 書かざる日本史	八谷政行 人物往来 社		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
177	昭和3	1928	天籟の聲	法学士 奥名滋次郎 専賣協會		書籍	
178	昭和23	1948	刑事警察	内務省警察局鑑識第 一課		書籍	
179	大正13	1924	實驗 山葵栽培法	青柳豊秋 山葵栽培 普及会		書籍	
180	明治13	1880	女教訓 嫁入道具	兵庫県士族 善積順 蔵 大阪府平民 佐藤 信義		書籍	
181	明治30	1897	婦人 實務録	林恕哉 文学同志会		書籍	
182	明治42	1909	北安商工案内	小林九重 明倫堂書 店		書籍	
183	昭和5	1930	盗犯等防止法釋義	平井彦三郎 松華堂 書店		書籍	
184	大正14	1925	軍教問題對談會記事	帝國在郷軍人会 下 伊那		書籍	
185	昭和5	1930	登波離橋 独一の奇勝 無二の異構	伊藤銀治 池田鉄道 株式会社		書籍	池田鉄道沿線ハイキングコースのパン フレットあり
186	昭和17	1942	觀自在	清水寺		書籍	曾田貢宛の包みあり
187	明治45	1912	東洋拓殖株式会社 事業概要 明治 44年度			書籍	朝鮮京城明治町
188	明治37	1904	般若心経 佛說法滅盡教	大内青巒 光融館		書籍	
189	明治38	1905	来世三有無	新佛教徒同志會 井 冽堂		書籍	
190	昭和15	1940	北京景観	北京特別市		写真	中華民國29の年号
191	昭和6	1931	写真帖 上水道竣工記念 豊科町役 場	三原儀十郎 豊科町 役場		写真	
192			穂高神社 御遷宮記念 飾物の面影			写真	
193			見延土産 日蓮上人 御一代面帖			写真	
194			大正天皇写真帖			写真	大正天皇の崩御に際して出された写 真帳
195	明治42	1909	北安曇郡写真帖	明倫堂書店		写真	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
196	明治38	1905	巖嶋写真帖 附名所案内記	春錦堂		写真	
197	明治45	1912	帝室畫報	澤田忠次郎	帝國軍人教育會	写真	
198	明治39	1906	日本赤十字社長野支部 第四回總會記念			写真	
199	大正4	1915	写真五拾年史	國民タイムス社		写真	
200			アルバム			写真	明治期の写真集 皇后宮御歌(唱歌用)がはさまれる
201	昭和13	1938	如是我觀	加藤廣吉		書籍	加藤宗吉追悼文集
202	昭和23	1948	閑月還曆記念帖	知久今朝重		書籍	
203	大正15	1926	梓川遺稿	丸山春美		書籍	丸山直光追悼文集
204	明治29	1896	三都看花記	川合清丸	日本國教大道社	書籍	
205	昭和16	1941	長野県殉職警察官吏彰功録	警察協會	長野支部	書籍	
206	明治30	1897	皇陵祭拜記 偉人史叢臨時発行	櫻田文吉	裳華書房	書籍	
207	明治30	1897	平田篤胤 偉人史叢第四卷	長田權次郎	裳華書房	書籍	
208	昭和5	1930	永田兵太郎翁 紺綬褒章記念遺話	唐澤兵四郎		書籍	
209	昭和11	1936	市岡勘三君追悼誌		昭和7年松本高等学校文科甲類卒業生	書籍	
210	昭和17	1942	附録 福島晚晴翁	不忘會		書籍	
211	大正9	1920	神靈界 一月一日號	大日本修齋會		書籍	
212	明治27	1894	旧約聖書の子供	基督教書類會社		書籍	
213	昭和11	1936	貞享義民傳	石田傳吉	地方改良協會	書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
214	明治39	1906	二宮翁夜話	福住正兄 報徳学園 書館		書籍	
215	明治28	1895	補註 神鋼製糖皇正統記	大久保初雄 岡本仙 助		書籍	
216	昭和13	1938	明治天皇御製讀本	加藤三津夫 愛之事 業社		書籍	
217	明治31	1898	偉人史叢 第貳拾卷 高山彦九郎	長田權次郎 裳華書 房		書籍	
218	昭和24	1949	日米交渉秘話	越智秀一 紫雲荘出 版部		書籍	
219	昭和11	1936	名言名訓集 武者小路實篤	淵田忠良 大日本雄 辯会講談社		書籍	養命酒の宣伝広告あり
220	昭和2	1927	反古句集	小林久七 公友新報 社		書籍	
221	明治34	1901	祝詞式講義 上下巻	大久保初雄 中川明 善堂		書籍	
222	昭和31	1956	私の生活記録 二軒長屋の独言	唐沢信夫 鶴林堂書 店		書籍	
223	明治35	1902	斬奸状	川村八郎 文学同志 會		書籍	
224	昭和24	1949	少年法概要	内藤文質 警察時報 社		書籍	
225	明治27	1894	眞宗教導會法話説教集 第壹	白川造酒江 教導會		書籍	
226	大正14	1925	原人論之要領	奥村洞麟 大阪道友 會出版部		書籍	
227	明治30	1897	佛教演説	川合清丸 日本國教 大道社		書籍	
228	明治27	1894	信濃名士傳 初編	松下軍次 國友社		書籍	
229	昭和19	1944	歌か丘松韻	古村青山 大日本法 令		書籍	信濃の国の歌についての解説集
230			英照太后御大葬記事	博文館		書籍	
231	昭和3	1928	故秋風庵未得宗匠建碑追善句集	高橋伊豫之助		書籍	
232	昭和11	1936	會員名簿	松本中學校同窓會		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
233	昭和19	1944	大東亜戦争信濃傷痍軍人短歌・俳句集	山口菊十郎 大日本傷痍軍人會長野懸支部		書籍	
234	昭和16	1941	明治大正昭和 南安曇雅人名鑑	曾田貢 信濃不二社		書籍	18冊 曾田血涙の写真が裏表紙に印刷
235	大正2	1913	第二十四回長野縣々治一斑	長野縣		書籍	
236	大正5	1916	御大典記念 南安公務録	曾田貢 信濃不二社		書籍	
237	明治36	1903	粋な楽しみ	鈴木興八 盛陽堂		書籍	
238	昭和27	1952	長野縣警察職員録	長野県公安委員会協議会		書籍	
239	昭和29	1954	長野縣警察職員録	長野県公安委員会協議会		書籍	
240	昭和5	1930	衆議院要覧	衆議院事務局		書籍	
241	大正15	1926	皇孫殿下御降誕記念 北安公務録	曾田貢 信濃不二社		書籍	2冊
242	明治29	1896	開國先登 提督彼理	米山梅吉 博文館		書籍	
243	明治37	1904	甫水論集	文学博士 井上圓了 博文館		書籍	
244	昭和15	1940	在京 南安曇人會名簿	南安曇人會 会長白澤保美		書籍	
245	昭和8	1933	「信州人」會員名簿	村田直治 信州人會事務局		書籍	
246	昭和4	1929	信州松代藩 眞田幸弘公 恩田木工	大平喜間多 信濃郷土文化普及會		書籍	
247	大正5	1916	南安之町村	菊池宇太郎 交文社		書籍	
248	昭和16	1941	大阪三十三所観音巡り	梅原書店		書籍	
249	大正14	1925	彌生ついおく	丸山彌源太		書籍	
250	大正3	1914	現代 全國俳人名簿	三苦巖 中央出版協會		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
251	大正12	1923	学校創立五十周年記念 有明村誌	宮坂亮	有明村役場	書籍	
252	大正6	1917	大典記念 有明山神社記	内山太一	有明山神社社務所	書籍	2冊
253	昭和16	1941	神戸村の歴史	中島彌生	信州信濃毎日新聞社松本支局	書籍	
254	昭和59	1984	ふるさとの昔	豊科町老人クラブ連合会		書籍	
255	大正13	1924	鐵道旅行案内	鐵道省		書籍	
256	昭和15	1940	山の内温泉	島矢義行	山の内温泉旅舎組合	書籍	
257	昭和3	1928	きそ	西筑摩郡聯合事務所		書籍	木曾の歴史書
258	大正3	1914	名所案内 木曾の御岳 附駒ヶ嶽案内	藤森書店		書籍	
259	大正14	1925	豆相温泉めぐり	日本旅行文化協會		書籍	伊豆半島、箱根方面のガイドブック
260	昭和5	1930	妊娠中の心得と赤ちゃんのそだてかた	大日本産育保健協會		書籍	
261	昭和51	1976	憩いとけんこう	電設工業健康保険組合		書籍	
262	昭和16	1941	歌のジェットライン 平凡12月号付録	平凡社		書籍	
263	昭和46	1971	創価学会	聖教新聞社		書籍	
264	明治29	1896	数学三千題 上	成美堂		和綴じ	
265	明治33	1900	算術二千題	中川朝三郎	松栄堂	書籍	
266	大正15	1926	法醫學提要 附救急處置法	磯貝一實		書籍	
267	大正10	1921	動物學 上	中等教育研究所		書籍	金森式兵の記述
268	明治26	1893	幾何學初歩 講義録	長澤龜之助	大日本中學會	和綴じ	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
269	明治36	1903	世界歴史譚 第三偏 耶蘇	上田敏 博文館		書籍	大日本国賊の墨筆
270			教育原理	木宮乾峰		書籍	昭和32年7月16日学校地下売店にて 会田章人の記載
271			近代日本政治外交史 講義案Ⅱ	曾村保信		書籍	
272			政治原論ノート	川原次吉郎		書籍	会田章人の記載
273	昭和26	1951	世界史	旺文社		書籍	昭和27年1月21日豊科新道社にて 求む 会田倭の記載
274	明治32	1899	世界歴史譚 第壹偏 釋迦	高山林次郎 博文館		書籍	
275	明治29	1896	露國東邦策	露國ア、ヤ、マクシ モーフ 日本東邦協 會 哲學書院		書籍	
276	明治26	1893	日本歴史 上巻	第一高等学校講師 増田于信 大日本中 學會		和綴じ	
277	明治34	1901	新撰 日本歴史	高橋光正 林盛林堂 魚住書店		書籍	
278	明治24	1891	通俗教育全書 初等教育小植物書	大熊權平 博文館		書籍	
279	昭和26	1951	高等國文研究資料 中世篇	信濃教育会		書籍	梶陵 曾田倭の記載
280	昭和34	1959	大学受験本位 日本史の要領	諏訪徳太郎 旺文社		書籍	
281	昭和11	1936	信州に於ける薬用植物 成分並に薬効	波多腰節 長野縣南 安曇農學校校友會		書籍	
282	昭和27	1952	日本史	史学会 山川出版社		書籍	豊科中学校 会田勲の記載
283	明治33	1900	植物學問答	富山房		書籍	
284	明治34	1901	通俗問答 禪學八十則	三浦兼助 藍外堂		書籍	
285	大正11	1922	簡易 衛生試験法	北原貞義		書籍	
286	昭和24	1949	THREE TALES	刀江書院		書籍	英文小説

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
287	昭和21	1946	ハーモニカ獨習	川口章吾	白眉社	書籍	中林文彦の記載
288	昭和22	1947	新民法早わかり 付法律相談	讀賣新聞社		書籍	
289	昭和10	1935	徳本行者	中野善英	増上寺出版部	書籍	
290	大正3	1914	第41期少尉候補生 練習航海記			書籍	
291	昭和19	1944	宗教文化叢書二 大東亜に於ける佛教文化の全貌	高楠順次郎	文部省 教學局	書籍	一乗寺より曾田貢宛の書簡あり
292	明治44	1911	警察官吏 修養資料	清水書店		書籍	
293	昭和24	1949	般若心経と人生	清水谷善照	關書院	書籍	
294	大正3	1914	アカギ叢書第四篇 群集心理	葛西又次郎	赤城正蔵	書籍	
295	昭和20	1945	捜査提要	長野縣刑事課		書籍	
296	昭和27	1952	凶解式 術科の栞	警察部教養課		書籍	
297			作詩法良材	修學堂		書籍	
299	昭和19	1944	大日本史と水戸教學	文部省教學局		書籍	
300	昭和19	1944	戦記物語と日本精神	文部省教學局		書籍	
298	明治25	1892	日用有益 萬民實鑑目録			書籍	曾田貢の記名
301	明治21	1888	活髑髏	西村時彦	博文堂	書籍	曾田血涙の記名
302	昭和18	1943	朝夕のお勤め	總本山身延山久遠寺		和綴じ	正しい法華經のよみ方とおけいこのために
303	明治33	1900	几董全集	高濱清	東京堂書店	書籍	俳諧叢書
304	明治44	1911	千筥の玉	中澤春光	豊科升連事務所	書籍	
305	昭和5	1930	中央線日出口驛 開通祝歌集	市岡皆吉		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
306	昭和7	1932	蕙酒舎歌集	田邊友次郎		書籍	
307	明治14	1881	俳諧季寄大全 坤	手塚幸七		書籍	贈 血涙兄の記入
308			俳諧季寄大全 乾	手塚真彦	嵩山堂	書籍	
309	昭和9	1934	俳諧献詠集	富田秀甫		書籍	
310	昭和2	1927	雲雀櫻	平林縫治		書籍	血涙雅兄の記入
311	昭和19	1944	楨乃志づく	武郎		書籍	
312	明治42	1909	故郷集			和綴じ	曾良居士記念誌
313	大正元	1912	学び乃句集			和綴じ	2冊
314	明治30	1897	中等教育國文讀本第三編 土佐日記 讀本	三樹一平	明治書院	書籍	裏表紙に曾田貢の日記あり
315	明治43	1910	三女歌集	但村はつ	祇園風流	和綴じ	贈 血涙様の記述
316	明治30	1897	殘月集	岡村阜一		和綴じ	
317	昭和3	1928	肅忠親王遺集	小平總治		和綴じ	発行年が戊辰十一月と記載
318	明治13	1880	女範 上中下	小田深蔵		和綴じ	3冊 上中下
319	明治40	1907	高砂	三谷宗三		和綴じ	
320	昭和6	1931	昭和百大家選輯	中村喜三郎	不老會	書籍	
321	昭和24	1949	錦川集	常田周川		書籍	2冊
322	昭和15	1940	西澤枯風	小林郊人	信濃郷土 出版社	書籍	
323	昭和11	1936	梅能薫	小笠原孝三郎		和綴じ	呈 会田大人の記載 林豊子追悼集
324	明治42	1909	百人一首講義	青木恒三郎	青木嵩 山堂	書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
325	昭和11	1936	歌集 蘆むら 宮川高保追悼号	武井文雄		書籍	
326	明治30	1897	女子之友臨時発刊 第二才媛詞藻	東洋社		書籍	
327	明治34	1901	女子之友臨時発刊 第三才媛詞藻	東洋社		書籍	
328	昭和10	1935	路影 花能奥	如水		書籍	発行年に昭和乙亥の記載
329	明治31	1898	越佐史談 教師用	新潟縣教育會		和綴じ	
330	昭和16	1941	懷慕	丸山長男		書籍	母親の追悼集
331	昭和18	1943	丸山雲田畫伯遺稿	古村青山		書籍	
332	明治24	1891	妙明心源略鈔	安達達淳		書籍	
333			近古史談 卷之二		有明村金森の記名	和綴じ	
334	昭和24	1949	安曇集	中島彌生		和綴じ	
335	昭和15	1940	野戦記	三溝康平		書籍	父潤一が記した日記
336	昭和21	1946	探楽畫伯の追憶	古村青山		書籍	
337	大正5	1916	彰功録	長野縣警察部		書籍	
338	昭和23	1948	歌と随筆 梓川	古村青山 白雲會		書籍	拝呈 曾田血涙様
339	明治42	1909	日露戦後 殉國志工事蹟	井戸川辰三		書籍	
340	明治27	1894	明治軍人譚	大橋新太郎		書籍	曾田の印
341	昭和5	1930	昭和第二政戦史	瀬戸崎七之丞 中外 通信社		書籍	
342	昭和10	1935	海外在留長野縣人名簿	信濃海外協會		書籍	
343	昭和15	1940	清朝革命秘話	小平總治		書籍	昭和14年1月23日 奉天中央放送局 にて放送するもの

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
344	昭和13	1938	日ソの危機欧米の策謀	堀文雄		書籍	
345	昭和9	1934	日本改造の具體案	田中澤二	立憲養正會	書籍	
346			南米、ブラジル、アリアンサ移住地 航手引	信濃海外移住組合		書籍	
347	大正15	1926	支那みやげと普選に直面せんとする私	植原悦二郎		書籍	
348	昭和26	1951	平和の守り國際連合	田付景一	日本國際連合協會	書籍	
349	昭和6	1931	國民は叫ぶ	久保山雄三	公論社	書籍	
350	昭和25	1950	朝鮮動乱とわれらの立場	外務省情報部		書籍	
351	昭和12	1937	七十議会はなぜ解放されたか	永松淺造	新ジャーナリズム社	書籍	
352	明治27	1894	見聞隨記 朝鮮時事	棚瀬軍之佐	久保田米僊 春陽堂	書籍	内務省検閲
353	大正5	1916	肅親王	石川半山	警醒社書店	書籍	
354	大正12	1923	臺灣懷古録	梓本乙吉		書籍	有明青木醫院主 上原寅太郎より會田貢宛の葉書がはさまる
355	昭和19	1944	決戦下の食糧増産	加藤完治	朝日新聞社	書籍	
356	昭和16	1941	戯曲 轉業する家庭	佐倉口二	滿洲移住協會	書籍	
357	昭和12	1937	帝國及び列國の陸軍	陸軍省		書籍	2冊
358	昭和15	1940	帝國及び列國の陸軍	陸軍省		書籍	
359	大正7	1918	信濃植民讀本	中村國穂	信濃毎日新聞社	書籍	
360	昭和16	1941	大陸歸農運動と最近の動向	猪狩恭介	滿洲移住協會	書籍	
361	昭和16	1941	戦後經濟と産業再編成	美濃部洋次	滿洲移住協會	書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
362	昭和16	1941	開拓團の経営	浅川其二 南満洲鐵道株式會社		書籍	
363	昭和16	1941	農業立地と歸農問題 米穀業者と満洲開拓	竹山祐太郎 瓜生田岩喜 満洲國通信社出版部		書籍	
364	昭和12	1937	新満洲風土記	藤山一雄 満洲文化協會		書籍	
365	昭和11	1936	満洲と日本	南満洲鐵道株式會社		書籍	
366	昭和15	1940	満洲現勢圖解	芝田研三 南満洲鐵道株式會社		書籍	
367	昭和11	1936	満洲移民の重大性	廣瀬壽助 満洲移民協會		書籍	
368	昭和15	1940	宋徽宗欽宗二帝の満洲配流	小平總治		書籍	觀世教の拓本がはさまる
369	昭和17	1942	新たに満洲生活に入る人の為に	満洲帝國開拓總局		書籍	渡満者n心得 2冊
370	昭和13	1938	統計から見た満洲	松本豊三 南満洲鐵道株式會社		書籍	
371	昭和15	1940	皇紀二千六百年記念創刊 満洲開拓年鑑	藤澤忠雄 満洲國通信社出版部		書籍	
372	昭和11	1936	移民の栞	満洲日日新聞社		書籍	
373	昭和17	1942	満洲移民夜前物語	永田稠 日本力行會		書籍	
374	昭和11	1936	満洲信濃村建設概況	長野縣學務部		書籍	
375	昭和17	1942	縣是竝縣政三箇年計畫	江省穆稜縣		書籍	
376	昭和14	1939	興満談	小野秀一 信濃郷土誌刊行會		書籍	
377	昭和17	1942	満洲開拓民概要	拓務省拓北局		書籍	
378	昭和12	1937	満洲信濃村建設の栞	長野縣職業課		書籍	
379	昭和16	1941	拓土教本	下川兵次郎 藤井書店		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
380	昭和14	1939	新農村の建設 大陸への分村大移動	農林省經濟更生部		書籍	2冊
381	昭和17	1942	満洲の交通	満鐵・広報課		書籍	
382	昭和17	1942	満鐵の輪郭	芝田研三 満鐵・広報課		書籍	
383	昭和10	1935	満洲ト満鐵	南満洲鐵道株式會社		書籍	
384	昭和11	1936	満洲ト満鐵	南満洲鐵道株式會社		書籍	
385	昭和2	1927	満洲の鐵道網	大島興吉 大阪屋號書店		書籍	
386	昭和11	1936	満鉄沿線案内	南満洲鐵道株式會社		書籍	
387	昭和16	1941	旅順戦抄	池田信治 関東州戦蹟保存會		書籍	
388	昭和11	1936	撫順商工要覽	撫順實業協會		書籍	
389	昭和4	1929	日比のくさび	在比聯合日本人會		書籍	
390	昭和11	1936	軍備の充實とその精神 國民の覚悟	陸軍省新聞班		書籍	
391	昭和28	1953	日本に迫る冷い戦争	欧亜協會		書籍	
392	昭和11	1936	産業の大連	大連市役所産業課		書籍	
393	昭和16	1941	満洲安曇郷建設本部日記	曾田貢		書籍	曾田貢の日記
394	大正7	1918	通俗教育 貳拾年記念 附海外発展誌	岸本與		書籍	
395	昭和18	1943	我が邦に於ける家と國	文部省教學局		書籍	
396	昭和13	1938	戦時體制と勞働力涵養	池田宏 文部省		書籍	
397	昭和18	1943	臣民の道	文部省教學局		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
398	昭和11	1936	日本歴史地理概説	長野縣警察練習所		書籍	
399	昭和14	1939	郵便貯金五十億圓突破記念講演集	貯金局		書籍	
400	昭和13	1938	信濃教育會南安曇部會 創立五十周年記念 沿革誌要	信濃教育會南安曇部會		書籍	
401	昭和9	1934	青年讀本	長野縣		書籍	
402			公民科教材	土屋		書籍	国体と政体について
403	大正10	1921	宮中重大事件に就て			書籍	
404	昭和7	1932	土肥慶蔵先生を悼む	西牧保市		書籍	
405	昭和12	1937	愛兒を立派に育てる為に 世の父母に捧ぐ	信濃兒童相談所 長野縣少年教護員 永万三郎	長福	書籍	
406	昭和16	1941	大政翼賛と議員選挙	長野縣翼賛壯年團		書籍	
407	昭和16	1941	水田用噴霧器の使用法	長野縣立農事試験場		書籍	食料増産に関する質問事項在中
408	昭和16	1941	稲作耕種改善基準	豊科町農會		書籍	
409	昭和16	1941	中小商工業者の行くべき道	長野縣厚生協會		書籍	
410	昭和16	1941	金属類特別回収関係法規	長野縣		書籍	
411	昭和15	1940	長野縣翼賛壯年團結成の経過	長野縣翼賛壯年團		書籍	
412	昭和6	1931	長野縣南安曇郡有明村土地利用計畫書	農林省農務局		書籍	
413	昭和26	1951	子供としつけ	島田四郎		書籍	
414	昭和2	1927	欧米財界と世界に於ける我國の信用	井上修一 東京講演同行會		書籍	
415	昭和9	1934	讀み易い分かり易い 佛説阿彌陀經	西田貞亮 日本語をよくする會		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
416	大正15	1926	邦文パンフレット通信 米國は今年も景氣がよいか 米國經濟政策の研究	ジャパントイムス社		書籍	
417	大正15	1926	邦文パンフレット通信 米國外交奇聞 日米戦争の危機 米独國交断絶の序幕	ジャパントイムス社		書籍	
418	大正15	1926	邦文パンフレット通信 各國經世家の時局觀 上篇	ジャパントイムス社		書籍	
419	大正15	1926	邦文パンフレット通信 各國經世家の時局觀 中篇	ジャパントイムス社		書籍	
420	大正15	1926	邦文パンフレット通信 世界の裏長野バルカンの現勢	ジャパントイムス社		書籍	
421	昭和16	1941	農道の歓喜	満洲移住協會		書籍	
422	昭和12	1937	満洲信濃村移住團員名簿	長野縣		書籍	
423	昭和14	1939	興満談	信濃郷土誌刊行會		書籍	
424	昭和7	1932	民政党内閣の功績 商工及農林篇	立憲民政党本部		書籍	
425	昭和4	1929	のぞみ 四月號	希望社		書籍	
426	昭和24	1949	新聞文庫3 新聞の出来るまで	梅津八重茂 信濃毎日新聞社		書籍	
427	大正8	1919	日本國危ふし	日高瓊々彦 皇學寮		書籍	
428			信濃海外移住組合定款	信濃海外移住組合		書籍	
429	昭和22	1947	民主的新聞の基礎 附新聞記者の義務と責任	日本新聞協會 ミズーリ大学新聞学部長フランク・ルーサー・モット博士		書籍	
430	昭和8	1933	兒童虐待防止法に就いて	長野縣		書籍	2冊
431	昭和7	1932	犬養内閣の臣節無視	國體擁護聯盟		書籍	大逆事件についての記述あり
432	昭和9	1934	南陽地方梗概	長崎移住教養所		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
433	昭和14	1939	奉天同善堂要覧	奉天同善堂		書籍	
434	昭和17	1942	眞理の大道	町田繁太郎		書籍	
435	昭和25	1950	観自在 新年号	清水寺		書籍	
436	大正6	1917	死生の覺悟	山室軍平 救世軍日 本々營		書籍	
437	昭和29	1954	警備訓練 部外秘	国警本部警備部 警 ら交通課		書籍	
438	明治36	1903	總選挙勝利廻曙	磯萍水 金港堂書籍		書籍	
439	昭和6	1931	名もない小鳥 小笠原彌榮子遺稿	小笠原幸彦		書籍	
440	昭和18	1943	日本精神叢書44 三經義疏と日本佛 教	金子大榮 文部省教 學局		書籍	
441	昭和19	1944	太平記と武士道	高木武 文部省教學 局		書籍	
442	大正3	1914	アカギ叢書 日本建築史要	龍居松三助 赤城正 蔵		書籍	
443	大正3	1914	アカギ叢書 オイケンの哲学	中嶋萬次郎 赤城正 蔵		書籍	
444	大正3	1914	アカギ叢書11篇 文化文政 江戸の 世態	龍居松三助 赤城正 蔵		書籍	
445	大正3	1914	アカギ叢書 奈良の美術	佐々木恒清 赤城正 蔵		書籍	
446	昭和16	1941	隣組讀本 戦費と國債	大政翼賛會		書籍	
447	昭和4	1929	使徒行傳	米國聖教協會		書籍	
448	昭和7	1932	衛生知識普及 第一輯 防疫要綱	長野縣衛生課		書籍	2冊
449	昭和38	1963	政研録 No.15	松本県ヶ丘高等学校 生物研究部		書籍	
450	昭和42	1967	季刊 明治21	明治大学		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
451	昭和7	1932	濱口雄幸氏を偲ぶ		西牧保市	書籍	
452	昭和11	1936	直興遺篋	納谷孝一	警察精神社	書籍	
453	昭和5	1930	安曇野に於ける和漢生薬 薬草木目録	長野縣南安曇農業學校校友會農芸部		書籍	
454	昭和9	1934	偉大なる百姓精神 農村經濟更生運動を語る	農林大臣	後藤文夫	書籍	
455	昭和24	1949	誰でも知っておかねばならぬ 家庭裁判所の話	熊澤利吉		書籍	
456	昭和25	1950	日米經濟科學文化協會講演集	日本アメリカ經濟科學文化協會		書籍	朝鮮事件と日本經濟 講話問題に対する意見 自由の死と必然の死
457	昭和14	1939	警防團の話	内務事務官 小幡治和	大日本警防協會	書籍	2冊
458	昭和27	1952	日本共産党の對警闘争			書籍	部外秘の印
459	昭和9	1934	薬の常識	内務省衛生局		書籍	
460	昭和13	1938	防火講演資料	大日本消防協會		書籍	2冊
461	昭和7	1932	脚氣の話	内務省社會局保險部		書籍	
462			ダンス参考書 其の二 基本足型集			書籍	
463	昭和15	1940	初めて工場へ入った方の 安全と衛生の手引	長野縣工場懇話會		書籍	
464	昭和21	1946	日本國憲法	大日本教育會長野縣支部		書籍	
465	昭和14	1939	講演筆記 人生と宗教	町田繁太郎	西澤書店	書籍	
466	昭和16	1941	立憲養正會 宣伝用パンフレット9 重大時局に際して為政者の根本的反省を促す	衆議院議員 田中耕		書籍	
467	昭和4	1929	文部省調査 中等學校 作法要覽解説	中等教育學會		書籍	
468	昭和16	1941	憲法擁護と大政翼賛會	植原悦二郎	皇道會本部	書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
469	昭和16	1941	二大戦時立法 国防保安法 國家總動員法 附全條文 提案理由と質疑応答等	信興社指導部		書籍	
470	昭和8	1933	柴峯句集 第二編	椿静堂		書籍	
471	昭和13	1938	烈女山口不二傳	早川圓澄 長源寺		書籍	
472	昭和29	1954	第三種郵便物の利用案内	長野郵政局		書籍	
473	昭和27	1952	大なる岩陰	中澤博		書籍	
474	昭和10	1935	度量衡器の使用心得	長野縣		書籍	2595. 12の記述
475	大正15	1926	邦文パンフレット通信 世は移り行く野人より廟堂へ	ジャパンタイムス社		書籍	
476	昭和23	1948	アメリカ合衆國における防犯活動	國家地方警察本部 刑事部 防犯課		書籍	
477			公用文作成の手引	国警長野県本部 警務部 教養課		書籍	手づくり冊子
478	昭和26	1951	新礼法讀本 男女の交際と礼儀	文部省純潔教育分科 審議會		書籍	
479	昭和元	1926	完全なる結婚Ⅲ 技術篇	三島和郎 學術図書 刊行會		書籍	
480	昭和33	1958	新しい村づくり 農協共済のしおり	長野県共済農業協同 組合連合會		書籍	
481	昭和19	1944	防空監視隊員必携	長野縣警防課		書籍	秘の印
482	大正15	1926	皇孫殿下御降誕記念 北安公務録	會田貢 信濃不二社		書籍	
483	明治45	1912	御大典記念 南安公務録	信濃不二社		書籍	
484	昭和10	1935	「南傳大藏經」早わかり	高楠順次郎 大藏出 版		書籍	
485			神社参向の志るべ	長野縣		書籍	
486	昭和26	1951	当用漢字と現代かなづかい	日本当用漢字研究会		書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
487	昭和25	1950	佛教文化パンフレット 佛教より観たる嫉妬の心理	半田孝海	長野縣佛教会	書籍	
488	昭和13	1938	カルピス修養パンフレット どんな小さなことでも1 因縁と果報のはなし	上野陽一	カルピス製造株式会社	書籍	
489	明治45	1912	妙力小観	高島平三	日蓮宗大學同窓會	書籍	
490	大正10	1921	大聖日蓮		日蓮宗宗務院	書籍	
491	昭和3	1928	喜壽の祝ひ	會田貢	信濃不二社	和綴じ	會田代次良氏への祝い 6冊
492			由多加	由多加會		和綴じ	歌集
493			説教論題 十七則 甲府新聞第八十八號附録	大經院		和綴じ	
494	昭和25	1950	京	京都川柳社		書籍	通巻第335号
495	明治35	1902	日置神社考證	宮川正直	日置神社々務所	書籍	
496	昭和11	1936	私の詩吟観	小磯極東	吟詩極東會	書籍	
497	大正9	1920	實語教童子教歌	山中愛之助		書籍	
498	昭和2	1927	濱口雄幸を繞る重なる人々 政界人物傳(野党の巻)	角屋謹一	文王社	書籍	
499	昭和5	1930	行幸七日		静岡縣	書籍	
500	昭和13	1938	感謝	西原貢	小室教雄	書籍	
501			松本深先生略歴			書籍	
502	昭和9	1934	弘法大師の偉徳	豊山派弘法大師壹千百年御遠忌事務局		書籍	
503	昭和15	1940	私の眼に映したる 花田先生	東亞報徳會總務所		書籍	
504	昭和24	1949	囀り 宗右先生還曆祝賀句集	野村古陵		書籍	
505	昭和24	1949	山極塩子女子の 母のことば	古村青山	白雲會	書籍	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
506			学問のすすめ			和綴じ	表紙、裏表紙に會田氏の書あり
507	昭和7	1932	會寧焼と今、藤四郎の崔氏	小山佐平	會寧産業 評論社	書籍	
508	昭和5	1930	はの字 相場川柳	播磨谷哲助	都新聞	書籍	
509	昭和34	1959	ヒットジャズ	新興楽譜出版社		書籍	
510	昭和23	1948	みなさんのユネスコ	世界日報社		書籍	
511	昭和5	1930	鉄道全通 二十週年記念誌	福島町役場		書籍	
512	大正13	1924	塩断ちの禁令			書籍	
513	昭和18	1943	偲ぶ草	鈴木林九		書籍	父の靈に捧ぐ
514			道草			書籍	
515	大正12	1923	呼醒園	山田晩華		書籍	亡母に捧ぐ 山田きぬ
516	昭和9	1934	思親憐子	丸山岩雄		和綴じ	亡父に捧ぐ
517	昭和24	1949	かるかや 句と随筆	坂巻佐和子		和綴じ	
518	昭和17	1942	蒼園の花	高木恩		和綴じ	
519	昭和23	1948	松僊畫伯の建碑成りて	古村青山	白雲會	和綴じ	
520			烈婦不二琵琶歌	妙龍道人		書籍	
521			国のかほり			和綴じ	赤穂浪士の句
522	昭和14	1939	亡き妻と共に	古村青山		書籍	
523	昭和13	1938	皇后宮御歌 やすらかに 歌唱教科書	全國神職會		紙	支那事變の戦傷病死者への慰めの歌
524	昭和29	1954	花岡青陽印譜	古山青山	白雲社	和綴じ	
525			火災防禦要綱	武藤巳之		書籍	
526			一般新聞に使用される 証券用語の解説			書籍	手づくり冊子

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
527	大正12	1923	創立貳拾週年記念帖	安曇電氣株式會社		書籍	
528			短歌新譯	尾上八郎	早稲田大學出版部	書籍	
529	昭和15	1940	詔勅			書籍	
530	昭和16	1941	ローマ字世界 ROMAZI SEKAI	日本のローマ字社		書籍	
531	昭和24	1949	社交ダンス アマルガメーションズ	かほる會		和綴じ	
532	昭和12	1937	服務必携	長野縣		書籍	
533	昭和10	1935	消防組大巡検計畫書	大日本消防協會長野支部		書籍	皇紀2595年
534	大正5	1916	御題目	井上治作	平樂寺書店	書籍	
535	昭和7	1932	淋疾とその絶對療法	西謙一郎	使徒行社診療所出版部	書籍	
536			平面 三角法教科書	光風館		書籍	
537	昭和7	1932	臣節 蹂躪の犬養内閣	國體擁護聯盟	春秋社	書籍	
538	昭和16	1941	大陸歸農叢書 第四輯 轉職の對策について	倉橋定	滿洲移住協會	書籍	會田貢宛の葉書
539	明治17	1884	解説 普通生理學	江馬春熙		書籍	會田貢氏手づくり冊子
540	昭和26	1951	世界動乱渦中の人物	旺文社		書籍	
541	大正11	1922	松澤求策君建碑紀念	信濃民報社長	三澤啓一	和綴じ	
542	昭和5	1930	復興記念 大東京	報知新聞社		書籍	
543	昭和5	1930	第二次普選 代議士名鑑	岡田晴吉		書籍	
544			寺子屋から學校へ 保等學校の回顧	下條直幹		書籍	井口喜源治の名
545	明治36	1903	教訓百首	永田隆	佛教館	書籍	
546			佐渡ヶ島	新潟交通		書籍	パンフレット

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
547	昭和45	1970	日光山	日光山輪王寺社会事業部		書籍	
548	昭和16	1941	下高井	高津榮 下高井銃後奉公會		書籍	
549	昭和5	1930	手裏剣	石川清人 髑髏庵		書籍	
550			野澤温泉4人風呂 民謡集	信州野澤温泉 常盤屋旅館		書籍	
551	昭和6	1931	帝國新書畫番附	帝國繪畫協會		書籍	
552			信玄公零廟建設會趣意書	信玄公零廟建設會事務局		書籍	
553	昭和24	1949	國寶史蹟 松本城	松本城保存會		書籍	
554	明治40	1907	松本城	草間五郎		書籍	
555	昭和32	1957	関東への旅	豊科中学校		書籍	豊科中学校3年 会田勲 旅行のしおり
556	昭和28	1953	安曇傳節 有明の鬼	三原清造		書籍	2冊
557	昭和21	1946	木曾谷の食草	長野縣西筑摩郡地方事務所		書籍	
558	昭和4	1929	高遠案内	高遠史蹟調査會		書籍	
559			日本アルプス登山案内	長野縣南安曇郡豊科警察署内 日本アルプス休泊業組合 日本アルプス案内人組合		書籍	パンフレット
560	大正7	1918	靈刹 栗尾の栞	小林俊善 萬願寺		書籍	
561	大正14	1925	中房温泉	奥村榮喜彌		書籍	3冊
562			義勇軍臺帳	南安曇地方事務所		和綴じ	個人名 入植地 帰郷日 生死
563			持参荷目録			横帳	
564			由緒書			横帳	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
565	昭和15	1940	成相 隣組常會ろ組誌			和綴じ	
566	明治45	1912	村社献備品員数目録 竝全請渡簿	本村成相両耕地 成相區氏子惣代保管		書籍	
567	昭和6	1931	祭典費徴収簿	成相町氏子総代		書籍	
568	昭和16	1941	八坂神社日誌			書籍	
569	昭和6	1931	神社日誌	氏神 八坂社 市神 氏子總代		書籍	
570	昭和8	1933	村社 諏訪社 八幡社 合殿神社 石燈籠基礎工事監督日誌			書籍	
571			雑記帳			和綴じ	病症 応急処置
572			安曇伝説 有明の鬼			和綴じ	
573			結婚協力血涙會入會申込書			紙	
574			農地解放者同盟豊科支会 関係書類 1			書籍	会計簿 申込者名簿
575			農地解放者同盟豊科支会 関係書類 2			書籍	通知書 申告者名簿
576			廣告及賛助者芳名簿			書籍	表紙のみ 白紙
577	昭和22	1947	定期預金通帳 曾田貢殿	豊科町農業會		その他	
578	昭和11	1936	定期預金通帳 曾田貢殿	豊科町信用販賣購買 利用組合		その他	
579	大正7	1918	特別當座預金通帳 曾田貢殿	南安銀行		その他	
580	大正6	1917	當座預金通帳 豊科町南安同志俱樂部 部展	南安銀行		その他	
581			帝國地方行政學會発行 手帳			書籍	覚書 昭和24年12月15日発行民主新聞 同封
582			中嶋輪兵衛記録之写 第一輯	中嶋和平		和綴じ	十ヶ堰ニ関スル記 塚原新発ニ関スル記 輪兵衛小傳
583			中嶋輪兵衛ニ對スル十ヶ堰開發功勞者事蹟調書 (輪兵衛小傳)			書籍	
584	明治38	1905	サイン帳	曾田貢		書籍	征露記念の為の帳と自序に記載

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
585	昭和23	1948	徳富猪一郎 蘇峰 英國を解剖す			書籍	新聞記事の切り貼り
586	大正7	1918	帝國繪畫番附	帝國繪畫教會		紙	
587			世界第一大勉強 広告	美篤商會		紙	
588			集金票 53人	個人名あり 給与支給 明細書		その他	
589			SBCニュース 昭和31年3月10日発行			紙	
590			新村翠石氏 老松			紙	台帳に登録する見本
591	昭和13	1938	新東亞資源開發解説地圖 支那實情 早わかり	東京日日新聞社		紙	東京日日新聞社調査編纂
592	昭和34	1959	最新 長野縣全圖	信濃毎日新聞社		紙	長野県市町村合併経過一覧
593	大正10	1921	長野縣南安曇郡地圖	信濃教育會南安曇郡 會		紙	2部
594	昭和24	1949	孝習 参考用 日本全圖	富国出版社		紙	世界全圖
595	大正4	1915	松本市全圖 松本市要覽			紙	
596	昭和12	1937	日支事變明細地圖	信濃毎日新聞社		紙	
597	昭和13	1938	漢口戦局明細地圖	信濃毎日新聞社		紙	
598	昭和15	1940	満洲開拓民入植圖	拓務省		紙	
599	昭和16	1941	満洲開拓民入植圖	拓務省		紙	
600	昭和13	1938	満洲支那全土明細地圖	讀賣新聞社		紙	
601	昭和14	1939	満洲農業移民入植圖	拓務省		紙	
602	昭和9	1934	アリアンサ移住地			紙	
603			満洲帝國地圖	満洲事情案内所		紙	
604	昭和12	1937	北支事變明細圖解	東京日日新聞社		紙	

116 文化・教育

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
605			南安曇郡蠶種同業組合員一覧 南安曇郡略圖			紙	
606	大正3	1914	鷗州大戦明細地圖	星製菓株式会社		紙	交戦國関係資料
607	大正3	1914	全鷗戦局新地圖	春江堂書店		紙	
608	昭和10	1935	最新 欧州大地圖	大日本雄辯會講談社		紙	
609			最近 ヨーロッパ全圖	鷗亞學會		紙	
610	昭和29	1954	すごろく 小学一年生正月号付録	小学館		紙	2部
611			長野縣警察の歌 雲ははれたり	長野縣警察協會		紙	
612	昭和8	1933	俳諧 14首			短冊	豊科町曾田貢殿 東京麹町区三国町一一二 加藤犀水
613	昭和8	1933	俳諧 31首			短冊	豊科町曾田貢殿 東京麹町区三国町一一二 加藤犀水
614			俳諧 62首			短冊	信濃不二周年記念
615			俳諧 6首			短冊	乃し 信濃不二周年記念 横山茂
616			ひと口つけ 雪峯卷			短冊	雪峰の印
617			俳諧 437首			短冊	記念
618			信濃不二週年記念品			その他	襖
619			信濃不二社 記念品 至誠有良民			その他	額
620			信濃不二			その他	額
621			泰然自得			その他	額
622			新文化			その他	額
623			信濃不二 記念品			その他	屏風
624			喜寿 古稀 記念品			その他	屏風
625			喜寿 古稀 記念品2			その他	屏風

116 文化・教育

7

文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
----	-----	----	-----	----	----	----	----

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
626	明治44・ 12・10	1911	信濃不二 1号 (発行の辞/祝詞/初めて見たる血涙居士/衛生漫語/祝歌/豊科町/女子蚕業教育普及に就て/霜夜私淑言/和歌/法蔵寺の鐘/祝辞/霜枯日誌/血涙和尚猊下/南安大妻の産物 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (信濃弁連/南安教育者に訴えその研究を望む/信濃不二/僕の由来/編集局より)
627	明治45・1・ 10	1912	信濃不二 2号 (新年の辞/会田血涙兄足下/蠶蛆被害に就て/衛生漫語/寄信濃不二/小僧火のことにつきて/血涙居士足下/とよしな/信濃不二に対する余の希望/安曇野より/俳句の所感/松の話 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (霜夜私淑言/吹雪の夜/信濃不二/信濃不二発刊祝賀会/子年の南安/名花二輪/法蔵寺の鐘/雑録数件/和歌・俳句外)
628	明治45・2・ 10	1912	信濃不二 3号 (独立自尊/得匡還珠録/遙かに前途を祝福す/読書の徳/山葵に就て/農村の娯楽/寄信濃不二/百万円の用途/情歌について/血涙の君に捧ぐ/伊勢の友へ/別離/意気相投すれば 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (寄信濃不二/和歌俳句一ト口附/名つけ親/余が郷土/霜夜私淑言/行脚記/吾人の希望/編集局より/寄贈新刊紹介)
629	明治45・3・ 10	1912	信濃不二 4号 (書画亡国論/所謂南安時間に就て/誠あれ/信濃不二に対する希望/十七字詩に就て/と思う/旧平民文学研究者/春の花見に就て/もう春になった/正月漫語/平凡なる親友論 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (山中より吾観漫語/炉辺閑談三則/豪い人達は恨人/花婿花嫁/思い出/春雨の一霄/年賀状/幅下の土堤/日記の一節/ももさくら/柏矢町繁昌記/和歌外/行脚記/寄贈新刊紹介)
630	明治45・4・ 10	1912	信濃不二 5号 (奥様嬢様方へ/吾人須らく実業を発揮せよ/慈母の感化/抱負と成功とを論ず/悪魔の如き子孫/時の必要を論ず/幅下の文学的価値/信濃不二の発刊を祝して/呈会田血涙兄足下 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (得匡環珠録/会田血涙君に見参/磧水窟禅話/藻口草/思潮/月夜社頭/軍隊宿営の一斑/日記の一節/春の夕景/地獄より某女に送る/徒然の二時/片々集/東京弁連に遊ぶ/和歌外)
631	明治45・5・ 10	1912	信濃不二 6号 (消防衛生隊の組織を望む/青年の煩悶/集金郵便の利用を望む/看護婦の解/我感我想/義理人情/磧水窟禅話/南安蚕界たより/一山霊神の古蹟に遊ぶ/慈母の感化/夢に対する寓感 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (春の影/笑門福来/日記の一節/十三屋敷の半日/鉄拳録/柏矢町の臍の緒/くだらぬ記/はうたに顛われる俳句/所感/楽しき境遇/我が村/家庭相談/スクラップブック中より/和歌/我が里百首/血涙余沫/漢詩/俳句/一ト口附)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
632	明治45・6・10	1912	信濃不二 7号 (蚕種家は蚕種を売るべし/蚕業家の注意すべき数々/蚕体と空気との関係/養蚕業の趣旨/小費多穫/蚕業経済研究の必要/随感随筆/一山霊神の古蹟に遊ぶ/蚕時の火の用心/茶うけ 以下宛所へ)			冊子	1号～13号まで合本 (蚕時の養生/人物の修養/野の人より/田圃漫語/須からく本業に精励せよ/おかいこの様な妓/養蚕浪花節/南安曇女子蚕業卒業講習生/和歌数首新体詩/青風会募集俳句/一ト口附/冠附俳句/編集局より)
633	明治45・7・10	1912	信濃不二 8号 (吾が安曇の地は天与の原蚕地たるか/蚕業上に現われ道徳の腐敗/迷働的飼育法の弊/ますます蚕業奨励を望む/蚕時の衛生に就て/養蚕組合の組織を望む/夏期休校を利用せよ 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (益々好望なる南安の蚕界/養蚕教師の忠実を望む/精神物質の趣向と改造/煩悶/評を見て血涙氏に呈す/祝信濃不二の発展/甲州の桑摘歌/五月雨の心を/快の説/帰休の日/心の色/蚕種の選択/黒沢行/種客の十色/野の歌/短歌外)
634	大正元・8・10	1912	信濃不二 9号 (大行天皇御崩御を悼み奉る/吾国現在の蚕業に就て/人生最高の義務は他人と憶うこと也/世に子の恩と言うものあり/蚕業と青年/小児の頭囲と胸囲との関係 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (青年よ軽々しく都会熱に罹る勿れ/吾輩は蚕である/俳句叢談/会田血涙足下/恋は曲者/土百姓/日記の一節/片隅より/夏至の一日/知るべの君に/百字文集/問答/十徳と十損/上水内郡より/南安曇郡各村農会試作場一観/夏の髪飾)
635	大正元・9・10	1912	信濃不二 10号 (男と女とは共持ちの世なり/農家の子女に海老茶袴は大毒なり/青年会の反省を促す/青年に送るの書/吾人は幸福なり/協同心/詩悶/人生の幸福/病床苦痛の一節/憐れなる漂浪者 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (血涙氏に望む/当世ハイカラ女へ/仙台より/都の友へ/擦れちがい/妾は女である/月夜/浅間の一夜/中房温泉句抄/俳話に就て/毒言悪筆/いろいろさまざま/南安曇郡十宛のもの/本社軍人慰問/南安曇郡各学校の女教員/祝十号/南安曇の赤十字/編集局より/和歌 新体詩/俳句)
636	大正元・10・10	1912	信濃不二 11号 (職業信仰論/情死論/剛健なる気風を養成せよ/百日咳又疫咳/余の観たる養蚕の七難/須べからく蚕業組合の組織せられよ/郡立図書館を創立せよ/店員諸君へ/暁色/参籠の記 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (吾輩は蚕である/白衣の美人/労後の休息/活動の初日/空想/初秋の夜/南安曇郡神社一覧表/五足草靴中房紀行/俳句叢談/寧静/国語漢字問答/東京より/諏訪より/秋月千野章兄足下/兵営より/毒言悪筆/友/ゆく雲/八百屋お七/和歌等/豊科月並俳句会)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
637	大正元・ 11・10	1912	信濃不二 12号 (回顧一周年/平凡の説/希望と忍耐/基督教に就て/青年の思想/阿弥陀は我々凡夫の枝/社会腐敗の原因は女子にあり/将に一周年/会田血涙君/祝一週年/一週年を祝す 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (祝信濃不二一週年/祝辞/責任/申訳的の悪口/教訓歌/勤勉たるべし/香の烟/汽車の一日旅/秋の野趣/小倉より/麻疹のはなし/鶏買い/毒言悪筆/秋の声/不二子の夢/演習地宛郵便物に関する注意/本邦模範青年団の事蹟/編集局より/ゆく雲/村芝居/和歌等)
638	大正元・ 12・10	1912	信濃不二 13号 (大正元年を送る/源平の興亡/燈火可觀勉強好期/生存競争/歳暮に臨み一言す/裸体で御免/伊勢だより/俳句叢談/あゝ妙なる哉天の衛生/銀杏樹下に立ちて/参籠の記 備考に続く)			冊子	1号～13号まで合本 (好機逸すべからず/思い出の一夜/都の友へ返し/野の人/礼法の真体は何乎/学校教育上の三恩/生と死/白骨温泉/公德心に就て/一文惜しみの百知らず/寄稿家に告ぐ/女の犯した罪/熊公の仇打/安曇の山葵/水仙玉椿/肥料は何程であるか/錦部より/百字文集/毒言悪筆/暮秋之日の旅行記/衛生組長と軍人分会長/編集局より/田沢温泉道草/亡き妹/ゆく雲/和歌等/都々逸とタバコ/血涙庵即題/御断り)
639	大正2・1・ 10	1913	信濃不二 14号 (大正二年に望む『信濃不二』主幹/新春を迎えたる青年への希望/新春を迎えたる南安養蚕家諸君/単純福音/処世は如何/随感随筆/田沢温泉道草/暮秋の日の旅行日記/白骨温泉 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (或る夜/弱者の自白/読者に対する余の希望/新年を寿ほぐ/新春の辞/祝大正二年信濃不二第14号/大正二年と信濃不二/南安曇蚕種同業組合の代議員と幹事/南安曇郡の村長と助役と収入役/農村青年に訴う/信濃不二新年号を祝す/寒心に堪えざる風俗の墮落/主筆血涙君足下/穂高と柏矢町の芸妓/南安消防組の役員/足中草履/春を一寸と/祝新年/本年から指を折ってみると/長野より/牛の年/万物作/初旅の滑稽/失恋/和歌等/第二回募集情歌披露)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
640	大正2・2・10	1913	信濃不二 15号 (天理教を論ず/果実の成年と言う事/稲熱病に就て/農村青年諸君に望む/帝都の裏面/伊勢だより/ある朝/閑話休題/白骨温泉/聖霊の下る所/立志/藤村さんへ/丑/雪の日 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (飴市行き/乞食の子/兵営より 歩50ノ12/南安消防組役員/大正元年度成相消防組会計決算報告/信濃不二社新年会/豊科芸妓総まくり/21回猛士/二輪の花/迷ぐも/和歌外)
641	大正2・3・10	1913	信濃不二 16号 (武装せる信濃不二/憲法小話/源氏評論/柿は誠に味なもの/本郡の稲熱病に就て/諏訪湖畔より/血涙/片々独言/名誉なるものの標準を過れること/俳句育評/白骨温泉/孤児 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (適齡者諸君へ/画家藤森桂谷/薄弱なる青年に告ぐ/北海移民の友/机上の面影/諏訪の南安芸妓/南安曇の土地/百姓の利益/世界の一等国/春の逍遥/遠国の友へ/21回猛士/骨正月/奇怪/美文/豊科芸妓総まくり/毒言悪筆/二月と南安と血涙/和歌外)
642	大正2・4・10	1913	信濃不二 17号 (穂高人士は死せるか眠れるか/秋蚕種製造準備に就て/桑の紋羽病に就て/本郡の桑園/憲法小話/穂高町発展策/穂高未来記/穂高町繁栄策/北安より啓上/関西旅行/近事単語 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (健康の必要を論ず/オペラバック/田沢より啓上/豊科俳句第十回月並会に臨む/南安曇郡道 /婦人の衣服に就て/青柳ドクトル訪問記/陸軍記念日/女子教育は不実用だ/淋しい女/季節のこと/宗匠号に就て/毒言悪筆/雛の話/スケッチ帳より/文苑/過去帳/新刊紹介)
643	大正2・5・10	1913	信濃不二 18号 (五つたび穂高町のために泣く/蚕種販路拡張方法/本郡の稲熱病に就て/吾が帝国の前途/島国根性/農村と蚕業組合に就て/我が国民性の特色/農学と学問/金儲け/随感漫筆 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (品性論/自己の特徴を發揮せよ/月下の思出/尼法師/元教員の美挙/死/杷柳講習会を觀る/梓ゆき/阿房多羅經/口絵の解/編集長閣下/暗夜の劍光/毒言悪筆/大雲寺觀桜紀行/文苑/過去帳)
644	大正2・6・10	1913	信濃不二 19号 (南安仏教会に臨む/選挙と立憲政体/村會議員諸君に呈するの書/本郡の稲熱病に就て/南安仏教会設立の趣旨/日本アルプス/初対面の会田血涙君/奇傑藤森桂谷翁の霊を追弔す 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (死を悲しむものは愚なり/南安郡道/思い出の記/碧の日本派/農商務省原蚕種製造所一覽/入社辞/北安曇郡連合衛生組合長/自分の値打/南北安曇東筑摩村會議員一覽/夫に捨られた女/破れし恋/別れる駅/死/毒言悪筆/新刊紹介/北安曇郡直接町村税/和歌等)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
645	大正2・7・10	1913	信濃不二 20号 (蚕業界の大激戦/春と夏と秋とは気候が違う/果して不良なるか安曇の蚕種/農は神聖なり/毒舌鋭鋒/贈物の選択に就て/養蚕/全国郡立蚕業学校/白骨温泉/中房温泉/別所温泉 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (汽車の夏/樺太より/生坂より/北城より/締盟国祝日表/蚕種家と風穴の数/断片評論/飯沼曄清君に教ゆ/各紙の本誌評/南安曇郡蚕糸業一覧/南安曇郡大正元年度二化蚕種名称別産額調/南安曇郡蚕種蚕額調/謹で『夫に捨てられたる女』の筆者諏訪煙峯兄に呈す/南安曇郡の人口及戸数/豊科町の二つ三つ/生坂行き/私は蚕であります/蚕業の不振/蚕種製造に恰適せる南安曇郡自然の要素/平凡録/日本アルプス/生坂村の産業/連帯責任/桑摘み輝子/破れ恋/破れし恋/毒言悪筆/豊科花柳女将の解剖/和歌等/過去帳/新刊紹介)
646	大正2・8・10	1913	信濃不二 21号 (暑中休暇の廃すべきを論ず/刑事政策と公衆の任務/愛郷心/山岳の研究/妊娠の摂生法/腹帯/本年度に於ける春蚕の結果/自治論/青年に一書を呈し申候/禁酒せよ/成功易 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (奇怪なる声色/一将功成て万骨枯る/藤村操を想う/信濃不二/荒居の月/土百姓から/私の庭園/余の所感/北安曇郡の名所及重要物産/北安曇郡青年会一覧表/豊科女将の解剖/毒言悪筆/短歌外/過去帳)
647	大正2・9・10	1913	信濃不二 22号 (官製青年会の非を論ず/刑事政策と公衆の任務/自治論/浄土教より見たる新婦人/現今の婦人問題/功積難きに付て/小倉官林松下問題/明治年間に於ける蚕糸業/世上雑観 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (避暑客に一筆呈上/俳句育評/放言漫語/南安曇郡に於ける各種各階級の女/直言直筆/立田料理店女将の解剖/北安曇郡青年会一覧表/和歌外/過去帳/新刊紹介/敢えて芸妓諸君に問う/御客様に申上ます)
648	大正2・10・10	1913	信濃不二 23号 (出兵すべし/焼岳の報告に関する報告/本邦織物の由来及其の種別/血涙大和尚へ/刑事政策と公衆の任務/交際難きに就て/平民論/安曇村大野川区の大飢饉嗚呼五百の生霊飢に泣く 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (雑誌記者/余が天理教を信ぜし経路/試験場/旧師にはからず逢う/近來放言/世上雑観/衛生問答/運動会に就て/明日の日曜/ノマドショー/生坂より/浅間より/工女養成所修了式/南安機染同盟会/少ないものづくし/紅葉の色/毒言悪筆/和歌等/過去帳/新刊紹介)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
649	大正2・11・20	1913	信濃不二 24号 (本誌二週年/時事小言一束/自然に帰って信ぜよ/祝詞/余 天理教を信ぜし経路/世上雑観/二十四/編集局より/蚕種製造家14傑/情歌の宗匠斯道 二十四揃 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (煙草小売人多額二十四傑/俳句の宗匠二十四傑/ト口附の先生風流/金持二十四傑/おとがひげ二十四揃/面白き酒呑み二十四揃/碁客 十四揃/大兵肥満の二十四揃/禿頭二十四揃/和歌外/俳句/大廟参拝/過去帳/新刊紹介)
650	大正2・12・10	1913	信濃不二 25号 (仕事ざらいな青年に告ぐ/農芸氣象に就て/我観育語/生坂煙草の沿革及現時の状況/亜米利加帰りの目に映じたる郷里/信濃不二第二十五号に就て一言す/立小便の記/秋夜 備考に続く)			冊子	14号～25号まで合本 (東都を思う/信州の花/血涙先生足下/祝辞と所感/一筆啓上/別れ/交際難に就て/不思議の御助け/覚醒にむかえる穂高町/公園/俳句見本/満州より/毒言悪筆/和歌外/過去帳/編集局より)
651	大正3・1・10	1914	信濃不二 26号 (大正三年を迎う/憲法の解釈法/権利の上に眠るなかれ/我観育語/春風駘蕩か秋霜烈日か/陰陽両方面に於ける地温変化の状態/直言以て豊科町に望む/位置と職責 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (昔を忘れぬお正月/虎の絵はがき/寅年/都を思い/世上雑観/読者諸兄に一言す/時事短語/処世の理想/満州より/天皇旗の御紋章/初日の出/松代より啓上/歳晚句録/俳句見本/製糸工女/髪かたち/南安花柳虎の巻/南安曇郡会議員の年齢/穂高花柳女将の解剖/寅の虎/寅の田沢より/噫残念! 噫不快! 誠に申訳ない/毒言悪筆/和歌等/豊科村外五ヶ村組合伝染病院/過去帳)
652	大正3・2・10	1914	信濃不二 27号 (人誠意なくして神怒る/海軍の根本的廓清を要求す/憲法の解釈法/農村青年諸氏に告ぐ/蚕種を貴重品たらしめよ/天文地学に就て/馬匹改良に就て/初めて信濃不二に 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (暖かなる寒に候/主観と客観に就て/余が天理教を信ぜし経路/遇感/紙屑籠/意の存在/松竹梅屠蘇酒/伊勢参宮途上吟/雲外居石村宗匠立机祝賀会句集/大正五人男/南安花柳虎の巻/過去帳/編集局より/世人への注意)
653	大正3・3・10	1914	信濃不二 28号 (来年の事を言えば鬼が笑う/立憲国としての日本の一大欠陥/農村青年諸氏に告ぐ/蚕種業に対する感想/自治の本義/火を大切にせよ/南安曇郡の経費はこうである/生涯観 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (血涙兄足下/雑感/衣食論/軍艦日進より/満州より/感謝録/俳句見本/長寿場のぞき/和歌外/信濃不二五句集/故青葉翁追膳集/豊科月次三つ折会/南安花柳虎の巻/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
654	大正3・4・10	1914	信濃不二 29号 (護国の神/自治の本義/東京に遊学せしめんとする子弟の父兄に告ぐ/Mさん/夕雀のなくころ/家出/森の影/女の心/新馬鹿大将/大正不如帰/春と吾れと/法の罪/人に代りて 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (暗夜の剣光/蚕と馬/春の日暮/原稿用紙/プラットフォームの30分/梅に鶯/噫権堂/陋習/時事温言/東西南北/歌・詩外/編集局より/過去帳/南安仏教会義金報告/新刊紹介)
655	大正3・5・10	1914	信濃不二 30号 (皇太后陛下敬悼の辞/南安曇蚕種製造家の猛省を促す/蚕児の掃立に就て/大正維新と新内閣/堆肥の肥料的価値/大正維新の青年に訴う/瑞穂倶楽部と模範的活動 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (稲田の水溫調査/養蚕家のために/馬匹改良に就て/南安蚕種同業組合の経費はこうである/ラジウムに就て/蚕と馬/農村だより/闊歩せよ人の大道を/信濃不二29号短歌妄評/南安花柳虎の巻/北安松川村細野十交社主催御即位記念諏訪神社奉額俳句大会/鶴山流行会道祖神奉額一ト口附選吟/第21回豊科月次会三つ折俳句集/信濃不二五句集/過去帳/故藤森桂谷翁追悼俳詩集/二行通信/新刊紹介)
656	大正3・6・10	1914	信濃不二 31号 (必ず当たる養蚕法/発心室扶斯/蚕病消毒は万能にあらず/蚜虫に就いて/催眠術の真価/本邦の天蚕蛾科/憲法と政治の実情/新町、生坂、明科間の県道編入は当然事たり 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (一私人一部民利益のために二郡十四ヶ村に又がる/灌漑反別3800町歩の井掛農民を泣かしむべきか/自治の本義/現代人物一覽中に於ける長野県人/日本と西洋の反対の風習/南安曇郡大正三年度直接村税負担額及納税人員調/東京大相撲夏場所新旧対照番付/私は蚕であります/セッチンの隅にて/弱い男/鉄瓶根性/快活にせよ/Mさん/新馬鹿大将/大正不如帰/涙恨録/長野県の蚕種家/桑園及肥料/仲買人/有明の耕地整理/農村より/南安曇郡の内閣/蚕業取締所職員/鉄道唱歌/犀沿吟社四評/信濃不二五句集/奉悼歌句/玉水庵環翠宗匠立机披露俳句一ト口附集/過去帳/北安花柳虎の巻)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
657	大正3・7・10	1914	信濃不二 32号 (悪商人等の奸策に陥る勿れ/憲法と政治の実情/青年諸君に望む/出獄人の保護にいて/蚕糸業立国論/農村の衰微に就て/瓜生大将と語る/蚕業の奨励や改良や俗歌を用うべし/人 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (浮世の恋/恋と愛/大正不如帰/ためになる話/桑つみ/朝鮮鮎/牛飼い/後朝/成功易/工女と芸妓/南安曇郡内閣見立/鉄道唱歌/紫草会詠草/和歌外/信濃不二五句集/安曇蚕況視察案内記/発蛾蚕附と名称/蚕業に関する役員及職員氏名/馬車人力社賃銭表/過去帳)
658	大正3・8・10	1914	信濃不二 33号 (松本平の人士に訴う/憲法と政事の実情/皆さんはどうしても貯金が出来ぬのですか/長井郡長論/樹陰漫語/鳥も通わぬ八丈が島/会田社長足下/過去帳の過去帳/大正不如帰 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (再び塩崎医の玄関にて/七月号の短歌に就て/北安曇郡の特産物/涼風や山嘯いて谷喘ぐ/毒言悪筆/暑中消息/高原国の自然美/短歌外/大町花柳虎の巻/二行通信/過去帳)
659	大正3・9・10	1914	信濃不二 34号 (吾人は皆軍人なり/臨時防務会議と海軍協会/再び論じて青年諸君の一顧を煩わす/現時養蚕家個々の状態と吾人の意志/木曾産馬の沿革に就て/熱中鉄語/農家の副業/俳句育評 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (信濃不二を読みて/桃太郎/血涙和尚閣下/大正不如帰/南安救護会/心の呻き/成功/世界列強の現況/南安〇〇一覧表/師団管区表/入社 of 辞/勤儉の歌/大和撫子/膠州湾へ/公庁所在地・各国大使館所在地/短歌外/信濃不二五句集等/本調子/時事都々逸/二行通信/編集室より/保高組枝郷小名所調/海軍管区表/新刊紹介/過去帳)
660	大正3・10・10	1914	信濃不二 35号 (戦時に於ける国民の覚悟/羽生警察署長論/麦の黒穂病予防に就て/台湾に於ける米作/現時養蚕家個々の状態と吾人の意思/嗚呼青年/偶感/南安青年会の創立/白馬嶽登山記 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (田園生活の趣味/二六詩変遷/血涙和尚様へ/大正不如帰/誇りたる文字の読方と誤りたる字の書方/秋の夕暮/書齋の窓より/馬追虫/宵闇/生坂より/土佐より/能州の種屋豊科下り/生坂案内/二行通信/短歌外/過去帳/編集室より/新刊紹介)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
661	大正3・11・10	1914	信濃不二 36号 (信濃不二第三週年/我々は斯くも少なるべき乎/独仏戦争と我等の鑑戒/講和会に就ての注意/祝信濃不二第三週年/信濃不二の生命は斯くの如にして永久なるべし 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (信濃不二社開山血涙大和尚足下/貴誌三週年を祝す/信濃不二発刊三週年を祝す/祝信濃不二子三週年/南安青年会に望む/言論界に於ける会田血涙君/祝辞/会田先生足下/信濃不二誌満三年三十六号の祝詞に代う/信仰心/南安曇郡三官衛長官陳列/深志城下より/三十六歌仙/南安青年連合会/短歌等/三行通信/過去帳/寄贈及交換)
662	大正3・12・10	1914	信濃不二 37号 (祝豊科電話開通/減租運動と農業者の自覚/図書館に就ての私見/一代雑種に就て/建設か破壊か/嗚呼青年/独逸人の勤儉を学べ/等々力老農の青年訓を読んで 備考に続く)			冊子	26号～37号まで合本 (海外発展と殖産興業の急務/赤心の一片啓上/白馬嶽登山記/ニ六詩の変遷/女子農業教育の必要/読書論/伊豆畑毛温泉川柳紀行/日本赤十字社病院より/軍艦阿蘇より/和歌・漢詩外/俳句・都々逸外/二行通信/明科の芸妓/過去帳)
663	大正4・1・10	1915	信濃不二 38号 (自から禁酒を告白す/プランセットの話/一代雑種に就て/大正四年の初頭に望んで/笑う門には福来る/所感/漢学に就て/忙中漫言/欧州戦争の前途 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (貴誌38号を迎えて将来を希望す/青年諸氏に告ぐ/吾が生涯/乳川河畔の月/御目出どう/土百姓/懐古/四方の雅君へ/大正婦人会設立の趣旨/毒言悪筆/狂犬病に就て/天下一品古今東西珍無類の会合/軍艦吾楼より外/卯年生れのエライもの/豊科花柳虎の巻/和歌外/信濃不二五句集外/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
664	大正4・2・10	1915	信濃不二 39号 (候補者が候補者ならば選挙民も選挙民果して何れのHにか立憲政治の実を挙げん/五つ度青年諸氏に望む/本郡農会堆肥組合設置補助規定に付ての所感/欧州戦争の前途 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (南穂高青年会の寄す/大坂より/会田血涙賢兄/血涙先生と禁酒/酒の害に就て/禁酒慰問/今年の不景気は当然の不景気/漢学に就て/と思う/木曾の林産物/名誉を愛せ/悪しき虎/豊科駅にて/雪の一夜/日記の一節/山の女/禁酒漫言/毒言悪筆/豊科花柳虎の巻/立憲政友会所属議員及本部役員宿所/長野県会議員 衆議院議員選挙有権者数/文苑 和歌外/信濃不二五句集外/狂句/カチューシャ可愛や/過去帳)
665	大正4・3・10	1915	信濃不二 40号 (忠君愛国は戦時の専用物に非ず/一筆啓上仕候/会田主幹に寄せて節にその健康と奮起を望む/等々力正晴氏と殖産興業/狂犬病に就て/走り書/失恋/青年会に就て 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (国害となる十種の青年/田舎の春/満州の友に/針大棒小/好女子/飲酒の害/豊科十美人を募る/禁酒漫言/山の女/或る女から/俳友蘇風君逝く/毒言悪筆/今昔俳人小伝/南安曇郡政事家一覧表/和歌外/信濃不二五句集外/川手文農会開巻披露/信濃升連主催戦役紀年大社奉額/句集/松川村細野アルプス会句集外/過去帳/編集局より)
666	大正4・4・10	1915	信濃不二 41号 (豊科町民諸君に訴う/因縁と感恩/欧州戦争の前途/時局と蚕業経営/軍備の必要を論じて国民性に及ぶ/馬鹿古人便り/木曾神谷青年会/祝血涙賢兄の禁酒/売られた女の心持 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (鉄嶺より/今昔俳人小伝/頭陀袋/望月滋野翁小伝/毒言悪筆/亡き弟を想う/家出/禁酒漫言/穂高十美人を募る/豊科花柳虎の巻/和歌外/豊科十美人発表/過去帳)
667	大正4・5・10	1915	信濃不二 42号 (県会議員選挙に就て/混濁せる選挙界の廊清/郡の農蚕業技術員を廃して各村に置いたらば如何/協同乎個人乎/大正の青年諸兄に告ぐ/一家の経済/処世法/芸妓哲学/百合ノ花 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (/淋しき心/読者諸君に告ぐ/実業補習学校/覚めたる己/吹雪の中から/雅道を研究する青年諸君に望む今昔俳人小伝/樺太より/中堀旭青年会、青年の友/魔術/処世の箴/禁酒漫言/長野より/毒言悪筆/東穂高十美人を募る/豊科十令嬢鑑発表/風の神/南安花柳虎の巻/和歌外/南安連合観桜会/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
668	大正4・6・10	1915	信濃不二 43号 (白骨温泉紀行を叙して安曇の耶馬溪を天下に紹介せん事を望む/時局と蚕業経営/微粒子病撲滅策/礼儀に関する愚説/遙かに波濤八百里外暴政に苦しむ吾が同胞の為に慟哭す 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (老成着実なる若き人に/敢て予が卑見を述べて意気有る青年の奮起を促す/衛生と美髪/青年を戒む/公明正大/煙と蚕/恐ろしや穴恐ろしや/工女/利鎌の光/煙草吸う暇に/夢/懐しい優美香様/古駅にて都へ/今昔俳人小伝/山清路/南安曇郡の県税等級割/南安曇郡の金持一覧表/コンポンジョン/不幸の一家/会田社長足下/生坂より/台北より/樺太より/筆にまかせて/珍文会席一口料理/龍門寺一泊/東穂高十美人/短歌外/過去帳)
669	大正4・7・10	1915	信濃不二 44号 (日本アルプスと秋蚕種/蚕種製造方法に就て/交配蚕種の優勢/微粒子病撲滅策/大正四年の蚕種製造家は/養蚕奨励数え歌/大正三年南安曇郡で出来た蚕種/白馬嶽登山記 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (アルプス霊泉紀行/蚕戦場裡より/六月号より申上候/戸隠山記行/南安曇郡の養蚕組合と生糸と天柞蚕/疑を開きて突進せよ/日本全国の蚕糸業に関する順位/悟/木曾の風景/我第二国民の覚悟/樺太より/今昔俳人小伝/南安曇郡累年蚕種額調/修養/立てや青年/予告/毒言悪筆/南安曇郡蚕業取締吏員/長野県の桑園と仲買人と風穴/啓上仕候/長野より/赤十字支部より/日本アルプス連峯/柏矢町十美人 次は有明十美人/和歌外)
670	大正4・8・10	1915	信濃不二 45号 (再び県会議員選挙に就て/信濃不二の内容に就て/微粒子病撲滅策/蚕病予防は何の効がある中々面白き事に御座候はずや/政事家の文学的思想/愚感録/栗尾の精霊会 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (おならといばり/忘れられぬ小児/夏の夜の思い出/今昔俳人小伝/恵子さんに/都の友に/廢れ行く井戸/生坂より/加賀丸便乗記/笑と涙/薄命の女/光風舎短詩話/句の働/夏/於加品物陳列/夢中より/南安花柳虎の巻/短歌外/住吉神社 珍文会外/軍事欄/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
671	大正4・9・10	1915	信濃不二 46号 (所謂不景気なるものを歓迎す/会田血涙君足下/歯の衛生/果して現状に満足すべきか/学校の先生なりとて神様にあらずエホバの神も道楽娘マリアの私生子なり 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (中央の天狗信州に入る/活動の努力/信濃不二を介して豊科青年諸君に/時事漫言/天水漫言/客を粗末に取扱う勿れ/加賀丸便乗記/夜の銀座街/恵さんに/処女の悲哀/初秋/松本繁昌記/川手平凡山人君に与う/細民の声/毒言悪筆/有明十美人 次は梓村/短歌外/過去帳)
672	大正4・10・10	1915	信濃不二 47号 (日蓮上人論/敢て蚕種業者の猛省を促す/一貫の志望/信任論/時事机言/安曇村より/加賀丸便乗記/三傑の訓言/赤門前の一夜/秋冷/年若い靈魂/恋人より 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (屠繭の煮方と注意/雑記帳/秋窓雑感/梓橋駅落成祝賀会の印象/笑声様へ参らす/人生一義/女鳥羽河畔の感想/軍人消息/古賀氏結核治療剤に就て/長野県会議員一覧表/毒言悪筆/和歌外/過去帳)
673	大正4・11・10	1915	信濃不二 48号 (嗚呼南安同志倶楽部/現時蚕業界に対する余が卑見/田園夜話/会田尊徳先生へ申上ます/人生第一義/十月号より/東穂高特設電話に付て/本村に於ける本年の稲熟病状況 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (吾等は如何にして発展せんとするか/雑記帳/南無阿弥陀仏/柿の教訓/酔中芸語/暮秋と自分と/疑惑の捕虜/没了当/郵便箱/漂泊の人より/初めて隅の方から/所在なさに/毒言悪筆/和歌外/過去帳/南安曇郡会議員略伝/編集室より)
674	大正4・12・10	1915	信濃不二 49号 (天杯を賜りし御老人諸君に御祝を申上ます/余が医薬分業を主張する理由/製糸家と提携して蚕種の販路を拡張すべし/北安曇の公職にある諸士に/大臣の総数は九十九名 備考に続く)			冊子	38号～49号まで合本 (日本商人対露活躍/伊豆少将-武井主事-井上課長と語る/華を去り実に就け女学生諸子若い教員の女子教育は猫に鱈節/前田政恵子-武井幽美子-細田春子の三女子に告ぐ/南安曇郡第五回赤十字と第三回愛国婦人会総会詳報赤十字/時事漫言/芸妓の見たる人妻/時事断片/毒言悪筆/歳晚雑感/火燵の慰み/郵便箱/加賀丸便乗記/会合/見たり聞たり/南安花柳虎の巻/和歌外/過去帳/花柳風聞録)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
675	大正5・1・10	1916	信濃不二 50号 (我々青年の責任は重且大なり/大正五年年頭の感/天柞蚕採種上に就いて/君子はその独を慎む/現代の家庭状態とその婦人思想/果して将来の日本の立場は如何/如意が怖さに 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (現時蚕業教育の欠陥/南安曇蚕界の一角観/同心/青年を閉却する勿れ/電燈に対する需用者の声/樺太より/乾坤皆是新也/心の春/龍神岩のロマンス/手塚安惇先生建碑と除幕式/自訓/俳諧と長命/独言飽筆/会合/松本繫昌記/和歌外/豊科署の撃剣会 忘年会 松本七福稲荷披露/過去帳/見たり聞たり)
676	大正5・2・10	1916	信濃不二 51号 (馬を飼え/研究を要すべき本年の生種製造業/学校の選択は最も必要なり/南安教育者に向けて一言希望す/懈怠録/花卉の栽培/所感あり曰く南安の蚕業/東亜の今後 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (電燈に対する需用者の声/俳諧告発欄の新設を訴う/静かな日貴男に/春日屋のお初/しぐれする日に/その夜/俺が埋草/新年の感/絃のひびき/毒言悪筆/芸妓と自転車 南安の徴税成績 豊科と池田の警察事故 梓十美人/和歌外/過去帳/見たり聞たり)
677	大正5・3・10	1916	信濃不二 52号 (時感一則/繭質の改良には桑園を改良すべし/懈怠録/帝国議会に於ける宗教問題現代仏教徒の覚醒を促す/社会階級の不平論/再び南安教育者諸君に希望す 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (鳴沢川氾濫し三田小倉両村田畑百余町歩を犯す果して之を等閑に附すべきか/小田々井青年会の内容/時事評論/美の神よ/南安看護婦産婆会 台湾信濃人会 郵便箱/安曇の桑/俳諧と長命/文芸公判庭 野人言/漢詩外/名花二輪/見たり聞たり 花柳風聞録/過去帳)
678	大正5・4・10	1916	信濃不二 53号 (今気が附けば未だ幸いなり/有望なる晩秋蚕種を安定にすべし/桑園の肥培に就きて/婦女子に就きて/有明山神社記/帝国議会に於ける宗教問題現代仏教徒覚醒せよ/時事評論 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (浮世の外記 了智上人の墓 涙 憎まれ口 暁の歩哨/毒言悪筆/野人言/公判庭 郵便箱 追憶のために/漢詩外/見たり聞たり 花柳風聞録 名花二輪/過去帳/南安衛生組合の活動)
679	大正5・5・10	1916	信濃不二 54号 (信濃日光公園観桜の記/施肥は須らく合理的なれ/国民性と俗謡/地方宗教家に望む/所感あり曰く南安蚕業/雅会のために訴願状/有明山神社記/有明扶桑青年団 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (南穂高村十美人/時事評論/春窓随筆/野人言/退矢物語/公判庭/春の表現/毒言悪筆/郵便箱/漢詩外/過去帳/名花二輪/見たり聞たり/花柳風聞録)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
680	大正5・6・10	1916	信濃不二 55号 (時感一則/晩秋蚕種製造と当業者の注意/是れでも辜丸ある男子と言えるか/我輩は蠶蛆である/有明山神社記/雅界見聞録/交配種の名称/雑感/思いしままを/呷々千万 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (未練男の告白/露生君へ/大正五年夏場所大相撲幕内星取表/南安曇郡蚕種製造者番附/全国蚕種製造家番附/片倉工場内の無理心中/毒言悪筆/編集室より/文芸公判庭/郵便箱/和歌外/名花二輪/見たり聞たり/花柳風聞録/過去帳)
681	大正5・7・10	1916	信濃不二 56号(蚕桑号) (交配種製造方法に就て/蚕種製造家の減少と蚕種製造額の増加/製糸資金二千二百万円/全国の春蚕一億四千万円/梓郵便局長の更迭を祝す/目を醒せ豊科町民 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (秋蚕生種販売に対する資料/広く優良蚕種を紹介提供せんとす/長野県の蚕種家 東西筑摩南北安曇四郡の蚕種家 蚕種製造予定額/有明山神社記/宗匠の尊号は天爵か人爵か将た名誉職か/穂高の蚕種家諸君に告ぐ/六月号より啓上仕候/南安曇郡の養蚕組合内容/毒言悪筆/公判庭/十年間に百万貫長野県の生糸/南安産業の一斑/郵便箱/和歌外/過去帳/五月六月七月い出た新妓/天柞蚕同業組合の現況)
682	大正5・8・10	1916	信濃不二 57号 (フントウの人を求む シホンある人を求む カテー教育最も必要/血涙和尚足下へ御相談/名古屋側面観/有明山神社記/南安機染同盟会の発展/長野県の湯 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (南安曇郡大正五年度町村税一覧表/緑陰漫語/本誌読者と郵便局/美人の面影/下條様へ/毒言悪筆/東川手正友会創立趣旨及会則/郵便箱/短歌外/愛馬脛/高山博士の日蓮観/如来出現/強大なる富士と本能主義/過去帳/見たり聞たり)
683	大正5・9・10	1916	信濃不二 58号 (日本人の強き理由/東京より啓上仕候/日本赤十字社世界に赤耻を露らす/禁酒の必要/独専毒銭/名古屋側面観/南安曇郡大正五年度役場費一覧表/恋愛と嫉妬/有明山神社記 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (長野県出身文武官実業家著名者/伊香保たより/毒言悪筆/大いに豊年祭を祝す可し/郵便箱 和歌外/安くも高くも無くて果して公平乎/過去帳/見たり聞たり/感謝録)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
684	大正5・10・10	1916	信濃不二 59号 (日本有富寿の宝庫を開け/信濃不二社に寄す/褥中の随感/有明山神社記/酒の害毒/愛恋と嫉妬/織物原料製造法/南安曇郡町村税徴収成績五ヶ年比較表 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (長野県出身文武官実茗家名者/今年の晩秋蚕種はどうして売れなんだ/見聞時感/秋声心動/一幅対/高くも安くもなく果して公平なる乎/郵便箱/余が愛読の漢詩/漢詩外/過去帳/見たり聞たり)
685	大正5・11・10	1916	信濃不二 60号 (信濃不二第五週年/兄の天職を尽せ/祝辞/血涙君足下/五戒の説/松本より祝し申上候/定期刊行物/泣け大いに鳴け/徹頭徹尾努力主義/祝う心を/五ヶ條 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (一ノ沢山林と等々力正晴氏/歯刷子に就て/祝吟/入社の際に併せて禁酒を告白す/農村青年及農村教育者に与う/お喜び/有明山神社記/余が愛読の漢詩/我が家/禁酒漫言/毒言悪筆/漢詩外/見たり聞たり/過去帳)
686	大正5・12・10	1916	信濃不二 61号 (品評会の効果/祝信濃不二五週年/褥中の随感/強大なる意志と本能主義/歯科切言/至誠感応は詩歌句の基礎/旅の旅日記/歯刷子に就て/南安連合蚕業品評会/北安物産品評会 備考に続く)			冊子	50号～61号まで合本 (南安軍人分会決議/師走奇言/人心の腐敗と金色の悪魔/余が愛読の漢詩/秋夜の思いのまま/疑問の女/東京より啓上仕候/高くも安くもなく果して公平なる乎/柏矢町花柳明細帳/郵便箱/和歌外/過去帳/見たり聞たり)
687	大正6・1・10	1917	信濃不二 62号 (大正六年初頭の感/御国と日蓮上人/元老と新内閣とは国民多数の意に添わざるものなり/諏訪湖畔より申上候/迎新の感/慙愧に堪えぬではない乎/宜しく桑樹の接木を行うべし 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (屠蘇危言/新聞の発売禁止/十ヶ堰開鑿の恩人/自警録/新年の祝詞/北安曇郡松川村細野星雲団稲作試験表/有明山神社記/毒言悪筆/六曜の解/井口香山画伯 育児者の福音/新年の雑感/松本の月給取をお目に掛ます/和歌外/年賀状/穂高神社奉額句集/村税等級割/過去帳/見聞たりたり)
688	大正6・2・8	1917	信濃不二 63号(臨時号) (年新なり/如何にして種類を改善すべきか/蚕種に国界なし/風穴蚕種の特徴と其の選択/茨城県と長野県/考うべき二つの事実/和歌/奉額句集披露)			冊子	62号～78号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
689	大正6・2・10	1917	信濃不二 64号 (総選挙と国民の覚悟/町村会議員の改選に就て/蚕業上所感の一二/宜しく桑園改良を促すべし/慙愧に堪えぬではない乎/桑樹の接合の要素/学校の責任/現代の趨勢と青年権威 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (東京仏教護国団に臨みて/十ヶ堰開鑿の恩人/一票を投ずるに先だちて/女子の責任は何れにあるや/妻/時代的精神即宗教的精神/農家の副業は養鶏にあり/広東より/小石川より/東京より/仙台より/諏訪より/横浜より/島々より/和歌外/郡会傍聴記/小説/花柳風聞録/見たり聞たり/毒言悪筆/新刊紹介)
690	大正6・3・10	1917	信濃不二 65号 (選挙法改正私見/農業の不振を論じて小学校の農業科に及ぶ/十ヶ堰開鑿の恩人/時代的精神即宗教的精神/東京仏教護国団に臨みて/有明山神社記/有明連合講演会の記 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (南安曇郡会警見/国家の前途を想い寺内非立憲内閣を憂う/時感一則/祝兵庫県理事官野々村亨君榮転/烏川山二十四ヶ共有山林分割に決定/金のなる木/疑問の女/台湾より/東京より/京橋より/赤坂より/加奈陀より/東京より/本郷より/実科女学校論/漢詩等/豊科町春の曙/過去帳/高くも安くもなくて果して公平なる乎/新刊紹介/見たり聞たり/花柳風聞録/解散一覧表/本県有権者数/大正四年三月総選挙得点表)
691	大正6・4・10	1917	信濃不二 66号 (貴重なる一票を何人に投ず可きか/修養の意義/吾輩の政見は斯うであります/国家の前途を想い寺内非立憲内閣を憂う/十ヶ堰開鑿の恩人/農業の不振を論じて小学校の農業科に及ぶ 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (東京仏教護国団に臨みて/親愛なる牧青年に呈す/夕飯どき/栗尾の聖天様/安筑の野に於ける憲国政三党の候補者/毒言悪筆/思い出の春/高くも安くもなくて果して公平なるか/和歌外過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
692	大正6・6・10	1917	信濃不二 67号 (松本平万歳/長野県の当選者/交配種製造方法に就て/南安の開票/敢て町村会議員諸君に告ぐ/それでも辜丸ある男子と言えるか/海外移住の友に餞す 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (吾人は無権者たりしも喜ぶものなり/花の教訓/花を吊う/血涙和尚家宅搜索を受く/好漢青木茂登一/南安の生死 南安の乗り物/高くも安くもなくて果して公平なる乎/南安曇郡大正六年度掃立予定外国種/南安曇郡の桑園/醒めよ郷土の青年立って時勢の支配者たれ/工業不振の急務/村立倭図書館則/三昧の響き/まつりの夜/各地通信/毒言悪筆/花柳虎の巻/南安曇郡連合衛生組合長/漢詩外/過去帳/見たり聞たり)
693	大正6・6・10	1917	信濃不二 68号 蚕桑号 (選挙違反絶滅法/交配種製造方法に就て/製糸と織物の上より見たる蚕の種類/如何にして此郡を発展せしむべきか/齊藤兵次郎/長野県蚕種同業組合連合会 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (長野県蚕業取締所南安曇支所/島々谷より申上候/長野県 南安曇 北安曇 東筑摩の蚕種製造家/大正六年度南安曇郡直接町村税負担額調/安くも高くも無くて果して公平なるか/蚕種検査手数料十万五千余円/有意義に送りし故郷の一日/食物の消化時間/各府県の蚕種製造額/南安連合運動会を観るの記/田沢温泉便り/長野県試掘の鉱山/愚問駄答/すずめ/木崎湖畔に遊ぶ/毒言悪筆/郵便箱/漢詩外/永楽庵豊水宗匠立机披露句集/故遊亭山舛宗匠追福俳句情歌集/過去帳/見たり聞たり/新刊紹介)
694	大正6・6・20	1917	信濃不二 69号 有明蚕種号(臨時増刊) (吾が安曇の地は天恵の原蚕地たるか/偉大なる哉我南安曇郡の蚕種業/烏川歩桑/有明案内記/有明蚕業会員一覧表/南安曇天柞蚕同業組合 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (長野県及南安曇郡の蚕種製造家)
695	大正6・6・25	1917	信濃不二 70号 蚕種号(臨時増刊) (吾が安曇の地は天恵の原蚕地たるか/偉大なる哉我南安曇郡の蚕種業/蚕/一代交配種の特長/毒言悪筆/雑報/蚕業と十二支/大正六曜の弁 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (南安曇郡の蚕種を取扱う豊科郵便局は是から不眠の活動に入る/都々逸/蚕業に関係ある南安曇の官吏)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
696	大正6・6・25	1917	信濃不二 71号 蚕種号(臨時増刊) (偉大なる哉我南安曇郡の蚕種業/アルプス登山客の誘致/蚕/蚕種製造家たる余の抱負/南安曇郡の蚕種を取扱う豊科郵便局は之れから不眠の活動に入る 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (一代交配種の特長/毒言悪筆/雑報/蚕業と十二支/大正六曜の弁/蚕業に関係ある南安曇郡の官吏)
697	大正6・7・5	1917	信濃不二 72号 秋蚕種(臨時増刊) (天は安曇の地を原蚕飼育地に定め給いたるか/偉大なる哉我南安曇郡の蚕種業/天下無二の烏川歩桑/秋蚕生種を得るに就て 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (養蚕家は真の一代交配種を飼育なし国力の増進を計れ/秋蚕種の選定法に就て/独言悪筆/雑録/蚕業と十二支/大正六曜の弁/蚕業に関係ある南安曇の官吏)
698	大正6・7・10	1917	信濃不二 73号 秋蚕種 (黄色を以て世界を征伏せよ/覚醒せよ/何々会と称する養蚕指導の悪団体の奸策に陥る勿れ/血許りか骨までシャブル人喰銀行の寂滅最近一二ヶ月間に八銀行が倒れた 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (四百万円は煙 三十万人が泣く/木崎湖畔の信濃夏季大学/東筑摩蚕種同業組合/蚕種家白沢治一/高くも安くもなくて果して公平なる乎/檄/薬海坊に誨う/各地通信/毒言悪筆/和歌外/過去帳)
699	大正6・8・10	1917	信濃不二 74号 (伝染病に対する注意/不思議の数字/蚕業所感一則/之れをしも天は助けざる乎/高くも安くもなくて果して公平なる乎/毒言悪筆/各地通信/和歌外/見たり聞たり/花柳風聞録/過去帳)			冊子	62号～78号まで合本
700	大正6・9・10	1917	信濃不二 75号 (桑園の改良は刻下の急務なり/手に入りし金は如何に之れを処分すべきか/吾人は本書を与えて青年諸君の反省を促す/時感一則/三沢沢路/自縛/クラスメート/死せる我/雪降銀杏 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (安くも高くもなくて果して公平なるか/温村・大町・池田町/毒言悪筆/各地通信/和歌外/過去帳)
701	大正6・10・10	1917	信濃不二 76号 (発展する池田消防組/吾人は本書を与えて青年諸君の反省を促す/秋祭の農村より/新聞記者追悼法会に参列す/生糸共同経営/所感/村役場吏員臨時増給不必要/自縛 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (南安曇郡の芸妓と酌婦/高くも安くもなくて果して公平なるか/温村・会染村/四裁判所の判検事/北安曇郡の民有地反別並地価/毒言悪筆/月並研究/大戦の跡/各地通信/和歌外/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
702	大正6・11・10	1917	信濃不二 77号 (南安曇郡役所廃庁舎を如何に処分すべき乎/吾人は本書を与えて青年諸君の反省を促す/鼠穴区の盛事に列して/禪をべよ/東穂高伝染病院問題に就て関係者各位の一顧を煩す 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (帰郷書感/予は鳥の性質である復又教育に就て一言す/婦美子の菊の手入/自縛/北安曇郡各町村の人口及海外移住者/各地通信/毒言悪筆/高くも安くもなくて果して公平なる乎 温村・陸郷村/和歌外/池田町花柳虎の巻/過去帳/見たり聞たり/新刊紹介)
703	大正6・12・10	1917	信濃不二 78号 (兵士の送迎を虚礼とはソモ何ぞや/日本アルプスの銀屏風を背景としつつ/東京より啓上仕候/無駄物語/機業と染業とは恰も夫婦の如き関係にあらざるか/寄せ鍋 備考に続く)			冊子	62号～78号まで合本 (曾根原数太郎百瀬渡開梅弥三君慰籍会/北安曇郡各村の農産物収穫高/真に嬉しかった一日/お美よさん/佐々木節三/毒言悪筆/各地通信/池田と穂高の花柳虎の巻/高くも安くもなくて果して公平なるか/都々逸外/過去帳/見たり聞たり/新刊紹介)
704	大正7・1・10	1918	信濃不二 79号 (本年は馬の年である/関西地方修学旅行の記/東京私立衛生会講演筆記/名馬ハレー号の渡来と所感/亜米利加視察談/在郷軍人会員の覚悟/冷蔵庫の利用/木曾駒の由来 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (うらみのたま/各地通信/祝文芸厄払/毒言悪筆/生き馬の眼をぬくてふ東京へ/和歌外/北安製糸家/過去帳/見たり聞たり/賀状の答礼)
705	大正7・2・10	1918	信濃不二 80号 (政府者並に議員諸君に教ふ/東京私立衛生会講演筆記/関西地方修学旅行の記/東京より啓上仕候/積極的強壯食料品たる骨粉の食用を推奨す/聊か青年諸君の覚醒を望む/毒言悪筆 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (米質の改良として稲の架掛を奨励す/青原寺観世音菩薩を参詣す/禁酒漫言/安筑同人会/南安孝義録/北安曇郡のいろいろ/各地通信/退翁の墓/本県の大長者/和歌/牧水会/噫東松露香/白梅社情歌/高くも安くもなくて果して公平なるか/過去帳/見たり聞たり/郡会傍聴)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
706	大正7・3・10	1918	信濃不二 81号 (長野県下に於ける山葵の現況/北安曇郡の教育と実業/東京私立衛星会筆記/積極的強壯食料品たる骨粉の食用を推奨す 以下備考へ)			冊子	79号～92号まで合本 (無論医者だつて食わなければ死ぬのであるから金を儲けるのもいいが仁術と言う立派な尊称を世人から呈せられて居る事を忘れてはならぬ/農村の疲弊に就きて/馬の保育について/大聖の出現と信仰の手/木曾馬の体格性質に就て/遙かに南洋の空より啓上仕候/血涙和尚の禁酒を聞いて/安筑同人会創立総会/関西地方修学旅行の記/有明村嵩下青年団団旗披露式/東光寺馬頭観世音菩薩を参詣す/北安曇郡の衛生組長と軍人分会長/碑文 漢詩等/過去帳)
707	大正7・4・10	1918	信濃不二 82号 (時感一則/他は是れ我れにて非ず/北安曇郡の教育と実業/東京私立衛生会講演筆記/大聖の出現と信仰の手/関西地方修学旅行の記/生活上の慌惚来/フキの芽/土地の山に 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (南安連合青年会/智里硝石普及会講演会/白沢義見中尉の戦歴/白金泉柳庵細萱正覚観世音菩薩を参詣す/南安孝義録/碑文 雑録外/権威ある内閣を要望す/入社の際/四月の暦/過去帳/見たり聞たり)
708	大正7・4・15	1918	信濃不二 83号 山葵号(臨時増刊)(山葵に関する所感/南安曇郡の山葵/天恵なる哉我信州山葵/流行時代に際しての覚悟/山葵号発刊を祝して/山葵管見録/植物学上よりの山葵とその必要条件 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (副食物として山葵漬/山葵家訪問記/和歌外)
709	大正7・5・10	1918	信濃不二 84号 (文明の利器は善用せよ/北安曇郡の教育と実業/東京より啓上仕候/時代は如何なる人物を要求するか/関西地方修学旅行の記/病虫漫語/母の愛/女学生 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (北安曇郡消防組頭と大町々会議員/民権家松沢求索上條蠟司二氏の国会開設建白書/鬼大尉石曾根八郎君/真我閃々/大町へ朝行って夜帰る/南安孝義録/大町花柳虎の巻/安筑同人会/和歌外/見たり聞たり/過去帳)
710	大正7・6・10	1918	信濃不二 85号 (弱くなった日本人の身体/北安曇郡の教育と実業/抵抗力/時感一則/新聞記者の日記から/高くも安くもなく果して公平なる乎/安江氏謝恩会の記/祭典不可分説/広告の研究 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (毒言悪筆/マラソンを排す/北安曇郡松川村ページ/大町花柳虎の巻/三ヶ寺奉額懸賞俳句披露/信濃不二俳壇/牧水会川柳外/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
711	大正7・7・1	1918	信濃不二 86号 細萱蚕種号(臨時増刊) (日本アルプスと南安曇の秋蚕種/蚕界の横雲を一掃せよ/都々逸/群星中に新光星現る/細萱蚕種合資会社の内容/蚕(俳句)/蚕種号の発刊を祝して 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (細萱案内記/鳥川歩桑/養蚕の根本義は善良なる桑苗にあり/蚕業と十二支/大正六曜の弁/毒言悪筆)
712	大正7・7・10	1918	信濃不二 87号 (蚕時に於ける必読の文字/模範とすべき岐阜県東野村の蚕業状態/抵抗力/蚕糸業の覚醒/太陽の光照らさざるの地ありと雖も/大垣より啓上仕候/広告研究/北安曇郡の蚕業一般 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (池田花柳虎の巻/郵便箱/南安曇郡蚕業/毒言悪筆/八当り/俳句外/過去帳/見たり聞たり/編集局より)
713	大正7・8・10	1918	信濃不二 88号 (天狗は大禁物/女子の心得謙遜と反省/『マラソン排斥す』を読み/現代の老年衆は青年に対して余り文句は言えぬ/祝八十八号/自滅の途/長閑の一日/病中漫語/郡長論 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (故歩兵少佐柳沢祐嗣君/嗚呼松岡節子/南安孝義録/大町花柳虎の巻/軍歌 和歌 漢詩 俳句/過去帳/見たり聞たり/編集局より)
714	大正7・9・10	1918	信濃不二 89号 夢中録 (祝信濃民報二十週年/予の知れる乃木將軍及静子夫人/信仰の洗練/噫寺内内閣/時事断片/農は富国の本なり/断食と修養/北安曇郡松川村ページ/毒言悪筆/軍人慰問 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (海外に活動しつつある南安曇人/歌い女/穂高常盤町花柳虎の巻/南安孝義録/忠臣義士/碑文 漢詩 俳句外/見たり聞たり/過去帳/血の涙)
715	大正7・10・10	1918	信濃不二 90号 (血の涙の記事に感じて出征家族へ同情金を寄せられたる各位に感謝す/予の知れる乃木將軍及静子夫人/茨城、千葉、埼玉蚕業視察記/信仰の洗練/ベースボールをへなす 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (錐神生の祭天不可分説に答う/安房や上総は霞んで見えぬ/海外に活動しつつある南安曇人/安筑の清酒醸造高/新刊紹介/女の武器/側面観/関西地方修学旅行の記/去りにし友/政友会内閣成る/南安孝義録/和歌外/過去帳/編集局より/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
716	大正7・11・10	1918	信濃不二 91号 創立満七週年記念号 (信濃不二満七週年/七週年の祝詞に代えて/薩摩芋畑の中に立ちて/信濃不二七週年記念号発刊に際して/信濃不二創刊七週年にのぞみて感あり 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (祝七週年/茨城千葉埼玉蚕業視察記/祝辞/予の知れる乃木将軍及静子夫人/会田血涙兄足下/足下は豪い/信濃不二七週年を祝し郷友諸君に告ぐ/善戦善闘の士会田血涙君/信濃不二と新らしい農夫/信濃不二を仰ぎて/祝辞/努力の集積/南穂高村長及出征軍人二家族よりの手紙/社会教育名誉大教授会田血涙先生足下/海外に活動しつつある南安曇郡人/祝刊記念号と大豊年/七週年/七つの特色/毒言悪筆/南安孝義録/長野県の蚕業政策を論ず/祝歌外/過去帳/編集局より/見たり聞たり/新刊紹介)
717	大正7・12・10	1918	信濃不二 92号 (大町地震の与えたる教訓/安筑蚕種業者に与う/祝辞/信濃不二の七週年を祝す/食は本也/信州人の誇りと存じ候/黄繭と白繭とは何れが有利なるか/代用教員廃止を望む 備考に続く)			冊子	79号～92号まで合本 (青年洋画家小室孝雄/蚕糸国の染織物/南安曇郡各町村教育費支出対此其他歩合/南安曇郡米価調節費寄附者氏名/高くも安くもなくて果して公平なる乎/信仰の洗練/木曾の谷より/南安孝義録/碑文 和歌外/郵便箱/過去帳/編集局より/見たり聞たり)
718	大正8・1・10	1919	信濃不二 93号 (一休和尚に申す/欧州戦争と未年/血涙兄/年新たなれば/洗馬連合青年会の記/早川と畔田/常盤の駅長/是非御読/和歌外)			冊子	93号～105号まで合本
719	大正8・2・10	1919	信濃不二 94号 (食料問題を解決す/極めて近きか寧ろ遠かれ/総理大臣邸の二時間有半/在米日本人の長所と短所/朝鮮に於ける土地所有の利益/毒言悪筆/過去帳 備考に続く)			冊子	93号～105号まで合本 (新らしき自覚と選挙権の拡張/春か秋か/須魔子の遺書と世論/中萱の老人夫婦殺し/孝義録/碑文 俳句外/見たり聞たり)
720	大正8・3・10	1919	信濃不二 95号 (食料問題に就て再論す/時事一則/世界の変局と支那/敬神拝仏に就て/人種無差別運動と特種部落/南安曇郡篤農家懇談会に望みて/朝鮮に於ける土地所有の利益に就て/青年醒めよ 備考に続く)			冊子	93号～105号まで合本 (現代青年の理想/最新の信仰/偶意一則/高くも安くもなくて果して公平なるか/柏矢町花柳虎の巻/毒言悪筆)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
721	大正8・3・25	1919	信濃不二 96号 三月臨時発行（小倉号発刊に就て/親愛なる小倉村諸君に告ぐ/大正八年度小倉村歳入出予算決議に就て/毒言悪筆/八年度小倉村歳入出予算/七年中事務報告 備考に続く)			冊子	93号～105号まで合本 (小倉国有林予約払下に就て/小倉村政調査研究会/天恵豊富なる小倉村の沿革/小倉村の諸団体)
722	大正8・4・10	1919	信濃不二 97号 (雪袴を穿け/石田伝吉氏の興村興家の鉄案を聞きて/敬神拝仏に就て/総理大臣邸の二時間半/急務中の急務/スプリング/田園生活/南安孝義録/碑文 備考に続く)			冊子	93号～105号まで合本 (田沢虚空蔵堂鎮守稻荷一ト口附/俳句 和歌/新刊紹介/見たり聞たり/花柳たより/過去帳)
723	大正8・5・10	1919	信濃不二 98号 (軍人招魂祭/予の知れる乃木将軍及静子夫人/重柳梨畑の減退に就て/石田伝吉氏の「興村興家の鉄案」を聞きて/学校責任論/急務中の急務/階級及秩序を論じて現代社会に望む 備考に続く)			冊子	93号～105号まで合本 (忙中閑話/明治維新以来の南安曇郡戦病死者/大正八年度徴兵身体検査成績表/南安曇郡徴兵検査結果表/帝国在郷軍人会南安曇郡連合分会/漢詩 碑文外/過去帳/新刊紹介/見たり聞たり/花柳たより)
724	大正8・6・10	1919	信濃不二 99号 (デッカクナレ/予の知れる乃木将軍及静子夫人/蚕種実質改良に就て/暴動の朝鮮より申上候/安筑同人会講演会/堀内中将と信濃不二/杭州紀行断片/)			冊子	93号～105号まで合本 (高くも安くもなく果して公平なる乎/上野公園の夜/碑文/蚕時と時間/岡清芳書会/短歌 俳句等/過去帳/見たり聞たり/花柳たより/社告/新刊紹介)
725	大正8・7・10	1919	信濃不二 100号 山岳号 (信濃不二山岳号発刊に就て/日本アルプスの愛護/登山の注意/アルプスに対する新らしき態度/山岳熱の勃興/雄大なる山岳を踏破して志気剛健 備考に続く)			冊子	93号～105号まで合本 (ロマンスを生みし処女登山/日本アルプスの雄峯常念岳/日本アルプスと丸山盛一氏/植物を取ったり小屋に泊るには認可を得てから/山岳美の保護と登山施設に就て/南安曇郡及各山岳の海拔/登山人夫及物価/日本アルプス中央関門と常念岳研究会/常念岳案内/日本アルプス登攀記行/常念一ノ沢下り/日本アルプスと歌と想いと/日本アルプスと多田嘉助/何故に著われざりし/南安曇郡梓川溪谷地方地質調査旅行要目/中央アルプス登山/編集局より)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
726	大正8・8・10	1919	信濃不二 101号 蚕種号 (編集局より申上候/日本アルプスと秋蚕種/北穂高蚕種製造組合/高橋運馬氏の方針/三折句集/都々逸/二六詩/見たり聞たり)			冊子	93号～105号まで合本
727	大正8・9・10	1919	信濃不二 102号 (近時漫言/郡会議員選挙近し/国宗と日蓮/支那排日の源を究め大総統徐世昌君を戒む/日本アルプス南関門奈川口/祝百号評名称/人口受精に就て/朝鮮より申上候 備考に続く)			冊子	93号～105号まで合本 (東京より申上候/淋しき人へ/県議員候補者飯田慶司君/松川村より/腕くらべ/柏矢町花柳虎の巻/上野待てッ/高くも安くもなくて果して公平なるか/漢詩 碑文外/見たり聞たり/花柳風聞録)
728	大正8・10・10	1919	信濃不二 103号 (近時漫言/南北安曇郡会議員一覧表/地方商人として成功すべき二大方針/黄金樹カタルパスペシオサ/予の知れる乃木将軍及静子夫人/県議員一覧表 備考に続く)			冊子	93号～105号まで合本 (南安曇郡県議員投票調/安曇倶楽部発会式/県議選を終えて/犀川の提防を安全にして重柳等々力を救え/集会論/時事漫言/真の快樂/東北本庄町より/断面/豊科花柳虎の巻/和歌 碑文外/過去帳/見たり聞たり/花柳だより)
729	大正8・11・10	1919	信濃不二 104号 (強力によって辱かしめられたる乙女の屍/今秋の流行色/アカシアの蔭から/予の知れる乃木将軍及静子夫人/内相の訓令と等々力正晴翁/寿村民力涵養講演会 備考に続く)			冊子	93号～105号まで合本 (支那人の観たる日本軍国主義/偶感/信濃不二/短歌 狂歌外/過去帳/見たり聞たり/花柳だより/南安曇郡会議員略伝)
730	大正8・12・10	1919	信濃不二 105号 (普通選挙に限る/地方に於ける機織業の革命時代/予の知れる乃木将軍及静子夫人/忠君愛国と等々力正晴翁/毒言悪筆/南安曇に芸妓が現在百六十余人 備考に続く)			冊子	93号～105号まで合本 (南安曇物産共進会授賞人名表/寄贈新刊/碑文 和歌外/愛国婦人会南安曇郡幹事部新進有効会員/日本赤十字社南安曇委員部新入特別社員)
731	大正9・1・10	1920	信濃不二 106号 (田家早梅/予の知れる乃木将軍及静子夫人/蚕種家懇談会開催に就て/尾形月耕画伯を迎えて/いらざるはなし/糸引工女の姐さん方へ/牧民力涵養講習会/馬鹿ッ 備考に続く)			冊子	106号～119号まで合本 (開かれ行く運命/副業とは是なり/修養/勤勉/申の年/欲/小作稲品評会/和歌 漢詩外/豊科警察署撃剣納会/牧水会/過去帳/編集局より/年賀答礼/見たり聞たり/花柳だより)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
732	大正9・2・10	1920	信濃不二 107号 (倭小学校の基督教/大正九年度南安曇郡の予算/囚わるゝなかれ/思想の流行を忌む/普通選挙を絶叫せよ/平和克服と婦人の自覚/今一步温度を深く顧みて下さい/愛馬月輪号 備考に続く)			冊子	106号～119号まで合本 (光を視つめる心/稲倉行/百瀬良甫先生建碑/まことの光/大地主万蔵/南安曇郡養蚕組合蚕種製造組合事業計画/八千代組総会/牧大根/菖蒲の湯/賀状の中から/安曇倶楽部主催第一回小作粗品評会報告/毒言悪筆/短歌 碑文外/過去帳/見たり聞たり)
733	大正9・3・10	1920	信濃不二 108号 (基督教は非国家教なり/思想界統一の中心と基督教/学務委員郡連合会を起せ/西比里亜にある同胞諸君/南安曇郡出身西伯利亚派遣兵士名簿/烏川連合青年会 備考に続く)			冊子	106号～119号まで合本 (学校の先生様に伺います/普通選挙熱求の血の叫び/婦人と家庭/放言録/西比里亜より/毒言悪筆/やまと巡り/露の運命/酒煙草の害/和歌 短歌外/過去帳/見たり聞たり/新刊紹介)
734	大正9・4・10	1920	信濃不二 109号 (南安在郷軍人分会西比里亜出征軍を慰問す/温村分会通信/安曇村便り/南穂高青年会より/独逸俘虜の与えたる教訓/迫り来る総選挙に面して/烏川村より/有明村より/長野より 備考に続く)			冊子	106号～119号まで合本 (毒言悪筆/朝鮮へ愈出兵/小倉師団/四月一日/撒兵に関する声明/下長野農事研究会/西比里亜より/短歌 川柳外/過去帳/編集局より/見たり聞たり)
735	大正9・5・10	1920	信濃不二 110号 (内外多事の日本/深甚なる歩桑の意義/獣肉の栄養に就て/極東の将来を如何にするか/西比里亜の戦況申上候/信濃不二俳壇外/感謝録/見たり来たり)			冊子	106号～119号まで合本
736	大正9・6・10	1920	信濃不二 111号 (愈不景気は来れり/家族経済より組合経済へ/有明駅芸妓設置に就て/礪川高台より/埼玉県より/良甫先生建碑除幕式/新議員の府県別/長野県の代議士 備考に続く)			冊子	106号～119号まで合本 (植原悦二郎氏がどうして当選したか/長野県下の大地主/気の毒なる小倉村/会田老台/毒言悪筆/噫降旗四郎君/お医者様へ申上ます/碑文 短歌外/過去帳/見たり聞たり/青年諸君へ/新刊紹介)
737	大正9・7・10	1920	信濃不二 112号 (繭価は安くとも銭はたとと取れ/尼港及樺太を占領せよ/蚕種生産状況/樺太及尼港と我歴史的関係/蚕児に過食の害ありや/西比里亜にある軍人各位へ/蚕種専売意見 備考に続く)			冊子	106号～119号まで合本 (信濃通俗夏季大学/水谷氏の遺族を訪問す/毒言悪筆/蚕業界の調話/弘法大師いろは歌/和歌外/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
738	大正9・7・15	1920	信濃不二 113号 蚕業号(臨時発行) (今迄が甘未過ぎたのです/蚕種製造家としての吾輩の方針/蚕種生産状況に就て/穂高案内記)			冊子	106号～119号まで合本
739	大正9・7・17	1920	信濃不二 114号 蚕種号(臨時発行) (ニコリスク問題と養蚕家/黄繭種の前途と三元雑種の将来/都々逸/蚕業界の調話/大正九年と秋蚕生種/穂高案内記)			冊子	106号～119号まで合本
740	大正9・8・10	1920	信濃不二 115号 (中房温泉に行く/繭価下落に付き/名誉ある松本歩兵五十連隊/市町村の財務/征途より啓上仕候/法華経の信者丸山岩雄氏/十ヶ堰の水は洋々たり/一千五百里チタの旅/涼味一杯 備考に続く)			冊子	106号～119号まで合本 (矢村の矢助/碑文 漢詩外/豊科花柳虎の巻/破流血惨/毒言悪筆/過去帳/見たり聞たり/読者消息/晩秋蚕種)
741	大正9・9・10	1920	信濃不二 116号 (富田をして真の富田にせしめられたし/天恵上より見たる我が地工業/株主の自覚を促す/市町村の財務/矢村の矢助/破流血惨/二八一は腐敗/毒言悪筆 備考に続く)			冊子	106号～119号まで合本 (日本軍徹兵と共に支那商人全部引揚/編集局より/碑文 和歌外/親任官俸給/祝信濃不二の十週年/過去帳/読者消息/見たり聞たり)
742	大正9・10・10	1920	信濃不二 117号 十週年記念号 (豊科町に水道を敷設すべし/所感を陳べて祝辞に代う/読者の権利/地方的雑誌の使命/祝詞/政敵たる君の隆盛を祝す/祝辞/祝信濃不二満十週年/会田君の為に喜ぶ 備考に続く)			冊子	106号～119号まで合本 (事業は人に在り/会田血涙君万歳/不二の傑類と言う/しなぬふじ/十週年記念号に寄す/信濃不二の十週年を祝して/アルプス自然の美形を愛せ/毒言悪筆の利剣を振るい/善く郷土を指導す/市町村の財務/西比里亜生活及風俗/赤シャツと団体/祝/矢村の矢助/信濃不二の発刊十週年をことほぎて/白骨温泉より啓上/親愛なる血涙先生/毒言悪筆/感謝録/碑文 和歌外/過去帳/編集局より/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
743	大正9・11・10	1920	信濃不二 118号 十週年記念号其二 (目出度式に三日つづけて参列して/太靈道とは何か/余が見たる血涙君/如何にして食物を選択するか/精神十年/祝辞に代えて/十原素 備考に続く)			冊子	106号～119号まで合本 (/小倉国有林予約開墾をなすに当りて起工式を挙げるに至るまでの経過報告/基督教世界日曜学校大会と祖先崇拜の信念を述べて祝辞に代う/七県家禽共進会開催に就て/祝辞に代えて/十週年の十字壺/信濃不二と仁科盛遠/誠意なき救済策/南安曇郡の各種統計/祝辞/血涙と言う男/スバスカヤの気候/東京より御祝申上候/市町村の財務/三面記者の不徳義/正道しるべ/婦人の天職/毒言悪筆/穂高花柳虎の巻/短歌 漢詩外/過去帳/見たり聞たり)
744	大正9・12・10	1920	信濃不二 119号 十週年記念号 (血涙漫録/太靈道とは何か/祝三千六百五十日/基督教世界日曜学校大会と祖先崇拜の信念を述べて祝辞に代う/国蚕系蚕品種春蚕及夏秋蚕に対する当業者の批評 備考に続く)			冊子	106号～119号まで合本 (市町村の財務/老婆心/毒言悪筆/過去帳/見たり聞たり)
745	大正10・1・1	1921	信濃不二 120号 臨時発行 (社頭の暁/日蓮主義とはどんなものか/南安曇郡会社調/常盤村青年会/毒言悪筆/)			冊子	120号～132号まで合本
746	大正10・1・10	1921	信濃不二 121号 (大正十年の新春を迎えて/明治神宮/国民の自覚を促す/大正十年を迎う/聞け吹き鳴らすラッパの音/血涙和尚へ/家禽の各種/太靈道とは何か/日本赤十字社長野支部救護員 備考に続く)			冊子	120号～132号まで合本 (我国古美術の変遷/短歌 漢詩外/毒言悪筆/過去帳/見たり聞たり)
747	大正10・2・10	1921	信濃不二 122号 (本年はトりの年である/血涙和尚猊下に奉る/鶏に就て/南安曇郡連合分会より出征諸士へ/安曇村の各位に訴う/大正の青年及青年団/烏川村信用購買組合の組織不完全なるを憂う 備考に続く)			冊子	120号～132号まで合本 (太靈道とは何か/我国古美術の変遷/仏教徒として/万年筆の雫/感心な巡査の話/大豊科町を建設せよ/大正十年度の南安曇郡の予算/短歌 俳句外/過去帳/編集局より/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
748	大正10・3・10	1921	信濃不二 123号 (町村会議員選挙に就て/基督教世界日曜学校大会と祖先崇拜の信念を述べて祝辞に代う/郡制廃止について/国字の一定と横書片仮名/我が岩原青年に望む/我国古美術の変遷 備考に続く)			冊子	120号～132号まで合本 (太霊道とは何か/倭村より一筆啓上/本年は伝染病を出すな/思い出づるまま/軍艦三笠より/近歩三より/三田村より/松川村より/北海道より/毒言悪筆/碑文 警察歌外/過去帳/師範入学合格者/大町中学卒業生/見たり聞たり)
749	大正10・4・10	1921	信濃不二 124号 (学校の先生各位に申上る/町議政戦の跡を顧みて/東宮殿下御外遊に就て/蒸発と冷却/佐伯医学博士の講演会/信濃国代表的古美術/醒めよ南安蚕種家諸氏/太霊道とは何か 備考に続く)			冊子	120号～132号まで合本 (/農村を憂う/潮流のまにまに/思い出るまま/キリスト教徒の群/暖炉漫筆/碑文 川柳外/毒言悪筆/祝電 祝詞 感謝録/過去帳/見たり聞たり)
750	大正10・5・10	1921	信濃不二 125号 (火の用心/目醒めたる下堀の各位に謝す/因襲を脱する苦しみ/妊娠牛馬の取扱法附幼畜の疾病手当/蒸発と冷却/信濃国代表的古美術/太霊道とは何か/十ヶ堰と等々力氏 備考に続く)			冊子	120号～132号まで合本 (高くも安くもなく果して公平なるか/南安仏教会趣意書/欧航雑記/長野より/蝶快野素記/碑文 短歌外/過去帳/見たり聞たり)
751	大正10・6・10	1921	信濃不二 126号 (殺人犯以上の伝染病/人真似すべからず/女と言うものは斯んなものか/蒸発と冷却/平福寺観世音菩薩を詣ず/南安生活改善同盟会設立/南安曇人物月旦 備考に続く)			冊子	120号～132号まで合本 (高くも安くもなく果して公平なるか/和合下田婦人会の諸姉に/毒言悪筆/東京より/短歌 俳句/過去帳/見たり聞たり)
752	大正10・7・10	1921	信濃不二 127号 (吾人の理想着々と実現す/市町村会の職務権限/農家の副業としての養豚業/太霊道とは何か/何故に兄等は鉄の如き腕の大なるを誇とせざるか/欧航雑記/南安曇郡の衛生組長 備考に続く)			冊子	120号～132号まで合本 (蚕業界の好景気来る/本年度の夏秋蚕に就て/蚕界は楽観せよ/再び安曇村の人士に訴う/発電所反対/黒沢不動尊参拝の記/平福寺の観世音/北穂高村 安曇村 小倉村の等級表/各地通信/毒言悪筆/碑文 和歌外/松本市会議員一覧表/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
753	大正10・8・10	1921	信濃不二 128号 西穂高村一ノ沢山林問題号 (一日も早く一ノ沢山林問題を解決し関係者一同の利福を増進すべし/一ノ沢山林問題について/一ノ沢山林問題に対する私見/西穂高村の兄弟等達に 備考に続く)			冊子	120号～132号まで合本 (第三者の立場から一言/郡長署長の尽力を切望す/斯んな事するではなかったに/慎重研究/西穂高村一ノ沢山林問題に就て/七百四十戸の無限の宝庫/拝復/○愚の極み/新医学博士白木正博氏/神聖日本国体/農賤しからず/神戸より/感想のままを/端銭/翠嶺兄に呈す/平和の声/土地無く農業に悩む人に告ぐ/浅間より/旅順より/高くも安くもなくて果して公平なるか/柏矢町花柳虎の巻/短歌 俳句外/一ノ沢山林問題に関する私見/登山と造林の勧め/毒言悪筆/飯田より/臼田松太郎/見たり聞たり/過去帳)
754	大正10・9・10	1921	信濃不二 129号 安曇村発展号 (天恵を豊かに稟けし安曇村/林業政策より見たる安曇村/安曇村発展号に寄す/安曇村民へ警告/風穴の稲核/安曇村発展号に寄せて/国民政治の自覚 備考に続く)			冊子	120号～132号まで合本 (梓村水事業の実現を望む/安曇村の懐古/秋風刺骨/旅順より/稲核より/丸子より/俳句 都々逸/編集局より/過去帳/見たり聞たり/新刊紹介)
755	大正10・10・10	1921	信濃不二 130号 (我が同胞を悩まし吾が兄弟をたおしつつある腸チブスを撲滅せよ/改正市町村に就て/我が国代表的社寺建築の時代観/動物を愛する心/長野県南安曇郡安曇村勢概要 備考に続く)			冊子	120号～132号まで合本 (東宮殿下の御帰朝を迎え奉る/石塚式能卒増進法施行発表/大霊道靈子術の偉功/蒙古奥地に活動せる日本婦人の面影/詠秋風刺骨/健康で長命を欲する人々よ/豊科町水道敷設の議に就て/池田町より/穂高町より/岡谷より/島々せせらぎ会/信濃不二歌壇外/衛生宣伝/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
756	大正10・ 11・10	1921	信濃不二 131号 (青年館とは何か/ 法的効力を有する慣習に就て/所謂特 殊部落問題に就て/我国代表的社寺 建築の時代史観/噫臼井五郎君/至誠 公明の人/故臼井兄を追想して 備考 に続く)			冊子	120号～132号まで合本 (木曾の紅葉を観るの記/火の祟り/小 倉の有明の湯にて/浅間より/飯山より /舞鶴行き/松代より/東京より/松本よ り/朝鮮より/満洲より/高くも安くもなく て果して公平なるか/短歌 俳句外/毒 言悪筆/曙光を認めたる穂高町/過去 帳/見たり聞たり/臼井五郎氏葬儀五 三会及アルプス組合の吊詞)
757	大正10・ 12・10	1921	信濃不二 132号 (ワシントン会議と 青年/豊科町へ進言す/失しなうことの 本然さについて/文化生活と希望/組 合の設置は最大急務なり/我国代表的 社寺建築の時代史観/嗚呼水谷繁技 女史)			冊子	120号～132号まで合本 (長野県立学校網一覽表/一府十県 記者大会と穂高の山葵/教育上に関し て一大改革を希望す/舞鶴行き/毒言 悪筆/高くも安くもなく果して公平な るか/所沢より/岡谷より/駿河より/温 村より/大坂より/東京より/旅順より/有 明村の受勲者/暴風に面せる日本/和 歌 短歌外/見たり聞たり/編集局より/ 過去帳)
758	大正11・1・ 1	1922	信濃不二 133号 (南安だより/二行 通信/編集局より/旭光照波/犬/南安 曇郡のいろいろ/大正十年度直接町 村税負担額並納税人員調/南安曇郡 各町村の長の字)			冊子	133号～147号まで合本
759	大正11・1・ 10	1922	信濃不二 134号 (売薬印税紙を廃 せ/摂政の制度に就て/大正十一年の 初頭にあたりて/相変わるべき一年の 計/総勘定と新年/神社崇敬の意義/ 犬頭糸/干支に因み犬に就て一言す/ 小学校の先生方に)			冊子	133号～147号まで合本 (春を迎えて/大正十年度直接町村税 負担額並納税人員調/南安曇郡各町 村の長の字/有明地方の宝庫/南安曇 郡のいろいろ/易学上より見たる本年/ 我国の古典に現れたる国民性/元日 の心/旭光照波/和歌 漢詩外/編集 局より/過去帳/見たり聞たり)
760	大正11・2・ 10	1922	信濃不二 135号 (南安曇郡へ郡立 病院を起こせ/現代人の悲哀/真の基 督はキリスト教徒に非ず/南安曇に於 ける副業の将来/犬より一言申上ます/ 南安曇の保安組合/岩燕/泣けるもの)			冊子	133号～147号まで合本 (近時流行の生活改善という言葉に就 て/笑の字/浅間より/お伽小話/豊科 町受勲者/祝大正十一年祈る聖寿無 窮/俳句 和歌外/過去帳/見たり聞た り)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
761	大正11・3・10	1922	信濃不二 136号 (再び生活改善に就て/毒言悪筆/地方政治生活の悲哀/不合理なる購買組合/南安曇郡に於ける副業の将来/邦人発明の覚悟と努力/心の窓から/南安曇の保安組合/雪の飯山より 備考に続く)			冊子	133号～147号まで合本 (大町より/梓村より/親せつなる藤森医師/小松冷飯君に呈す/北安曇郡の本年度予算/豊科花柳虎の巻/短歌俳句外/過去帳/見たり聞たり/新刊紹介)
762	大正11・4・10	1922	信濃不二 137号 (未青年者禁酒法に就て/産業立国主義を基礎とせる吾人の主張/威信なき四十五議会/婦人会創立は目下の急務/新日本の建設/本県の指定統一蚕種に就て 備考に続く)			冊子	133号～147号まで合本 (南安曇郡に於ける副業の将来/南安曇の保安組合/池田町民の覚醒を促す/日欧反対種飼育者の死活問題/南安機染同盟会事蹟報告/毒言悪筆/情歌 短歌外/過去帳/見たり聞たり)
763	大正11・5・10	1922	信濃不二 138号 (文化と衛生と伴わざるは何によるか/治水組合制度を奨励す/君主国とデモクラシー/産業立国主義を基礎とせる吾人の主張/本県の指定統一蚕種に就て/南安に於ける副業の将来)			冊子	133号～147号まで合本 (今日の文明生活と『ギルド』制度/新日本の建設/毒言悪筆/南安曇郡女子衛生講習会成績/編集局より/情歌俳句/過去帳/見たり聞たり)
764	大正11・5・25	1922	信濃不二 139号 臨時発行 (諸家毎朝暮仏前礼誦式略法/吾社々長御母堂の葬儀列して/会田まさき刀自葬儀)			冊子	133号～147号まで合本
765	大正11・6・10	1922	信濃不二 140号 (県税戸数割の算定に就て/人間の自由と非人間の自由/産業立国主義を基礎とせる吾人の主張/今日の文明生活と『ギルド』制度/人たる道/青年はすべからく海外に発展せよ 備考に続く)			冊子	133号～147号まで合本 (忠誠の番頭 信治/宮城拝観記/台北より/高くも安くもなく果して公平なる乎/手に鋏とりて/俳句 短歌/見たり聞たり)
766	大正11・7・10	1922	信濃不二 141号 山岳号 (東京の一週間/日比谷原頭より/日本アルプスに就て/登山の思い出/アルプスの一角より/乗念一槍一燕/日本アルプス有明口/山と人/日本アルプス登山と地元の覚悟 備考に続く)			冊子	133号～147号まで合本 (柏矢町一ノ沢登山口/白骨温泉より/北鎌尾根伝い/日本アルプスの麓に住みて/常念岳登山案内/小作問題は如何にして解決すべきや/黒沢口より/雪山麓より/登山道徳/白骨にて/中房温泉より/松本より/毒言悪筆/牧水会川柳外/追福の都々逸/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
767	大正11・8・10	1922	信濃不二 142号 (毒言悪筆/行為善と行為悪/欧羅巴アルプス/北尾根伝い/小作問題は如何にして解決すべきや/頭は理想の天に足は現実の地に/安曇村の山川へ/常念小屋の一夜 備考に続く)			冊子	133号～147号まで合本 (家庭用電熱器に就て/高くも安くもなく果して公平なるか/和歌 俳句外/平和博覧会と南安曇の受賞者/過去帳/見たり聞たり)
768	大正11・9・10	1922	信濃不二 143号 (安曇人士の反省を促す/七夕や穢多の長者の竹高し/看板だけの第二維新運動/欧羅巴アルプス/家庭用電熱器に就て/東京より啓上仕候/東京より/浅間より/伊那町より 備考に続く)			冊子	133号～147号まで合本 (鹿教湯より/医師の来るまで/加藤内閣の運命を占う/地主の覚醒を望むと同時に小作者の人格を認めよ/醜悪なる恋のために名と財と子を失う/人間進化の歷程は平和と戦争/高くも安くもなく果して公平なるか/毒言悪筆/短歌 俳句外/過去帳/見たり聞たり)
769	大正11・9・25	1922	信濃不二 144号 臨時発行 腸チブス撲滅号 (腸チブスの撲滅は社会の協同事業/大騒ぎをして撲滅しなくてはいけぬ/将に猖獗を極めんとしつつある腸チブスに就て/学校が半分出来る 備考に続く)			冊子	133号～147号まで合本 (/蠅を退治せよ/地獄か?極楽か? 毒言悪筆/南安曇郡三年間のチブス/都々逸/長智富寿か懲耻不斯か/蠅退治/南安曇郡の衛生にたづさわる人/)
770	大正11・10・10	1922	信濃不二 145号 (節約デー無駄せぬ会とは何か/旧式政治時代去らず/家庭用電熱器に就て/村税も他の国県税と共に必ず期日を確せられたし/制度より先ず精神を/医者 of 来るまで 備考に続く)			冊子	133号～147号まで合本 (/軍艦新高と共に殉難せられた遺族を慰問す/真の男が原総理大臣を殺した中岡良一/大日本豊蚕社大正十一年度成績報告書/長野県南安曇農学校連合物産品評会規定/高くも安くもなく果して公平なるか/文苑 情歌外/過去帳/見たり聞たり)
771	大正11・11・10	1922	信濃不二 146号 南安曇農学校落成式記念号 (南安曇農学校落成す/落成式を挙ぐるに当りて/南安曇農学校落成を御祝い申す/南安曇農学校落成を祝して所感を述ぶ/南安曇農学校の落成を祝す/祝辞)			冊子	133号～147号まで合本 (南安曇農学校落成式に付祝詞を述べ/吾が南安曇農学校/南安曇農学校の予算 職員 耕作地 生徒各村別/南安曇農学校の沿革 組合立南北両学校/これも御祝の一つ/時事短語/生活改善に就て/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
772	大正11・ 12・10	1922	信濃不二 147号 火防宣伝号 (火の用心火の用心/国民は総立になれ/国民的消防精神を發揮すべし/消防国営論/支那議員婦人の語/深山の火災警防記/家庭用電熱器に就て/農学校落成式雑感/			冊子	133号～147号まで合本 (南安消防同盟会沿革誌抜粋/病床慢然の感/財界快復の曙光/伯林より/図書館設立及利用は最大急務/南安曇郡農学校物産品評会受賞者氏名/南安曇郡各消防組の創立年月日及幹部/南安曇郡各消防宣伝 火の用心消防の歌 笑話/短歌 俳句等/過去帳/見たり聞たり)
773	大正12・1・ 1	1923	信濃不二 148号 臨時号 (暁山雲/今世界の花形役者/締盟国祝祭日/官製改正以後の内閣/昨年出来た世界の王/昨年出来た日本の物/松川青年会講演会)			冊子	148号～160号まで合本
774	大正12・1・ 10	1923	信濃不二 149号 (誤れる長野県の蚕業政策/今議会の漫評/戦後国民の覚悟/民衆警察講習会に出席して/祝柏矢町中央道路開通/淋しき曙/資力の乏しきを詫つ勿れ 備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (国家福利に目覚よ/鳩山一郎君と春日俊文君/地方制度の改善に就て/平林豊作君/漢詩 短歌外/新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)
775	大正12・2・ 10	1923	信濃不二 150号 (本秋行わるべき県会議員選挙に就て/戦後国民の覚悟/南安曇からの県会議員は誰れにすればよいか/相互扶助の精神に目覚めよ/玩具か人形か人間か/内閣不信任上奏問題 備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (農村救済と青年の覚醒/南北安曇の人物遊覧地等の投票第一回の発表/若人よ突進せずや/犬飼木堂を論ず/毒言悪筆/主人思いの竹丸/毅氣溺る中川手村民大会/歌評外/過去帳/見たり聞たり)
776	大正12・3・ 10	1923	信濃不二 151号 (奈川村青年会へ行く/思い出たす宗五郎と嘉助/普選実行は眼前に迫まる/筆戦苦闘/魯桑実生育成法/青年の自覚を促す/貴誌百五十号諸感を記し血涙雅兄に問う 備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (もう山は見えている/南安修道会の記/春を待ちつつ/南北安曇各方面の人物投票第二回発表/木曾奈川の正月/各町村農会惣代/和歌 俳句等/南安農学校卒業生/過去帳/見たり聞たり)
777	大正12・4・ 10	1923	信濃不二 152号 (須らく国民外交たれ/国語に顕われたる酒/診療茶談/国民の覚悟を問う/降幡数太郎氏が一生の努力を払いつつある小倉官林開墾地/木曾の奈川村/筆戦苦闘 備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (本郷村連合青年会へ行く/女丈夫お梅/南安自治功労者/南北安曇各方面の人物並に旅舎遊覧地芸妓投票第三回/得票成績発表/毒言悪筆)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
778	大正12・5・15	1923	信濃不二 153号 山葵号 (穂高健壯団創立二十週年を祝す/信州山葵の沿革/山葵の品種に就て/山葵研究所設置に就て/東筑摩郡今井婦人会へ行く/農民は須らく政事的に目醒めよ備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (/南安曇郡各町村農会役員/南安曇郡会総代/真の消防組統一の必要/南北安曇各方面の人物並に旅舎遊覧地投票第四回得票発表/揮毫攻めの砂田氏/毒言悪筆/藤森桂谷翁/山彦会 穂高健壯団々歌 和歌外/過去帳/見たり聞たり/情歌/閑人雑話)
779	大正12・6・10	1923	信濃不二 154号 (北安曇郡八坂村青年会及婦人会へ行く/中信立憲青年団を歓迎す/小作問題解決の鍵/県会議員選挙に対する県民の自覚を望む/松本の信濃倉庫のこと/木曾の奈川村/閑人雑話 備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (各村連合婦人会を起こし郡連合会の設立を望む/国粋会南安支部発会式/糖界の黄金時代/高瀬発電所設置に反対す/毒言悪筆/南北安曇各方面人物其他の投票発表/俳句 和歌外/過去帳/見たり聞たり)
780	大正12・7・10	1923	信濃不二 155号 (小学校の講堂を公開せよ/現状打破同盟に就て/小作階級の自覚的活動を促す/後藤子と労農露国/ハワイの領土権主張/安曇野に立ちて 備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (/北安曇果栽培の視察/歌の名に古るい大町遊記/南安曇郡の優良蚕種家/名古屋より/台南より/病褥より/田園より/南北安曇郡の人物其他の投票/国粋会北安支部発会式へ列して/毒言悪筆/和歌 俳句外/過去帳/見たり聞たり)
781	大正12・8・10	1923	信濃不二 156号 (県会議員選挙目前に迫る/寺院を公開せよ/普選反対は国体の精華を塗抹せんとするものである/雑用氷の声明は旦夕にある/秩父宮殿下を迎え奉りて/山峡の農夫から 備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (労働者不平の声/禁酒せよ/松川より/佐伯港より/篠ノ井より/豊科花柳虎の巻/毒言悪筆/千虎家の力弥/南北安曇郡人物其他の投票第七回発表/和歌 俳句外/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
782	大正12・9・10	1923	信濃不二 157号 (青年奮起の秋/国策上より観たる亜細亜問題/関山より/政党の県議選挙侵略を排す/自由競争と共同団結/除す所僅かに二週日/政界是より多事/小千谷より/備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (目醒めよ南安青年諸君/所沢より/選挙法改正私案/柏矢町花柳虎の巻/毒言悪筆/穂高の山葵/東宮殿下を軽井沢に迎て/在宮軍人諸君に申上ぐ/南安曇郡現役の軍人諸君/謹で現役兵諸君の御健康を祈る/南安曇出身在宮兵士諸君を御慰問す/南安曇郡現在の各町村吏員/松本連隊区在郷軍人処刑者/南安曇各町村軍人分会/鴨緑江節 安曇節 白骨温泉外/過去帳/見たり聞たり)
783	大正12・10・10	1923	信濃不二 158号 (京浜大地震と国民の覚悟/国策上より見たる亜細亜問題/国民覚悟の秋は来れり/青年に禁酒を宣伝す/正義は勝てり/北安南部青年の益々奮起を望む/東京より/金沢より 備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (大坂より/大町より/長野県会議員南安各町村得票 長野県会党派別/穂高花柳虎の巻/乃木將軍奥山実話/南北安曇郡人物及其他の投票/俳句短歌外/過去帳/見たり聞たり)
784	大正12・11・10	1923	信濃不二 159号 (普選は即時断行せよ/国策上より見たる亜細亜問題/阿鼻叫喚の街より/春日君の妄論を排して選挙民に訴う/尾崎行雄先生を迎えて/東筑飛あるき記/関西の旅から/米国より 備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (岡田町より/静岡より/吉野より/長野より/岡田村より申上候/弊風を改めよ/愈々あと一回で終る南北安曇の人物其他の投票/清浄無垢/穂高花柳虎の巻及浅間の芸者/血涙先生/和歌 俳句外/書禅一味会趣旨書/新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)
785	大正12・12・10	1923	信濃不二 160号 (梓特設電話開通を祝す/封建思想と立憲政治/国策より見たる亜細亜問題/人生問題と信仰/新しがりの女性へ/阿鼻叫喚の街より/協調会の病院より/工女衆の働く諏訪より 備考に続く)			冊子	148号～160号まで合本 (立田堰沿革史/昔を偲ぶ伊深城跡/北安曇郡へ行く/気附いたまま/帝国興蚕社本部を訪う/南安曇郡氏子惣代被表旌者/長野県実業教育研究会郡外出席者/大好評を博したる南北安曇の人物其他の投票決算報告/東京より/高田より/比津浜より/短歌 情歌外/法律顧問 感謝録/新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
786	大正13・1・1	1924	信濃不二 161号 臨時発行 (御目出とう/南安曇郡の沿革/勅題/恐ろしき二合の酒/方里と戸数と人口と動態/南安の税金と農産/南安の家畜と交通林野と/衛生社寺消防蚕業/南安の名所と山河 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (南安曇郡の教育)
787	大正13・1・20	1924	信濃不二 162号 (新年果して目出度きか/封建思想と立憲政治/農村の自覚/養蚕家は如何なる蚕品種を選ぶか/一ノ沢山林の和解は如何にして為すか/立田せぎ沿革史/南安曇郡誌の批評 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (農村の振興は蚕業の発達から/大天災に直面せる吾人の信仰/矢原せぎ対安曇水利問題/年を迎えて/警世余韻/ニコニコ主義/南北安曇各種十二傑投票第一回発表/本社の昨年募集せる人物其他/悲観思想と宗教/教育状態を見て/亥と子のささやき/文苑/過去帳/見たり聞たり)
788	大正13・2・10	1924	信濃不二 163号 (衆議院は解散せられたり/封建思想と立憲政治/恭賀新年/一ノ沢山林の和解は如何にして為すか/大天災に直面せる吾人の信仰/南安曇郡誌の批評/民衆舞踏『安曇踊』に就て 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (道路使用の法律関係に就て/人間の価値と其霊/入学試験の及ぼす影響/久松青年会へ行く/虚礼とは/岡田村けし坊主山/浴光/南北安曇東西筑摩松本市一市四郡十二傑投票第二回発表/禁酒漫言/毒言悪筆/短歌 時事吟外/感謝録/過去帳/編集局より/見たり聞たり)
789	大正13・3・10	1924	信濃不二 164号 (学校火事の大流行/封建思想と立憲政治/二月一日議会の解散を聞て/一ノ沢山林の和解は如何にして為すか/安曇電気会社の現在と将来/松本不正水道鉄管問題 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (民衆舞踏安曇踊に就て/衰微した農村青年会/選挙法改正私見/選挙理想国を設立せんとす/徳治郎青年会へ行く/一本松稻荷社に詣ず/有明より/北安より/山梨より/修養/禁酒漫言/五万九千二百八十九円/毒言悪筆/安筑一市四郡の十二代表第三回発表/北農卒業生 碑文 連句外/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
790	大正13・4・10	1924	信濃不二 165号 (誤まれる製糸家の対策/松川青雲団と岡田軍人分会へ/南安憲政擁護団/封建思想と立憲政治/政治屋の番頭や弟子となるの不可/宗教外の迷信/田舎の銀行屋に与う備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (三十三間堂棟木の由来/須らく政党屋は政策を語れ/民衆舞踏『安曇踊』に就て/川手行脚記/矢花為一郎先生/常盤村農政研究会/人生の快樂/松嶋の旅/越後路より/シアトルより/南安曇農学校第二回卒業生 豊科高等学校入学生 南安曇郡寺院一覧表/安筑四郡松本市の十二傑投票第四回発表/鴨緑江節 情歌外/過去帳)
791	大正13・5・25	1924	信濃不二 166号 (敗戦のあと/封建思想と立憲政治/安曇米改善策と紫雲英の善用法/視力と人の心/凋落の傾向にある農村の危機/民衆舞踏『安曇踊』に就て/宝庫は開かれてある行け南米へ 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (政治家としての北条時頼を思う/皆さんは何故警察を嫌がるのでありますか/松川村行脚/奈川より/青政社より/静岡より/南北安曇東西筑摩松本市一市四郡の十二傑第五回発表/鴨緑江節 短歌外/過去帳/見たり聞たり)
792	大正13・6・10	1924	信濃不二 167号 (おゝ自転車よ/穂高より/吾が外務省健在か/農村問題所感/徒らに世を恨む人へ/農村青年の自覚を促す/民衆舞踏安曇踊に就て/白船温泉記行/奉天より 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (何故民衆は警官を嫌うかに答えて/池袋より/嗚呼曾根原数太郎君/愛児千枝子の霊に告ぐ/津田沼の空より啓上致します/法律問答/山清路行/日光ゆき/九州旅行/毒言悪筆/本年度陸軍招集期日/鴨緑江節 俳句外/過去帳/見たり聞たり)
793	大正13・6・30	1924	信濃不二 168号 蚕種号 (不景気と養蚕業/蚕糸業の此の難局を如何するか/長野県選出代議士/蚕種家としての精業館)			冊子	161号～175号まで合本
794	大正13・7・1	1924	信濃不二 169号 有明案内号 (本年の養蚕界/当面の製糸業を如何するか/長野県選出代議士/責任感強き沓掛氏/有明案内記/)			冊子	161号～175号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
795	大正13・7・20	1924	信濃不二 170号 豊科紹介号 (加藤内閣に質す/封建思想と立憲政治/ウイタミンに就て/民衆舞踏『安曇踊』に就て/世界に於ける絹糸の実状/室町講演会へ行く/嗚呼青木茂登一君 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (三田村より申上候/露領サガレン州より啓上/豊科紹介/口腔の衛生に就て/雪の信山より涼しき直江津へ/南安曇郡徴兵検査成績表/一市四郡各方面十二傑投票/九州旅行/俳句 短歌/毒言悪筆/過去帳)
796	大正13・8・10	1924	信濃不二 171号 (知事は須らく公選にせよ/封建思想と立憲政治/民衆舞踏『安曇踊』に就て/噴火山上の日本/米国の排日法案に就ての所感/アレキサンドルスキーより/お隣の飯嶋先生 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (悲慘極まるカンバツの水田/常念岳登山の記/九州旅行/嗚呼死/旧第四区(将来の)十二傑投票第八回発表/毒言悪筆/文苑 編集局より/新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)
797	大正13・9・10	1924	信濃不二 172号 (郡役所を廃せ/政治の職業化/封建思想と立憲政治/鉄道事故と合理的防止/欧州の安定と日本の覚悟/植原悦二郎氏の閑話/北京より啓上仕候/民衆舞踏『安曇踊』に就て 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (/今後の金融界/日本アルプス縦走記/山辺温泉遊記/毒言悪筆/穂高紹介/木曾より/南北安曇東西筑摩松本一市四郡各種十二傑投票第九回発表/九州旅行/三楽堂の記/俳句 短歌外/アルプス縦走/過去帳/見たり聞たり)
798	大正13・10・10	1924	信濃不二 173号 (豊科製糸成らん/木曾の文化/種苗更換の必要を述ぶ/中央官辺耄論流行/農村問題と其教育/政治の非民衆化/芙蓉の峯の空高く/豊与山一乗寺建立/露領サガレン州より啓上 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本、表紙は172号になっている。(ハワイ夜話/毒言悪筆/檜川村より/一市四郡十二傑投票第十回発表/九州旅行/木曾より/愛の所感/俳句 短歌外/過去帳/見たり聞たり)
799	大正13・11・10	1924	信濃不二 174号 (北穂高村を併合せよ/農村振興の要諦/四県下柔道決勝戦を見て所感/木曾の産及工業/種苗更換の必要を述ぶ/北海道より申上候/露領サガレン州より啓上 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (御陰様で全快いたしました/十月の木曾/盟友島田篤次郎君と酌む/新刊紹介/一ト口附 漢詩 短歌/安筑一市四郡十二傑投票第十一会発表/武井用拙先生建碑式及碑文/過去帳/見たり聞たり/感謝録)
800	大正13・12・20	1924	信濃不二 175号 (郡役所廃止後に心配なし/経済的危期/和田川発電と水利問題/決心所置断行/池田と会染/生ける人類の特権として/平壤より申上候/農村青年諸君に告ぐ/絵筆の旅より 備考に続く)			冊子	161号～175号まで合本 (牛歩雑筆/九州旅行/農民諸君に呈す/一市四郡十二傑投票の結果発表/十一月の木曾/毒言悪筆/明年改選を控える村議/短歌 俳句外/過去帳/見たり聞たり/感謝録/編集局より)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
801	大正14・1・1	1925	信濃不二 176号 有明紹介号 (有明山神社/宮城不動尊/安曇電燈発電所/魏石鬼の岩屋/陰り花公園/有明温泉/有明別荘地/松尾薬師如来/天柞蚕飼育林/花崗岩石/古墳と石器/青原寺 備考に続く)			冊子	176号～195号まで合本 (五十連隊演習地/有明校学町/山色連天/南安曇郡の名誉職/有明の人々/編集局より)
802	大正14・1・5	1925	信濃不二 177号 (山色連天/本年の政界/編集局より/南安曇郡の名誉職/校長と衛生と分会長/南安曇郡の消防組頭)			冊子	176号～195号まで合本
803	大正14・1・25	1925	信濃不二 178号 記念号ノ一 (粗衣たれ粗食たれ而して労働せよ/十五は昔の元服の年である/徹底せる主義主張/小作調停法案/十五週年を祝いて/貴誌十五週年を寿く 備考に続く)			冊子	176号～195号まで合本 (一回の休刊もなく此十五年を迎え/信濃不二の十五週年を祝す/光は東から/天地新生/古いものが離れる/帝都復興の一年より農村振興の新年へ/精進十五年/十五週年に目出とう/祝詞/貴誌十五週年の祝辞にかえて/再び発電問題を考えて/蚕業研究者として変物の篠崎四郎氏/本社の昨年募集せる一市四郡の十二傑/牛十五題/血涙経営十五年/賀状の中から 文苑感謝録 編集局より/過去帳/見たり聞たり)
804	大正14・2・10	1925	信濃不二 179号 創刊十五週年記念号ノ二 (葉屋の店に表れたる農村の青年/祝辞/天地新生/政府の農村救済策に就て/祝辞/祝詩/祝信濃不二十五年記念号/農村の根本的救済を論ず 備考に続く)			冊子	176号～195号まで合本 (会田大兄に寄す/針尾青年会へ行く/農村有利の副業/我が廃娼養成論/長野より/「農民諸君に呈す」を読みて小倉君に与う/完全なる劇場建設を要望す/牛歩雑筆/九州旅行/俳句 短歌外/過去帳/見たり聞たり)
805	大正14・3・10	1925	信濃不二 180号 創刊十五週年記念号ノ三 (郡役所廃止後の南安曇郡/本県と行政整理/祝信濃不二二十五週年/一業を貫徹せる人/現代青年の覚悟/覚醒努力せよ和解に可能性あり 備考に続く)			冊子	176号～195号まで合本 (記念号を読みての所感/祝詞/本誌二月号を見て/東京より/チヤヨーテに就て/農村興廢論/満十五ヶ年百十ヶ月/毒言悪筆/朝日村より/十ヶ堰水利組合会議員/俳句 短歌外/感謝録/過去帳/一市四郡の十傑/見たり聞たり/長編講談/鏡山女仇討実録)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
806	大正14・4・20	1925	信濃不二 181号 創刊十五週年記念号ノ四 (制度改正の要なきか/時局に面して/本誌の発展を悦び/小学校教員の重任/精神生活/農村問題について/政治と道徳/追吊の意義)			冊子	176号～195号まで合本 (美しき友だちの心の現れ/現実を讚美し/支那の女の話/一市四郡十傑投票/来るべき東洋文化/牛歩雑筆/農村振興と村長と助役/血涙庵をたたく/東京より申上候/ペンのささやき/兵宮より/一ト口附 俳句 短歌外/編集局より/過去帳/見たり聞たり)
807	大正14・5・10	1925	信濃不二 182号 創刊十五週年記念号ノ五 (今上両陛下の銀婚式を祝し奉る/恵まれたる長野県/村政を乱すものは野心家なり/内山真弓翁の伝/安曇踊及安曇節の特徴/所感を述べて祝辞に代う 備考に続く)			冊子	176号～195号まで合本 (小倉開墾実話/生活にうるおいあらしめよ/稲核婦人会へ行く/沈黙の底より/木曾福嶋町より/烏川村より/国際看護婦大会に列席する日本赤十字社看護婦長/毒言悪筆/俳句 短歌外/新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)
808	大正14・6・5	1925	信濃不二 183号 臨時養蚕号 (蚕業の権威篠崎県議/難局打開の鍵/稚蚕期よりも壮蚕期が大切/蚕界を風靡する両品種/焼岳の降灰に就て/)			冊子	176号～195号まで合本
809	大正14・6・10	1925	信濃不二 184号 (ヤケ岳怒る/雀は農家の害鳥也/第五十帝国議会に於ける吾人の態度/空中窒素と肥料問題/呈植原代議士/信濃不二第十五週年に際し/外国ならば国家の功労者 備考に続く)			冊子	176号～195号まで合本 (農業経営改善の必要/嗚呼亡命志士の妻俊子/條桑育蚕上の要点/違蚕の声は真か/噫務台滄浪君/星製菓の視察に加わりて/普選と地方制度の改革/木曾福嶋町より/各地雑信/短歌一ト口附/普選祝賀会/新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)
810	大正14・6・15	1925	信濃不二 185号 臨時発行 (真剣なる努力家/蚕種家としての細川氏/ウンと取ってウンと費かえ/軟化病素質の遺伝)			冊子	176号～195号まで合本
811	大正14・7・1	1925	信濃不二 186号 日本アルプス号(臨時発行) (梅谷知事のアルプス熱/有明山と中房/日本アルプスの関門/中房温泉/宮城案内/日本アルプス登山案内)			冊子	176号～195号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
812	大正14・7・10	1925	信濃不二 187号 (失業とは何か/楽で食べる方はないか/信濃不二第十五週年に際し/消防の沿革に就て/会田先生に申上ます/瞬間体操論/金輸出解禁問題/木曾馬に就て/奉祝記念に妾を逐え)			冊子	176号～195号まで合本 (謹んで代議士植原先生に告ぐ/一市四郡十傑投票/梓村より申上候/木曾福島より/茲にヨイ税源あり/松本市会議員一覧/美人の運命/俳句 短歌外/行先不明者/過去帳/見たり聞たり)
813	大正14・7・10	1925	信濃不二 188号 晩秋蚕号 (渾身之れ蚕業/農家の経済を左右する晩秋蚕と飼育)			冊子	176号～195号まで合本
814	大正14・8・10	1925	信濃不二 189号 (お寺の坊さん/犬を全滅せよ/オステオパシー療法に就て/消防の沿革に就て/大正維新の使命/害鳥雀に就ての調/雀捕獲に関する陳情/瞬間体操論/法燈国師/梓川水利改良問題 備考に続く)			冊子	176号～195号まで合本 (長野県の遊興税/松本地方銀行/緑の蔭より/毒言悪筆/俳壇私語/日光寺/現役軍人諸子へ/前金払込読者芳名 新読者 俳句 短歌/過去帳/見たり聞たり)
815	大正14・9・10	1925	信濃不二 190号 (ビンボー/国民皆兵論/農村我観/法燈国師/我国森林の木材蓄積と官行造林/海軍の事情/亜米利加婦人と社会事業/若き日本の行くべき道/嗚呼丸山海軍少佐/安筑政友幹部会 備考に続く)			冊子	176号～195号まで合本 (木曾支局開設一週ンを迎えて/入院所感/大町と池田/木曾雑信/各地雑信/毒言悪筆/一市四郡十傑発表/俳句 短歌 こんなもの 人/新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)
816	大正14・10・10	1925	信濃不二 191号 (差止命令/梓川沿岸の青年諸君/若き日本の行くべき道/亜米利加の婦人と社会事業/農村我観/浅間と山辺/松本地方の画家/豊科少年団の遠足/正々堂々の陣/大町と池田 備考に続く)			冊子	176号～195号まで合本 (内閣より命ぜられたる国勢調査員/蚕桑話/八坂神社のお祭/毒言悪筆/人断想録 短歌 詩/一市四郡各方面の十傑/過去帳/見たり聞たり)
817	大正14・10・20	1925	信濃不二 192号 (養蚕家の一大福音/軌道自在蚕架考案に就いて/余が育蚕に使用したる軌道自在蚕架に就て/南安より/鳥川より/中川より/大岡より/福嶋より/明科を見て)			冊子	176号～195号まで合本
818	大正14・11・1	1925	信濃不二 193号 桑号(臨時発行) (先づ其の根本を培え/桑苗の標準価格定まる/知事の桑園視察)			冊子	176号～195号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
819	大正14・ 11・10	1925	信濃不二 194号 (貧乏神/安曇中学論/若き日本の行くべき道/亜米利加婦人と社会事業/血涙君の努力/紅葉の木曾谷より/信濃不二十五週年に寄せて/朝鮮平壤より申上候/木曾支局より啓上 備考に続く)			冊子	176号～195号まで合本 (江戸見物/本社鳥焼遊記/一市四郡各方面の十傑/俳句 短歌 人/過去帳/見たり聞たり/長野県豊科高等女学校の沿革/長野県豊科高等女学校職員/豊科町空前の賑い/長野県立豊科高等女学校落成式記念)
820	大正14・ 12・10	1925	信濃不二 195号 (歳末の辞/果して運動場新設の要あるか/若き日本の行くべき道/穂高山葵問題に関して小野県会議員に答う/亜米利加婦人と社会事業/農村我観/南安曇蚕業品評会受賞者表)			冊子	176号～195号まで合本 (/南安曇郡赤十字社各村社員一覧表/長野県赤十字社各郡一覧表/北海道より申上候/噫浅野ふつつ刀自/雪隠礼讃/夜の街/木曾雑信/毒言悪筆/一市四郡各方面十傑総得点発表/俳句 短歌 人/過去帳/見たり聞たり/新刊紹介)
821	大正15・1・ 10	1926	信濃不二 196号 (大正十五年を迎う/若き日本の行くべき道/吾輩と寅/農村の振興は青年の手にあり/松本支局建設に就て/雪隠礼讃/感謝に生きる幸福/落葉籠/形式のみに捉わるる勿れ/)			冊子	196号～210号まで合本 (美人の国に題す/寅雑記帳/蠶蛆駆除日割/雄幸浜口蔵相論/処世の要諦/和歌 俳句外/過去帳/見たり聞たり)
822	大正15・2・ 1	1926	信濃不二 197号 桑苗号 (奨励品種安曇桑の由来/興廢桑園改植に就て/需給双方の利益/都々逸 雑報 広告)			冊子	196号～210号まで合本
823	大正15・2・ 20	1926	信濃不二 198号 (松本平/猫を飼え/若き日本の行くべき道/組合製糸設立の実現を望む/雪隠礼讃/普選の準備/旧式政治の一新を社会良心に訴う/最も安価にして強力ある国策 備考に続く)			冊子	196号～210号まで合本 (よりよき生活への文芸/閑話雑信/浅井洌先生祝喜寿趣意書/光/本社の昨年募集せる一市四郡の十傑/一市四郡十傑第一回発表/俳句 川柳外/感謝録/過去帳/見たり聞たり)
824	大正15・2・ 25	1926	信濃不二 199号 (養蚕家に一大光明/軌道自在蚕架考案に就いて/実際使用して直感したこと/春秋晩三期を小松志気軌道蚕架器を使用したる所感/各地通信/蚕界雑話/御嶽登山者)			冊子	196号～210号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
825	大正15・4・10	1926	信濃不二 200号 (ケツの穴/鷄まで思想が悪化せり/普選の準備/今の若い先生/敢て此書を植原代議士に呈す/建国祭をむかえて/退役将軍の政党参加/関西金栗毛/池田まである記/東西南北 備考に続く)			冊子	196号～210号まで合本 (南安曇苗組合/一市四郡十傑/俳句漢詩外/秋の山(詩劇)/過去帳/見たり聞たり)
826	大正15・4・10	1926	信濃不二 201号 (村芝居と擬国会/町村会を傍聴せよ/個人中心と家中心の思想/農村我観/生坂葉煙草の血に泣く廢耕者の叫/購買組合の本能に就て/国民生活と新聞/山葵の審査に就て 備考に続く)			冊子	196号～210号まで合本 (養蚕業経営に就て/小倉婦人会へ出演す/世相様々/飛ある記/木曾雑信/毒言悪筆/南安農学校 豊科高等女学校 入学者氏名/一市四郡各方面の十傑/俳句 詩外/過去帳/見たり聞たり)
827	大正15・5・10	1926	信濃不二 202号 (無料電燈/目覚めかかった穂高町/個人中心と家中心の思想/国際看護婦大会に列して/漢字の教育に就て/九州博多より申上候/案山子よりお百姓様へ/花見雜観 備考に続く)			冊子	196号～210号まで合本 (日吉良太郎劇を見る/名案/火事見舞に行った/青年の自主的に就いて/毒言悪筆/一市四郡十傑投票/金沢より/和歌 俳句外/過去帳/見たり聞たり)
828	大正15・6・10	1926	信濃不二 203号 (悪るいものがよい/若槻首相に進言す/個人中心と家中心の思想/国際看護婦大会に列して/漢字教育に就て/消防指針/農村青年と図書館/南安曇郡巡り/過去兵營の日曜/)			冊子	196号～210号まで合本 (夜は罪/毒言悪筆/一市四郡各方面の十傑/詩 一ト口外/感謝録/過去帳/見たり聞たり)
829	大正15・6・15	1926	信濃不二 204号 臨時蚕号 (篠崎四郎君を論ず/量に於て増し、質に於て勝て/飼育法の經濟化とは何ぞや/夏秋蚕の新飼育法)			冊子	196号～210号まで合本
830	大正15・7・10	1926	信濃不二 205号 (畜生野郎/郡役所廢止後の町村/夏秋蚕の選択に就て/消防指針/漢字の教育に就て/五社宮祭典と区民の義務/南安曇郡巡り/和田村自覚と梓川工事順調/売葉印紙 備考に続く)			冊子	196号～210号まで合本 (陪審裁判とはどんなものか/再び公有林野官行造林に就て/支那の旅より/軍隊より/一市四郡各方面十傑/鈴蘭の木曾より/毒言悪筆/安筑四郡の優良蚕種家一覽表/漢詩 情歌外/過去帳/見たり聞たり/新刊紹介)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
831	大正15・8・10	1926	信濃不二 206号 (町村役場/町村立中学校論/土地抵当銀行の提唱/再び公有林野官行造林に就て/陪審制度の話/漢字の教育に就て/消防指針/牛島内務部長蚕況を視察す 備考に続く)			冊子	196号～210号まで合本 (真に有明村は水を求むるか/南安曇郡巡り/大泊奉迎の一日/駆逐艦野風より/朝鮮羅南より/酒に就いて/軍かん加古より/宇都宮より/長野より/金沢より/自分の等級を下げる村会議員/お六グシの木曾より/毒言悪筆/一市四郡各方面十傑/俳句 川柳外/過去帳/見たり聞たり)
832	大正15・9・10	1926	信濃不二 207号 (嗚呼西郷隆盛嗚呼乃木希典/鮭ノ粕と其取引状況視察記/消防指針/議政壇上に立つ代議士に望む/支那閑話/山にのぼる/陪審制度の話/上筒之男命 戯曲/温泉巡り 白骨の巻 備考に続く)			冊子	196号～210号まで合本 (嗚呼白沢金作氏/臨海生活の感想/鯨波の海水浴に来て/栗尾の九日/松本連隊より/小天地/稍夏録/血と涙の結晶赤羽弥吾司氏の成功美談/南安曇郡巡り/一市四郡各方面十傑投票/毒言悪筆/俳句 詩歌 人/感謝録/新刊紹介/祝池田鉄道開通/過去帳/見たり聞たり)
833	大正15・10・10	1926	信濃不二 208号 (斯う思う/梓川水力電気/海軍事情/中央線電化と中部縦断線/消防指針/三田村の諸君/青年団の内容及事業に就て/お互い農村の若人に/北安の製糸工業/陪審制度の話 備考に続く)			冊子	196号～210号まで合本 (朴烈怪写真事件に就て/支那閑話/丙午女子と結婚説/安曇電気会社を紹介す/自由/天龍探勝の記/雑感/南安曇郡巡り/一市四郡十傑第九回発表/登波離橋の園遊会/木曾通信/南安曇郡下消防組陸上運動大会/俳句 詩歌 人/新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)
834	大正15・11・10	1926	信濃不二 209号 (洗場哲学/国民病を絶滅せよ/海軍事情/台湾の衛生事情/消防指針/発刊の辞に代えて/北安の製糸工業/高瀬川濁水問題/一代禍害と結婚説/人の世に熱あれ 備考に続く)			冊子	196号～210号まで合本 (嗚呼海軍少尉猿田一晴君/南安曇郡巡り/一市四郡十傑投票発表/南安曇農産品評会/木曾通信 俳句外/過去帳/見たり聞たり)
835	大正15・12・10	1926	信濃不二 210号 (銭/武術を練磨せよ/嗚呼思出多き大正十五年/腸チブスの撲滅を期せよ/農村処女のさけび/失業問題の苦痛/万水川の改修に直面して/英傑ムツソーニの思想 備考に続く)			冊子	196号～210号まで合本 (県下農家懇談会に出席して/家舟の話/微笑/本社慰安会の日/南安曇郡巡り/一市四郡十傑総得点発表/高瀬川濁水問題/俳句 詩外/感謝録/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
836	昭和2・1・10	1927	信濃不二 211号 (再論す雀は農家の害鳥也/豊年印撒豆粕/改正工場法と操業短縮/血涙先生を迎えて私の所感/農産物の商品化に就て/愉快なる印象/蒼仙窟夜話/鋭き一刀流の太刀捌き 備考に続く)			冊子	211号～222号まで合本 (安曇普選準備会発会式/小久保喜七氏と会田血涙氏/政雲の去来漸く急/結婚上十則難/一市四郡の十傑略歴発表/師走の頃/病床の友へ/農家十訓/御題 和歌 情歌外/木曾通信/過去帳/人/新刊紹介/見たり聞たり)
837	昭和2・2・10	1927	信濃不二 212号 (三ボーを信ぜよ/東京見物/儒学復興の必要なきか/豊年印ばら豆粕/小製糸家合同の要諦/家舟の話/副業の宣伝と其実際/日本憲法発達史/蒼仙窟夜話/中房温泉雪中話 備考に続く)			冊子	211号～222号まで合本 (春宵友をおもう/農村青年と国家/附言録/北安の一月/木曾通信/宛然たる雪舟の絵巻物/陸郷青年会に出演す/陸郷村より申上候/御題 和歌 俳句外/賀状から 便り 笑話/過去帳/見たり聞たり)
838	昭和2・3・10	1927	信濃不二 213号 (火の用心/若槻首相のために惜む/日本憲政発達史/儒学復興論を読む/神ながらの明治天皇/婦人と経済/新舞鶴より申上候/醒めたる国民の要望/安曇鉄道の急設を叫ぶ 備考に続く)			冊子	211号～222号まで合本 (商売化せし俳道の現実/中房温泉雪中日記/田用揚水の早きを望む/仏都巡礼/鳳二句会の質疑に就て/南安公務録/融和の真諦/俳句 漢詩外/感謝録/過去帳)
839	昭和2・4・10	1927	信濃不二 214号 (衆生無辺誓願度/婦人の責務重且大なり/日本憲政発達史/神ながらの明治天皇/封建時代に於ける仏蘭西農民の苦悩/儒学復興論を読む/今年製糸家に繭を買いたたかれるか 備考に続く)			冊子	211号～222号まで合本 (耕作上経済上田揚の早きを望む/農村の淋れゆく問題に就て/組合製糸安曇社を見る/農会の実力ある活動を促す/松沢求索、小久保喜七、松岡好一、赤羽久平のことども/梓川水利工事請負問題/新組頭を迎えて/三月の北安/南安公務録/雪の北国にて俳歌日記/俳句 漢詩外/新刊紹介/南安曇郡各村農会総代/過去帳/見たり聞たり)
840	昭和2・5・10	1927	信濃不二 215号 (田中政友会内閣成立/生坂遊記/神ながらの明治天皇/土地問題/或る山林騒擾を憂う/新舞鶴町より申上候/南安公務録/南安曇郡各村農会総代/巨城鳳二句碑建設記念俳句 備考に続く)			冊子	211号～222号まで合本 (発句 俳諧外/感謝録/新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
841	昭和2・6・10	1927	信濃不二 216号 (木曾福島の大火に直面して/日本憲政発達史/時代的住みよき村とする案/学童進級に就ての考慮/他を羨やむ者は己を知らず/神戸より柳沢兄へ/新舞鶴町より/富士登山の記 備考に続く)			冊子	211号～222号まで合本 (白馬岳に登るの記/製糸工女の貞操観/五月中五氏の講演を聴く/狂犬病の概要/会田代次良翁喜寿祝/南安公務録/各村農会総代/毒言悪筆/父のきげん/大町花柳虎の巻/短歌 詩外/過去帳/新刊紹介/人/見たり聞たり)
842	昭和2・7・10	1927	信濃不二 217号 (銀行/青年各位に訴う/北信の農村から/有明山と故岡村阜一翁/富士登山の記/白馬岳に登るの記/故岡村阜一翁略伝/西瓜栽培と農村/我国体を論ず/立憲民政党の出現に就て)			冊子	211号～222号まで合本 (東京より/モダン・十・日本/海城駐屯地衛生状況/新舞鶴より申上候/県議候補も亦可ならずや/展望台より/南安曇製糸同業組合の優良工女/南安公務録/牛に曳かれて善光寺詣り/短歌 詩外/過去帳/見たり聞たり/人/感謝録)
843	昭和2・8・10	1927	信濃不二 218号 (日本アルプス/謹で軍人各位に敬意を表す/郡出身兵慰問の辞/慰問の辞/郡下一般の産業の概況を申上候/昭和二年度連合分会事業/富士登山の記/敢て当局に訊す 備考に続く)			冊子	211号～222号まで合本 (新舞鶴町より申上候/海城駐屯軍衛生状況/梓川改良工事起工式に就て/皮肉なコントラスト/不景気挽回無茶苦茶論/松本の一万円以上の戸数割所得者/松本より/住よき村となる案/県議候補談/南安曇郡出身在営団兵人員調/俳句 二六詩 短歌/過去帳/花柳虎の巻 南安北部/人/見たり聞たり)
844	昭和2・9・10	1927	信濃不二 219号 (単一税にせよ/青年は現代社会のボルケーノたれ/繭糸市場に就て/南安公務録/山行の三日/翁徳さん/北海道より申上候/福島町火災跡地を廻りて/新舞鶴より申上候 備考に続く)			冊子	211号～222号まで合本 (横須賀より/瀧脇子爵入信/海城駐屯地衛生状況/父なる人々へ/加古より/木曾谷の読者訪問旅行/遼陽より/選挙費用と理想選挙/毒言悪筆/俳句 短歌外/過去帳/見たり聞たり/新刊紹介)
845	昭和2・10・10	1927	信濃不二 220号 (雀/戦跡を顧りみて/日本憲政発達史/発電所設置の為に生ずる被害/キット成功する蚕種家の秘訣/修養不思議な現象に就て/乳用山羊の飼養を薦む/木曾谷の読者訪問旅行 備考に続く)			冊子	211号～222号まで合本 (奉天撫順を見学して/南船北馬東奔西走記/三つの笑い/亡国病と無産者/長野県殉職消防組員/長野県々会議員当選者一覧表/毒言悪筆/木曾便り/俳句 短歌/燕岳の嶺にて/人 感謝録 新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
846	昭和2・11・10	1927	信濃不二 221号 (色々の巡査/日本憲政発達史/モダン+日本/運送引の税金を半減せよ/南安県議選を見て/県会議員三村惣平君/梓村の水道計画/噫沓掛熊太良君 備考に続く)			冊子	211号～222号まで合本 (沓掛熊太良君との永別に際して/沓掛さんの思い出二つ三つ/普通選挙の結果/梓川各堰損害調査/安曇踊に就て/八幡宮参詣の一日/日光見物/漢詩 俳句外/新刊紹介/豊科花柳虎の巻/故沓掛熊太良氏葬儀/過去帳/見たり聞たり)
847	昭和2・12・10	1927	信濃不二 222号 (悪るいものがよい/選挙法改正私見/農村問題の解決/日本憲政発達史/米国は何故に繁栄するか/モダン+日本/血涙和尚金蓮座下/梓村の水道計画 備考に続く)			冊子	211号～222号まで合本 (硬たい法律家とやわらかい宗教家/貴族院議員連の鳥焼/有明村の戸数割/真実なる心のさけび/チャヨテ瓜/諸礼独稽古/普選と不二詩/秋の旅/再びの大命/俳句 漢詩外/過去帳/見たり聞たり)
848	昭和3・1・25	1928	信濃不二 223号 (山色新/安筑の選挙界/日本憲政発達史/米国は何故に繁栄するか/梓村助役送迎の辞/ニレ青年会へ出演す/中等学校入学試験撤廃案に就て/普選と青年の使命 備考に続く)			冊子	223号～234号まで合本 (年頭に際して超躍をおもえ/暗に咲く花となる迄/北京より啓上/秋の旅/生活の要諦と実際問題/消防功労者/賀状の中から/情歌外/過去帳/見たり聞たり)
849	昭和3・2・10	1928	信濃不二 224号 (役場の切符/選挙に直面して/日本憲政発達史/如何にして普選に望む/朝鮮風習の一端/勇敢なる消防手/降旗元太郎氏/高家村小作争議を見て/新選挙権の首途/選挙片言 備考に続く)			冊子	223号～234号まで合本 (農村不振に直面して/農村の奮起を促す/艦上に生活して/静かに語る創作/三つの自決/寒地に於けるチャヨテ栽培に就て/貸貸格決定の件に就て/狂歌 二六詩外/過去帳/見たり聞たり/人/感謝録)
850	昭和3・3・10	1928	信濃不二 225号 (銭/敗軍の将兵を語る/日本憲政発達史/朝鮮風習の一端/戦の後を顧みて/敬してやまぬ百瀬先生に/百瀬蒙古王/失業に就て/南洋ダバオ談/全農民は自ら開拓せよ)			冊子	223号～234号まで合本 (戸田代議士当選御礼演説会の記/白馬登山の記/所感片々/衆議院議員得点表/秋の旅/キワドイ勝負の比較/長野県選出代議士一覧表/投票所/雪の進軍/俳句 漢詩外/過去帳/見たり聞たり/感謝録)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
851	昭和3・4・10	1928	信濃不二 226号 (ウフフ/吾輩の演説不用/日本憲政発達史/米国は何故に繁栄するか/政治の腐敗は国民の責任にあり/百瀬渡氏慰籍会の辞/革新急なる農村の自治/選挙戦を顧みでの所感 備考に続く)			冊子	223号～234号まで合本 (政事期と純真なる青年/御酒/十勝の状態/南洋ダバオ談/大糸線と豊科町/千賀十と青年達/木曾路の旅/南安公務録/俳句 詩外/人/感謝録/豊科花柳虎の巻/過去帳/見たり聞たり)
852	昭和3・5・10	1928	信濃不二 227号 (之れでも迂多/関谷吾一君を送る/日本憲政発達史/米国は何故に繁栄するか/武藤金吉君逝く/円太郎譚/廃れ行く此思想界を如何にせん/結核退治/北米太平洋沿岸実見記 備考に続く)			冊子	223号～234号まで合本 (家畜の衛生/モダン+日本/礼儀に就て/信濃日光の桜/入学に際し父兄に望む/お祭の一日/徹底せる救貧策/一つの道へ/奈川村雑信/八坂村より/南安公務録/俳句 詩外/人 女/過去帳/見たり聞たり)
853	昭和3・6・10	1928	信濃不二 228号 (ポスター/御天道様は有難い/日本憲政発達史/蚕業界の相互扶助/蚕界至誠力の人/梓川農業水利改良工事に就て/天狗山蕨狩の記/南安に遊ぶの雑感/明科龍門寺観世音を拝す)			冊子	223号～234号まで合本 (開堂式と記念尚美会/初夏の木曾遊記/北米太平洋沿岸実見記/南安消防同盟会幹部演習に於て/信濃同仁会中信支会/融和に関する内務大臣の訓令/神農会趣意書/南安公務録/文苑 人 女/過去帳/見たり聞たり)
854	昭和3・7・10	1928	信濃不二 229号 (規則は亀足/至急徹兵を要望す/米国は何故に繁栄するか/家畜妊娠診断法の変遷に就て/飼鳥鎖談/常念より上高地迄/長野市会議員一覧表/神戸八郎氏と共栄社 備考に続く)			冊子	223号～234号まで合本 (塩尻 岡谷 上諏訪/きつと当る夏秋蚕飼育法/夏の木曾路/思想的破産の怖れ/芸術家の心/小学校ケイ先生に与う/廢娼論に就て/南安公務録/仏説阿呆陀羅經/俳句 詩外/人/過去帳/見たり聞たり)
855	昭和3・8・10	1928	信濃不二 230号 (妙な取締/靴と帽子と転倒した現代/米国は何故に繁栄するか/家畜妊娠診断法の変遷に就て/飼鳥鎖談/床次竹二郎氏/満州概況/万水川改修の急務/浮塵子除けの守 備考に続く)			冊子	223号～234号まで合本 (常念岳より上高地まで/きつと当る夏秋蚕飼育法/馬鹿野郎との手紙を早く下さい/奈川村雑信/私の信条/南安公務録/赤き心/短歌 俳句外/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
856	昭和3・9・10	1928	信濃不二 231号 (妙な世の中/気の毒な民政党/善隣の友情を以て彼を導け/米国は何故に繁栄するか/満州概況/飼鳥鎖談/万水川改修の急務/南洋ダバオ談 備考に続く)			冊子	223号～234号まで合本 (反省させられるとの御手紙を頂きました/農民組合の合同と無産党の将来/一新せる人心の力に/忘れ得ぬ日の思出/農園観/南安公務録/歌 詩外/過去帳/見たり聞たり)
857	昭和3・10・10	1928	信濃不二 232号 (山を愛せ/番所原を開発せよ/白舟より/満州概況/外来思想に対する自覚/何是村がもめるか/朝鮮雑筆/正しき信念/秋蚕の違作に対する一考察/関東部督府巡查故藤原今朝春君 備考に続く)			冊子	223号～234号まで合本 (山をあるきて/貞享義民血史録/北海道より申上候/悲惨なる朝鮮の同胞を救え/下高井通信/西筑公務録/白船遊記/俳句 和歌外/青年と祭礼/過去帳/見たり聞たり)
858	昭和3・11・10	1928	信濃不二 233号 (謹而御大典を祝し奉る/ノテの絶頂/満州概況/南安曇秋蚕作柄調査/形式的検梅を廃せ/比律賓より/女子教育に就て/京都より/チヤヨーテの収穫と調理法 備考に続く)			冊子	223号～234号まで合本 (赤い夕日の沈んだ後に/美しくき思慕/貞享義民血史録/南安自治功勞者/番所原の開墾を再論す/諸家片鱗/南安公務録/歌 詩人/過去帳/見たり聞たり)
859	昭和3・12・10	1928	信濃不二 234号 (田中無い穫/長寿の老人に天杯を賜わる/満州の友に/高雅なる国民的性格/形式的検梅を廃せを讀みて/御大典記念に全村禁酒断行/毒言悪筆/住みて汝に返れ/十一月号より 備考に続く)			冊子	223号～234号まで合本 (上伊那補欠戦従軍記/司法警察官吏の新設計画に就て/清節の士血涙先生へ/貞享義民血史録/吾社長厳父の葬儀に列して/会田代太良翁葬儀記事/文苑/過去帳/見たり聞たり)
860	昭和4・1・10	1929	信濃不二 235号 新年号 (怪文書/町会議員選挙眼前に迫る/国体の尊厳と栄光を全世界に宣揚せん/田中外交の惨敗/国家改造論/婦人の覚醒/桂谷翁と有明山神社/怪文書事件政談演説会 備考に続く)			冊子	235号～246号まで合本 (七曜のはなし/新選十二支/随所随時目出度し/美篤会/県社住吉神社神苑記念詠進和歌/兎皮の油抜法/美潤会冠句/信濃不二詩壇及歌壇/御題和歌 情歌 消防歌/巳年の芸妓 人感謝録 御礼 手紙/偏も作も無い氏名/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
861	昭和4・2・10	1929	信濃不二 236号 (攻め道具/東京見物/梓倭両村民各位に望む/桂谷翁の識見は平凡でなかった/国家改造論/吾輩の登山趣味/自覚せよ北穂高村民/カイロプラクティック療法に就て 備考に続く)			冊子	235号～246号まで合本 (奉安殿建設に就て/大日向婦人会へ出演/自画像/祝信濃不二創刊二十週年/理想と労働/人類の精神的解脱を/南安消防組歌に就て/郵便箱/問題となっている甲信明社株主一覧表/長野県警察部長より表旌されたる南安曇消防組員/詩壇 歌壇 一ト口 人/過去帳/見たり聞たり)
862	昭和4・3・10	1929	信濃不二 237号 (御願/不景気来/血涙二十年/政局の打破と信濃不二/産ゾク熱と白帯下の注意/会田血涙先生に与う/桂谷翁の羅漢草堂/普選に依る市町村会謀員/閑窓慢話/おわめ様へ参詣す 備考に続く)			冊子	235号～246号まで合本 (国家改造論/自画像/豊科少年団建国祭/南穂高自治研究会/蚕糸業法改正案反対運動経過報告/今問題となっている甲信明社株主一覧表/軍人慰問/郵便箱/詩壇 歌壇外/過去帳/見たり聞たり)
863	昭和4・4・15	1929	信濃不二 238号 (エップン/田中内閣の反省を促す/政界漫談/産褥熱と白帯下の注意/自画像/台湾花蓮湊行/農民生活と宗教/憤慨録/一農人より青年へ/普選の花よ/速記述に就て 備考に続く)			冊子	235号～246号まで合本 (静岡より申上候/桂谷翁の遺墨遺稿成る/陸軍化学研究所にて/閑窓漫言/穂高の大御遷宮祭/軍人慰問/詩壇 歌壇外/知事公選第一回発表/過去帳/見たり聞たり)
864	昭和4・5・10	1929	信濃不二 239号 乗鞍岳紹介号 (国家改造論/乗鞍岳の今昔/満州より申上候/乗鞍岳登山案内/農村自治と農民の自覚/父兄懇談会席上に於て/海外発展の必要を感ず/乗鞍岳 備考に続く)			冊子	235号～246号まで合本 (新時代建設の上に立て/木曾谷より申上候/のんきな唄/十ヶ堰完成の碑/各地通信/短歌 詩外/過去帳/見たり聞たり)
865	昭和4・6・10	1929	信濃不二 240号 (おかめ様/国家改造論/倒閣演説会/根本仏教/有明新政会発会式/南小谷婦人会へ出演/無産者の声/住吉大祝賀会へ列して/奨匡義塾の規則と内規/穂高大遷宮雑観)			冊子	235号～246号まで合本 (豊科土工区昇格祝/蚕の起源/穂高神社大遷宮に就て/雀は天柞蚕にも大害なり/南安生糸同業組合被表彰者/天祥院顕光良伝禅清居士/知事には市長には町長には誰が適任か/オーメー会/詩 歌俳外/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
866	昭和4・7・10	1929	信濃不二 241号 (先生!/国家改造論/根本仏教/我国燈台界の現況/穂高神社正遷宮の飾物を見て/自画像/無産者の声/中房へ来て/農民美術を創作せよ/東穂高村村会日誌/穂高と吾輩 備考に続く)			冊子	235号～246号まで合本 (現役軍人慰問の辞/洋々たる矢原堰/青島より/松本市議選に参加して/松本市会議員一覧表/花柳虎の巻/歌情歌外/過去帳/見たり聞たり)
867	昭和4・8・10	1929	信濃不二 242号 (民政党内閣成立/浜口内閣を迎う/政友会と毛虫は大嫌い/嗚呼篠崎四郎君 嗚呼岡村政雄君/我国燈台界の現況/穂高神社正遷宮の飾物を観て/東穂高村村会日誌/天下太平記 備考に続く)			冊子	235号～246号まで合本 (北海道より申上候/国家改造論/自画像/上高地より/地方に於ける農民美術家/浜口内閣成立祝賀会/戸田秘書官任官祝賀会/偶感/詩 歌外/過去帳/見たり聞たり)
868	昭和4・9・10	1929	信濃不二 243号 (海水浴/国家改造論/東穂高村村会日誌を読んで/東穂高村村会日誌/鯨波遊記/金解禁と財界の立直し/芸術と宗教と神と/穂高神社正遷宮の飾物を観て/農民美術の作り方/自画像 備考に続く)			冊子	235号～246号まで合本 (常夏の国南洋/根本仏教/悪夢/信州国民党の声明書/毒言悪筆/和歌俳句外/新刊紹介/軍歌/感謝録/過去帳/見たり聞たり)
869	昭和4・10・10	1929	信濃不二 244号 (嗚呼田中総裁/危機に頻せる日本/創刊二十年をことほぐ/迎祝二十週年/八坂神社遷宮祭/農民美術の作り方/金解禁と財界の立直し/東穂高村村会日誌/困った問題/自画像/)			冊子	235号～246号まで合本 (郷土芸術/大糸南線開通式/根本仏教/国家改造論/伸び縮む/長野県下警察署長大異動/祝信濃不二創刊二十年/史蹟に富める野々宮社/月経困難の原因とその手当/時事吟 安曇節外/過去帳)
870	昭和4・11・10	1929	信濃不二 245号 (基督日/金解禁と財界の立直し/祝信濃不二第二十週年/東穂高村村会日誌/国家改造論(十)/消費経済の節約は先つ肥料から/岐阜より/根本仏教(其五)/自画像(其八)/備考に続く)			冊子	235号～246号まで合本 (静思の秋/自己の存在を自覚し/南安産婆看護婦会/日本北アルプス湖沼の研究/宗賀村より/鳥焼会の数々/こんなもの/穂高と吾輩/毒言悪筆/南安民政俱樂部總會/短歌 詩外/過去帳/見たり聞たり)
871	昭和4・12・10	1929	信濃不二 246号 (栗のイガ/国家改造論/池田町より/現内閣と実行予算編成に就て/根本仏教/自画像/毒言悪筆/中央地方 造政治団体/東穂高村村会日誌/消防殉職者葬儀参列の記 備考に続く)			冊子	235号～246号まで合本 (農民美術につき/清水喜佐吉翁/北安南部民政俱樂部発会式/大宮熱田神社/伸び縮む/穂高と吾輩/米作改良三折会/罪は男よ/奈川村雑信/噫細川喜之也翁/細川喜之也翁葬儀/和歌 短歌外/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
872	昭和5・1・10	1930	信濃不二 247号 (御題と干支/石部金吉金兜連盟/婦人参政権問題/日本アルプス命名者/新年縁起よき鯉児の話/須沼青年団へ出演/政党改造論/政事家の精神も新年と共に新年たれ備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (馬の耳に念仏/前借による人質制を廃せ/鯨飲馬食/籠にすむ鳥さえ歌う/自画像/馬の年/南洋より/三島より/詩短歌外/過去帳/見たり聞たり)
873	昭和5・2・10	1930	信濃不二 248号 (こんなもの/国家改造論/政党改造論/国難打開と武道奨励/部落有林野統一に就て/信濃不二説後の回顧/安曇野/会田さんに与えるの書 備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (多数農民の有する与論をそう合して同志に檄す/雪とスキー/湯の原温泉にて/東京より申上候/蒙古王百瀬渡君/日本ラインを下る/馬年座談会/大実業家たらんと志望する少年諸君/松本民政党幹部会/温明美術展覧会を観る/議論より実行に限る/偶感/和歌情歌 俳句/過去帳)
874	昭和5・3・10	1930	信濃不二 249号 (当選代議士一覧表/総選挙の結果/支那の前途に対して/第四区各町村の得点表/南安曇郡の投票立会人/狂乱怒濤的の演説会/準用河川万水川の対策/麦畑の畦さく居れば 備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (投票所の設備様式の改正を望む/自画像/法蔵寺の光明会修業/豊科民政倶楽部発会式/諏訪電機株式会社の梓川発電計画に附属調整池設置に対する反対の声明書/お互に仲よくやろう/高家村の孝子手塚昇君/日露戦争/高原を去り行く/拝謝/人歌壇 情歌 川柳/過去帳/見たり聞たり)
875	昭和5・4・10	1930	信濃不二 250号 (試験地獄/旅費泥講演の不振/不景気慢談/瑞穂青年会へ出演/緊縮政策に就て/総選挙後に於ける所感/根本仏教/百瀬代議士当選祝賀会/女学校の卒業式に参列して 備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (噫桑苗王奥谷豊門君/処女から人妻へ/高原を去り行く/一誠は万偽を破る/北内田昭政倶楽部発会式/有明青年雄弁大会/奇傑高井山登氏/西穂高民政倶楽部発会式/下堀紅葉会安曇節/飯田町より申上候/一の沢係争和解記念五社奉額情歌/和歌 短歌外/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
876	昭和5・5・10	1930	信濃不二 251号 (品/本と葉/青年のために/菊の湯の朝湯に出会った或奥様へ/根本仏教/温村民政俱樂部発会式/南安消防幹部演習/伸び縮む/霊顯ある行人塚/南穂高青年会春季総会 備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (南安葉業組合/霊峯院中道玄通清居士/長野県葉業組合会へ列席/随筆 高原を去り行く/南安曇郡家屋税調査員一覧表/大物の予審決定表/ハルビンより申上候/一ノ沢係争和解記念俳句/和歌 短歌外/過去帳/見たり聞たり)
877	昭和5・6・10	1930	信濃不二 252号 (失業問題/穂高町軍人会海軍班成る/銀に就て/聖十一面觀世音/根本仏教/細萱より見たる現在の世相/信濃同仁会中信支会幹事/南安の蚕戦は開始されたり 備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (滋賀県はこうである/マラソン競争/南安理髪業組合総会/長野県自動車協会総会/此次の村長は誰になる乎/世界の風潮とロンドン会議/満州より申上候/川根茶の直取引法/四季の変化と衣服の色合/おお光よ/西穂高及細萱一ノ沢山林係争和解記念五社奉額冠句/歌壇 詩壇外/過去帳/見たり聞たり)
878	昭和5・7・10	1930	信濃不二 253号 (たばこ/深刻なる不景気/世界の風潮とロンドン会議/上高地探勝/南支行脚/自画像/四季の変化と衣服の色合/奉天にて/南安曇煙草小売人費上表/篤農家植原正男君 備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (諸家片鱗/等閑に附すべからざる問題/一ノ沢係争和解記念五社奉額一口附集/国風会 信濃不二詩壇 人/過去帳/見たり聞たり)
879	昭和5・8・10	1930	信濃不二 254号 (不景気 ホントーかしら?/不景気打開策/世界の風潮とロンドン会議/野球狂/水道設置速進の急/梓川水利改良左岸工事に就て/小学校先生論/南支行脚/目覚めよ諸人 備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (自画像/京城より/山間行脚/静岡県三島より申上候/納涼スケッチ/土を捨てる若者/飯田町より申上候/美すず会選歌 短歌 情歌 人/過去帳/見たり聞たり)
880	昭和5・9・10	1930	信濃不二 255号 (火又涼/忍耐而して猛進/世界の風潮とロンドン会議/南支行脚/之れでも不景気か/朝鮮金剛山/銷火録/信濃不二詣で/俳道のたい廃は故なきに非ず/自画像/土を捨てる若者 備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (素人演芸大会/南安曇に於ける新潟県人会/氏子総代会に県庁よりの指示事項/南安曇郡氏子総代会規約/涼味/松本市浪会のご記/豊科町と北穂高村の特別税戸数割/漢詩 和歌外/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
881	昭和5・10・10	1930	信濃不二 256号 (日本魂/税金を糸や繭で納める事にせよ/低物価政策を特に望む/惨たる昭和五年度蚕業界に顧みて/世界の風潮とロンドン会議/ロンドン条約に就て/小里雪洲さんへ備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (俳道のたい廃は故なきに非ず/朝鮮金剛山/和田村より/南支行脚/富田へ彼岸詣り/片丘村より申上候/和田村時局講演会/良子/三田村 南穂高村 豊科町 特別税戸数割/国風会詠歌外/過去帳/見たり聞たり)
882	昭和5・11・10	1930	信濃不二 257号 (福德円満/国産愛用論/植原氏の演説会後の所感/野球課税論/根本仏教/南支行脚/青年画家安田杉溪氏/自画像/俳道のたい廃は故なきに非ず/雑誌中毒/福島遊記備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (噫曾根原源一翁/房総水郷めぐり/穂高町 西穂高村 有明村 豊科町 奈川村 特別税戸数割/熊右エ門の頓智/歌壇 情歌外/過去帳/見たり聞たり)
883	昭和5・12・10	1930	信濃不二 258号 (登記と印形/自給自足論/浜口首相の遭難をめぐりて/糸価の安定果して不可なるや/同胞を救うの道/中萱嘉助大明神/片丘村より申上候/自画像/根誉行人と語る/幸福の夢 備考に続く)			冊子	247号～258号まで合本 (各地通信/各種会合/福島遊記/止めよ米の投売/米作改良会昭和五年度収量調査表/烏川村 豊科町 穂高町 有明村 南穂高村 特別税戸数割/義務教育国庫負担各町村交付額/歌壇 情歌 行進曲 人/過去帳/見たり聞たり)
884	昭和6・1・10	1931	信濃不二 259号 (新年初頭の感/総理大臣としての演説/思い出すまま/昭和の新宗教/南安政界遠望/信濃不二礼讃/甞生の日本国民/初春の炬燵談議/井上大蔵大臣に訴う/昭和の光明備考に続く)			冊子	259号～270号まで合本 (出張されぬのは幸也/自然のままの高天ヶ原をおしみて/震災の伊豆より申上候/常に元日の歓びを抱け/模擬帝国議会 明科と豊科/晩秋初冬吟行/信濃不二目録 一号乃至六号/御題和歌 俳句外/過去帳/見たり聞たり)
885	昭和6・2・10	1931	信濃不二 260号 (明治天皇御製/将来はどうなるか/思い出すまま/民政党期にありて一年の回顧/北穂高連合青年会へ出演/農会に尙一段の努力と躍進を望む/国産愛用論を読み/東京見物 備考に続く)			冊子	259号～270号まで合本 (自画像/身代わり地蔵尊と其縁起/毒言悪筆/三田・烏川・豊科・南穂高・穂高町・有明の等級割/苦闘/熊右エ門の頓智/信濃不二第七乃至十二号目録/和歌 俳句/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
886	昭和6・3・10	1931	信濃不二 261号 (和議法と牝鶏/農会惣代選挙に就て/将来はどうなるかの論文を拝読して/葬儀の引物と砂糖の切手/二木毒龍と私/自画像/青年陸上競技反対の叫び/根本仏教/御国自慢 備考に続く)			冊子	259号～270号まで合本 (楽しき一日/新米査公の一日/随応順与貞縁妙性大姉/毒言悪筆/信濃不二目録 十三号乃至十八号/情歌俳句外/豊科・有明・烏川・三田等級割/過去帳/見たり聞たり)
887	昭和6・4・10	1931	信濃不二 262号 (こんな数字/所謂流行神様/国立公園に就て/思い出すまま/新聞を読む人々へ/景気転換策/根本仏教/一日市場初市再興/田尻の目赤不動尊/南安曇農学校生卒業生/自画像 備考に続く)			冊子	259号～270号まで合本 (県税営業税に就て/明盛村県税戸数割/新味を加えたる南安の蚕桑界/低資自作農創設に就て/私の不景気論/社日まいり/有明山人記御国自慢を読みみて/豊科高等女学校卒業生/毒言悪筆/仏玉下駄/此次の町長は誰か 穂高町/昭和五年度南安曇郡の教育一覧表/信濃不二目録 第十九号乃至二十四号/和歌外/過去帳/見たり聞たり)
888	昭和6・5・10	1931	信濃不二 263号 (火の用心/失火と溺死/松本より/東京より/反古調/憂うべき国体意識の希薄/自画像/小柳の湯/人物の選定を厳格に/南安革政会発会式/一乗寺奉額雅会開巻/位置/			冊子	259号～270号まで合本 (中萱消防組歌/真々部根誉行人大祭/上押野蚕影神社大祭/噫白木鉄平君/禿頭讃詞/伊那谷行/倭村中川手村の等級割/信濃不二目録 第二十五号乃至三十号/一乗寺奉額/渋田見身代地蔵 根誉行人奉額/美すず会 国風会外/新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)
889	昭和6・6・10	1931	信濃不二 264号 (こんなもの/減俸論/植原氏の演説を聞きて/突端職業の種々/反古調べ/減俸問題/稲核婦人会へ出演/或日曜日/農村再興小論/井口香山画伯のこども/農民の自覚 備考に続く)			冊子	259号～270号まで合本 (南安曇武徳会発会式/南安曇郡蚕種同業組合/信濃不二目録 三十一号乃至三十六号/豚に関する講演会/画の鯉に猫が飛ついた/台湾旅行/一乗寺一ト口附集/上押野蚕影神社一ト口附集/安曇村行/渋田見身代地蔵一ト口附集外/過去帳/見たり聞たり)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
890	昭和6・7・10	1931	信濃不二 265号 (日本アルプス連峯/酒と煙草を値下げせよ/信濃不二を通じて信州健児に訴う/復古調べ/野村信治郎君/山蚕飼育の起源同繭製糸出殻繭製糸の沿革/村の此頃/新緑の登波離橋 備考に続く)			冊子	259号～270号まで合本 (東京より/野球狂時代/餓鬼岳に故江崎君を悼む/南安民政俱樂部大演説会/おかめ様手水舎上棟式/南安曇郡の九百円以上の年俸取一覧表/南安曇郡の優良蚕種家一覧表/南安曇武徳会出席の柔道及銃創術選手/高家村・梓村・安曇村の等級割/南安煙草小売人組合創立二十五年記念式/信濃不二目録 自第三十七号 至四十二号/行人様安曇節 みすず会外/過去帳/見たり聞たり)
891	昭和6・8・10	1931	信濃不二 266号 (上高地論/県議改選期に直面して/復古調べ/南安曇年俸九百円以上の先生/自画像/山蚕飼養法摘要/カフェー夜話/小僧さんと先生/降旗元太郎先生と吾輩/征露日記 備考に続く)			冊子	259号～270号まで合本 (二人の子供/大瀧山から蝶ヶ岳へ/信濃木崎夏季大学/安曇村・梓村の等級割/信濃不二目録 第四十三号乃至第四十八号/富士五湖巡り/信濃不二歌壇 みすず会詠草外/新刊紹介/過去帳/見たり聞たり)
892	昭和6・9・10	1931	信濃不二 267号 (赤字を補うに好適の財源あり/会田貢君を推薦す/県会議員選挙に直面して/復古調べ/私の見た血涙先生/征露日記/柞蚕飼育の起源/安曇三名の県会議員/血涙先生と私/自画像 備考に続く)			冊子	259号～270号まで合本 (降旗元太郎先生と吾輩/難局打開と青年の使命/穂高見命を讃う/位置/信濃不二歌壇 一乗寺奉額俳句集外/信濃不二目録 自第四十九号乃至第五十四号/過去帳/見たり聞たり)
893	昭和6・10・20	1931	信濃不二 268号 (無尽を整理せよ/倫敦海軍条約と補充計画並減税に就て/松本を去るに望みて/果して医は仁術なるか/自画像/サラリーマン物語/豊科カフェー展望/噫降旗元太郎先生 備考に続く)			冊子	259号～270号まで合本 (遂鹿戦と雅会に就て/松川村より申上候/長野県会議員一覧表 南北安曇東西筑摩の投票数/豊科上水道竣工祝/短歌 安曇節外/降旗先生葬儀/過去帳/信濃不二目録 自五十五号乃至六十号/見たり聞たり 梓橋開通式/)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
894	昭和6・11・10	1931	信濃不二 269号 (支那の風雪騒がし/国防の歌/復古調べ/自画像/秋蚕飼育の起源/消防歌/征露日記/政戦を見て/木曾福島町初印象/補充計画並減税に就て/木曾第五回美術展覧会備考に続く)			冊子	259号～270号まで合本 (祥雲院顕室妙伝禅清大姉/木曾中学校秋季運動会/軟弱外交の弁/福島支局開設に就き皆様に御願ひ/尽忠報告 江藤新平/松本日帰えり/信濃不二目録 自六十一号乃至六十七号/祝豊科上水道竣工/会田貢氏慰籍会/信濃不二歌壇 人/過去帳/見たり聞たり)
895	昭和6・12・10	1931	信濃不二 270号 (紅葉/出征軍人をねぎらって下さい/満州事件の経過/野球黄金時代/復古調べ/葉草展覧会/農業の慢性的不況を救うには/自画像/高家より/江藤新平/秋 備考に続く)			冊子	259号～270号まで合本 (内山竹一郎氏県会議長当選祝賀会/福島スキー場を天下に紹介す/増田忠治君/短歌 一ト口附/人 エロエロな出来事/過去帳/見たり聞たり)
896	昭和7・1・1	1932	信濃不二 271号 臨時増刊 (新年の御挨拶/川柳 俳句)			冊子	271号～283号まで合本
897	昭和7・1・10	1932	信濃不二 272号 (暁鷄声/日出度猿の年/政治家の出所進退/国家存亡の論/言論人として進め/面白くない此頃/復古調べ/五常村女子青年会へ行く/農業の慢性的不況を救うには/江藤新平 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (エロオンパレード 面白もの二つ/御題 短歌外/過去帳/信濃不二目録 自八十二号乃至八十八号)
898	昭和7・2・10	1932	信濃不二 273号 (昭和五年総選挙第四区各候補者得点一覧表/レッテルの世の中ペーパーの日本/解放から選挙へ/復古調べ/自画像/満州より/燕槍穂高縦走絵巻之一画題/北鮮の地より/満州より 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (若き日の語らい/威鏡北道とはどんな所か/今期総選挙の有権者数/嗚呼本多法城遷化/江藤新平/和歌 一ト口外/出征軍人御慰問/死んだ代議士と休職免官知事/人 エロエロな女 新刊紹介/過去帳)
899	昭和7・3・10	1932	信濃不二 274号 (衆議院議員当選者一覧表/景気か不景気か/復古調べ/満蒙の真事態/戦跡を顧みて/有明村より/長春より申上候/安東県より申上候/旅順より/第四区の得点表/江藤新平 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (エロオンパレード モデルガール 産婆/台湾より/噫金田道一氏/松本市より/威鏡北道とはどんな所か/討死せる名代議士/無効投票のいろいろ/南安曇郡投票立会人一覧表/和歌 情歌外/廟行鎮の三勇士 エロエロの女 読者から/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
900	昭和7・4・10	1932	信濃不二 275号 (満蒙移住/恐ろしい世の中寧ろ面白い世の中/私は驚きました/掃塵余録/池田町より/良心の扉を叩く/東京より/ハルピンより申上候/天津より申上候/上田城跡の夢 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (アンゴラ兎の飼い方/故野戦砲兵曹長松沢太多重君葬儀/長野県洋服商工組合連合会第十二回総会/名誉ある〇〇将士の芳名/江藤新平/エロオンパレード 筆で立つ女/和歌 各地一ト口外/過去帳/見たり聞たり)
901	昭和7・5・10	1932	信濃不二 276号 (休退職者/繭は五円するか/掃塵余録/奨匡社々員名簿 明治十三年/アンゴラ兎の飼い方/お正気歌/戦線より/第三回新潟県人会の記/花の東京より/各地通信 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (上海より申上候/妖怪(小説)/栗尾の御開帳/芸妓連にも赤字 二十八円欠損/安筑松本蹄鉄工組合/光輝燐たる名誉の有勲者/名誉ある出征軍人 南安曇郡/三鱗練炭の福引抽籤 本誌主催角力大雅会/漢詩 和歌外/過去帳/読者から)
902	昭和7・6・10	1932	信濃不二 277号 (毒言悪筆/五月十五日事件/齊藤内閣成る 五月二十六日/犬養さんと松岡好一氏/奨匡社々員名簿 明治十三年/断乎行くべきの秋/長野県薬業組合総会へ列す/花の東京より 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (嗚呼犬養木堂先生/関西から山陰山陽紀行/満州国新京より/中野電信隊より申上候/長野県の各蚕業取締所長/軍人家族御慰問記/江藤新平/エロオンパレード ダンスホール 現代女学生気質/冠句 一ト口附外/五月中の火事 人/過去帳/読者より)
903	昭和7・7・10	1932	信濃不二 278号 (毒言悪筆/良く其病原を究めよ/掃塵余録/奨匡社々員名簿 明治十三年/有明村の開墾事業/関西から山陰山陽紀行/渋温泉遊記/会津若松より/神戸より申上候 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (御国自慢 高家村の巻/昨今大流行の御詠歌 南安理容会総会 チャット返さぬ町村/馬占山を追う/長野県の長者鑑国税三百円以上/江藤新平/エロオンパレード/内閣改造の歌/新刊紹介 寄贈感謝/西穂高村の有勲者/第二回角力雅会大会/六月中の火事 美篤会 各地雅会 漢詩外/過去帳 読者より/長春より/信濃不二目録 自第百十号乃至第百十七号)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
904	昭和7・8・10	1932	信濃不二 279号 (毒言悪筆/文明の利器は極力之れを善用しなければ損である/掃塵余録/奨匡社々員名簿 明治十三年/水/信濃木崎夏季大学/齊藤内閣を一瞥して/祖国は更に難局へ 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (加藤正治博士歓迎会/近頃快心の事/関西から山陰山陽紀行/昨今大流行の御詠歌/百貨店に四倍する個人店の税金/黄瓜の露西亜漬法/伊豆横断吟行/長野県の長者鑑国税三百円以上/高くも安くもなく果して公平なる乎 南穂 安曇 倭 小倉/六月国風会通題 第二回角力雅会 人/過去帳)
905	昭和7・9・10	1932	信濃不二 280号 (俳句/齊藤非常時内閣/掃塵余録/奨匡社々員名簿 明治十三年/百貨店税を新設せよ/黒龍江省より申上候/電話使用料引下請願趣意/御国自慢/善通寺より 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (関西から山陰山陽紀行/高くも安くもなく果して公平なる乎 豊科 高家 烏川 三田 明盛 西穂高 北穂高 奈川/木崎夏季大学第一部受講生名簿/江藤新平/エロオンパレード (芸妓ガール、有閑マダム)/光風会美薦会 日本国民歌外/過去帳)
906	昭和7・10・10	1932	信濃不二 281号 (淫婦恋性無/有明村開墾問題/満州国承認に就て/掃塵余録/大阪より/噫江木翼先生/樺太通信/勝野先生と私/嗚呼飯島一策先生/鉢伏山麓中秋の便りを申上ます 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (関西から山陰山陽紀行/川柳について/高くも安くもなく果して公平なる乎 有明 豊科 倭 小倉 西穂高 三田 烏川 明盛/美薦会 角力雅会 信濃不二文芸語呂合せ 人/江藤新平/過去帳)
907	昭和7・11・10	1932	信濃不二 282号 (選挙法改正私見/馬鹿ッ天国なんてものは無いワ/掃塵余録/奨匡社々員名簿 明治十三年/樺太通信/勝野先生と私/仏法は活法である/共栄社豊科工場運動会 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (上田市より申上候/厄年/東京より一筆啓上/長野より松本まで/南安製糸家倶楽部鳥焼会/関西から山陰山陽紀行/酒毒は恐ろし/伊豆より/各町村等級割 穂高・安曇・南穂高・三田・高家・有明・豊科/南安自動車協会須沙土の鳥焼 千種会 美薦会 信濃不二 第二回角力雅会俳句 詩 人/江藤新平/過去帳/信濃不二目録 自第一一 一号至一二四号)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
908	昭和7・12・10	1932	信濃不二 283号 (歳末の辞/増兵急なり/掃塵余録/奨匡社名簿 明治十三年/仏法は活法である/樺太通信/勝野先生時代/真に酒毒は恐ろし/ハルピンより申上候/安いがよいか高いがよいか 備考に続く)			冊子	271号～283号まで合本 (東光寺住職送迎会/又々神戸より申上候/十一月中の自殺者/南安曇郡の昇給下士官/高くも安くもなくて果して公平なる乎 明盛 西穂 烏川 北穂/千種会和歌 美薦会和歌外/江藤新平/過去帳)
909	昭和8・1・10	1933	信濃不二 284号 (断然正しき歴本のみにせよ/勅題(俳句)/掃塵余録/豊科町はどうするか/元旦所感/法燈は輝く/八坂神社と節分祭/働く者に不景気なし/勝野先生時代/冬日寂唱/			冊子	284号～295号まで合本 (川柳選者としての挨拶/南安曇郡氏子惣代功労者表旌/正月の御馳走/等級割 高家・穂高・豊科・有明)/和歌漢詩外/新刊紹介/雅人投票切結果発表 安曇節の進出/過去帳)
910	昭和8・2・10	1933	信濃不二 285号 (御製と御歌/血!!血!!血!!/松島の旅/掃塵余録/樺太通信/チョコサイコロコイとナンジャラホイのヨイヨイヨイ/生坂南部婦人会へ出演/噫陸軍一等主計平林藤一君 備考に続く)			冊子	284号～295号まで合本 (新誌友訪問記/勝野先生と私/南安曇郡村会議員候補者/安曇節 下角 影田園文芸研究会 人/滄海遺珠/編集局より/江藤新平/過去帳/信濃不二目録 自一二五号至一三〇号)
911	昭和8・3・10	1933	信濃不二 286号 (北満の荒野より/南通信大臣閣下郵便料値上を考慮して高橋大蔵大臣閣下妾に課税しては如何/在京南安曇人会和松島利貞氏表彰/掃塵余録/蚕糸業の合理化に/軍艦秋風にて/			冊子	284号～295号まで合本 (勝野先生と私/寒椿紅かたく落ちてけり/建国祭に際して/小沢南畦翁逝く/御詠歌 三くさり/美薦会 国風会 上押野一ト口附外/各地通信/何が彼女をそうさせたか/北米シアトルより/豊科 口山岳会と烏川スキー場/江藤新平/過去帳 閑話 人 投票発表)
912	昭和8・4・10	1933	信濃不二 287号 (連名脱退/深く源を究めよ/長野県出身の東京市議員/掃塵余録/樺太通信/暁の鐘目覚めの鐘/治安懇談会/若い娘さん達へ/徴兵検査日割/上堀少年団/臥床漫想 備考に続く)			冊子	284号～295号まで合本 (御詠歌石童丸/改選せられたる町会議員/三鱗練炭普及大宣伝/下鳥羽 共進会雅会 如月集 美薦会 信濃不二角力雅会 人/過去帳/閑話/江藤新平)
913	昭和8・5・10	1933	信濃不二 288号 (明治天皇御製/一ト口の選に就て/掃塵余録/宇都宮より/豊科町本村成相両区の産土神社/小松玉六先生/七十七翁松崎秋稿翁逝く/穂高川堤の桜/穂高健壯団創立三十年 備考に続く)			冊子	284号～295号まで合本 (朝鮮忠清北道より申上候/軍艦摩耶より/横須賀より/御詠歌劇/改選せられたる町村会議員 南北安曇東筑/和歌 俳句外/各地通信/江藤新平/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
914	昭和8・6・10	1933	信濃不二 289号 (毒言悪筆/戦死者と戦傷病死者/於山海関/掃塵余録/産土神社昇格奉告祭/丸合共同荷造所/閑古鳥に誘われて/後樂園を観るの記/真に天下の絶景/千島より/海洋日本を守れ 備考に続く)			冊子	284号～295号まで合本 (四宗匠立机披露大雅会開巻/東筑西筑の村会議員/人気の焦点 流行神様/天理教十五週年祭/満州途上/微戒録/娘の結婚を寿きて/俳句/四宗匠立机大雅会発表/美薦会 人/過去帳)
915	昭和8・7・10	1933	信濃不二 290号 (松本市会議員明細一覧表/天柞蚕国立試験場を起せ/北米シアトルより/優良店員表彰式に列して/豊科商工会の沿革/松本市長と豊科町長/牛伏寺観音像起 備考に続く)			冊子	284号～295号まで合本 (松本平の流行神様の人気投票/軍艦八雲の長野県人/四宗匠立机大雅会発表/微戒録/石田行成君壮行会/江藤新平/過去帳)
916	昭和8・8・10	1933	信濃不二 291号 (俳句/医療組合設立に就て/天柞蚕国立試験場設置論を礼讃す/臨犀先生の事蹟に就て/後家や娘の随胎/暑中御伺/新京長春より申上候/穂高神社奥社詣で/御国自慢 烏川村の巻/)			冊子	284号～295号まで合本 (シアトルに活躍し居る長野県人/此地方の盆踊と安曇節/等級割 南穂高・穂高町・北穂高・奈川村/美薦会の選歌/娘の結婚を寿きて/四宗匠立机披露大雅会発表/江藤新平/人/過去帳)
917	昭和8・9・10	1933	信濃不二 292号 (俳句/青柳栄司博士を迎えて/当選御礼/西野文太郎の墓に対して/会寧の長野県人会/微戒録/御国自慢 烏川村の巻/文月集/禁酒禁煙の実行者/秋夜 備考に続く)			冊子	284号～295号まで合本 (台湾に活躍しつつある長野県人/皆勤の賞 克己の三人/豊科町・三田村・有明村・烏川村の等級割/四宗匠立机披露大雅会発表/新刊紹介 人/江藤新平/過去帳/閑話)
918	昭和8・10・10	1933	信濃不二 293号 (俳句/失救農救土木の扉/階級運動か国民運動か/南米秘露より申上候/祝句/何が彼女をそうさせたか/仏法二十五便法/シアトルより申上候/狸ヶ原(小説)/祝辞 備考に続く)			冊子	284号～295号まで合本 (会寧の長野県人会/上田市より申上候/法律事務開始/微戒録/二十五週年記念俳句の選者と景品/等級割 豊科・小倉・明盛・温/四宗匠立机披露大雅会発表/江藤新平/過去帳/人詩 閑話 広告)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
919	昭和8・11・10	1933	信濃不二 294号 (俳句/五たび在満軍人各位の為に国民諸君に訴う/酒は何故飲んで悪いか/信仰に就て/南安稲の多収穫競争発表/統制せられた生命/若宮稲荷大明神 西穂高村/			冊子	284号～295号まで合本 (西穂高村の巻 (御国自慢)/秋の靖国神社大祭/新聞生る/会寧の長野県人会員名簿/松本平の流行神様/東西南穂高及高家村の等級割/時事断片/四宗匠立机披露大雅会発表/祝詞/奇勝昇仙峡吟行/街の怪死事件/又々隆昌に向いつつある南安の蚕種業/過去帳/人)
920	昭和8・12・10	1933	信濃不二 295号 (俳句/浅間温泉に法鼓響く/信濃不二の二十五週を祝す/酒は何故飲んで悪いか/魯鈍者の放火/創刊二十五週を寿きて/会寧連隊の近況/操業二十五週を祝す備考に続く)			冊子	284号～295号まで合本 (豊科・三田・有明・西穂高・小倉・高家の等級割/苦難汗血二十五週を迎う/穂高神社の社名旗/街の怪死事件/春秋会即興/等々力区岐美神社奉額一ト口附/南安氏子総代会/信濃不二創刊二十五週記念募集俳句/信濃不二社運動会の記/過去帳 人流行神様得点表)
921	昭和9・1・10	1934	信濃不二 296号 (七福神/新年を迎えての辞/創刊二十五週/奉祝皇太子殿下御降誕歌/努力の人会田血涙兄/新選十二支/安東県より申上候/一等当選おかめ様/開港情話唐人お吉備考に続く)			冊子	296号～307号まで合本 (信濃不二二十五週記念俳句/新春の寿/街の怪死事件/年齢のいろいろ/岐美神社安曇節と一ト口附/噫勝野先生/過去帳/人)
922	昭和9・2・10	1934	信濃不二 297号 (長野県の警察署長/命を粗末にし過ぎる/信濃不二二十五週/江戸村より/会田二兵君の結婚式に列して/瓦房店の長野県人会/信濃不二二十五週を祝す/賀状答礼 備考に続く)			冊子	296号～307号まで合本 (御国自慢 西穂高村の巻/松本平流行神様狐島の虚空蔵様/創作 春雨/下角影第十一回田園文芸研究会発表/花のような新年会/岐美神社余興安曇節/二兵君と協子さんの結婚を祝して/娘の結婚を寿きて/人/過去帳/街の怪死事件/唐人お吉)
923	昭和9・3・15	1934	信濃不二 298号 (こんなもの/正義の爆弾を投じたる岡本一巳君/上田より安曇へ/真々部の行人様/私設納税組合望月織一氏の熱誠/会染村長内山正次氏をおもう/お伊勢様参り/景気か不景気か 備考に続く)			冊子	296号～307号まで合本 (チチハルより/唐人お吉/豊科に出来たモダン建築/満州新東に於ける長野県人/曾山環翠宗匠昇級祝賀会/家庭療法/過去帳/人 一ト口附 安曇村等級割)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
924	昭和9・4・10	1934	信濃不二 299号 (こんなもの/齊藤内閣は果して非常時内閣か/社会の為め会田氏の健在を慶ぶ/伝導と現代の社会相/此次の村長様は誰になるか/豊科芸妓学校/刈谷原洞光寺へ参詣す 備考に続く)			冊子	296号～307号まで合本 (信濃不二の二十五周年を祝す/恋愛/南安女子連合青年団春季総会/南安消防ラッパ講習/イロハ冠ないないづくし/全羅北道より/京都伏見区より/立机二宗匠祝賀三宗匠大雅会/倭村銀杏吟社追悼句会/細萱洲波神社奉額楊柳会雅会/第十二会下角田園文芸研究会/乙巳会/唐人お吉/蚕業取締所長と農産物検査所長/過去帳/人 閑話)
925	昭和9・5・10	1934	信濃不二 300号 (毒言悪筆/老人尊重論/伝導と現代の社会相/日露戦争/連山関大隊と満州事変/北満征途/日本一の大忠魂碑/満州海城より/シヤトルより申上候/常念岳ケーブルカー/)			冊子	296号～307号まで合本 (安東県の長野県人/三原山/南安消防幹部演習/恋愛/唐人お吉/皇太子殿下御降誕祭奉祝献詠和歌/乙巳詩会 川柳外/南安仏教会お花祭/過去帳/人 閑話)
926	昭和9・6・10	1934	信濃不二 301号 (明治天皇御製/税金は物納にせよ/熊本市の長野県人会/布引山釈尊観音記/農会なるものの存在を疑う/南安蚕同赤魚焼会/日露戦争/米穀検査員を袋叩き 備考に続く)			冊子	296号～307号まで合本 (会田氏新築披露宴に臨み口を筆に代て/信濃不二社新築移転祝い/短編創作浅間の女/唐人お吉/精神解剖会/産業組合役職員協議会/函館より/花の本十二世秋村翁を迎えて/歌行脚/漢詩 一ト口附 人/過去帳)
927	昭和9・7・10	1934	信濃不二 302号 (こんなもの/金持の不真面目/東京より/緑陰漫談/其日の植原代議士/日露戦争/炎熱下に開墾する農学生/久々の無音をおわびして/笠松紫浪画伯歓迎会 備考に続く)			冊子	296号～307号まで合本 (大同神社へ戸田子爵参拝/信濃不二の二十五年を祝いて詠める歌/倉島鬼成先生/第四回乙巳会 松川雅道研究会の俳句外/人/過去帳)
928	昭和9・8・10	1934	信濃不二 303号 (無案県会協議会/滞納整理は徹底的にやれ/国民を不便混乱に導く/信州は招く/感窓談雅/シヤトルより申上候/草津所見/緑陰漫談/解散と長野県第四区/京都より申上候 備考に続く)			冊子	296号～307号まで合本 (穂高町・明盛村・南穂高村・倭村の等級割/第五回乙巳詩会 豊科花柳界月旦/伊東町より/鎌倉紀行/喜楽会 一ト口附 人 詩 和歌/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
929	昭和9・9・10	1934	信濃不二 304号 (不景気/日本アルプスで結構なり/閑窓談雅/臥雲辰致先生/飯田小海渡産土神社/国立山葵試験場を起せ/宮口より/初秋漫談/貿易関係に大迷惑/日露戦争/木曾藪原スキー場 備考に続く)			冊子	296号～307号まで合本 (影勲を貯蔵して助成金詐欺/光栄の上高地/豊科商工会座談会/毒言悪筆/村税等級割 梓村・奈川村・烏川村・三田村/第六回乙巳詩会/哭久保天隋/南部研究会俳句一ト口附 情歌外/人/過去帳)
930	昭和9・10・1	1934	信濃不二 305号 (日本有富寿/御婦人は皆で糸を御ひき下さい/信州の発明家臥雲辰致先生/閑窓談雅/新刊紹介 湯口家法事/花廼本秋村翁/木の子狩の記/シアトルより申上候/安東県より 備考に続く)			冊子	296号～307号まで合本 (野村信次郎君新聞生活二十五年/緑陰漫談/台湾より/南穂高村便り/馬匹参拝のすすめ/若夫婦/嗚呼一乗寺開基千野泰心師/等級割 有明村・高家村・南穂高村・豊科町/乙巳会漢詩松川村雅道研究会 人/過去帳)
931	昭和9・11・10	1934	信濃不二 306号 (長野県下所得税調査員一覧表/どうして坊様やお寺は人に好まれぬのか/日本アルプス/メートル専用の施行は一大混乱を招かん/南部農蚕学校開校二十五周年祝 備考に続く)			冊子	296号～307号まで合本 (特許法施行五十年記念祝賀会に参列して/世相批判/日本アルプスに就て/木曾谷より/第十五回長野県町村長会及其出席者/木曾藪原スキー場/おかめ様紀行/東京より申上候/毒言悪筆/北穂高・温村・小倉村・西穂高村 等級割/現代女給気質 エロオンパレード/南安南部農蚕学校々歌 第八回乙巳詩会 鎌倉紀行/一ト口附和歌/過去帳/丸山光治君三年忌 人/奉天にて)
932	昭和9・12・10	1934	信濃不二 307号 (送昭和九年/婦人の方が長命である/南穂高村の高齢者一覧表/木曾藪原スキー場/雑司橋に遊ぶの記/実験新農業法/堀金尋常高等小学校沿革大要/南安連合青年訓練演習 備考に続く)			冊子	296号～307号まで合本 (弟の死に直面して/再び台湾より申上候/明彰院真惠徹玄清居士/洋行中の星社長よりの来信/下堀紅葉会冠句 乙巳詩会 人/長野県の町村長/南安曇郡各村の等級割/童心は甦る/過去帳)
933	昭和10・1・10	1935	信濃不二 308号 (池辺鶴/新年初頭の辞/皇国文化と尺貫法/雑司橋に遊ぶの記/北部農学校創立二十週年記念祝賀式/南安曇の亥の字/鶴/昭和十年に因んで南安曇郡各方面の十人十色 備考に続く)			冊子	308号～319号まで合本 (エイ…十の字づくしでゴザイ/南部研究会五週年記念句集 春秋会忘年会句/真々部雅会忘年会即興 第十回乙巳詩会 細川製糸場/釜揚祝/和歌 俳句 漢詩 新刊紹介 人 感謝録/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
934	昭和10・2・10	1935	信濃不二 309号 (満州国各省区域及公署位置/郡立病院を起せ/雑司橋に遊ぶの記/臥雲辰致先生の補遺/即日帰郷を命ぜられた兵士/嵩下学校時代の思い出/歳末展望/年賀状 備考に続く)			冊子	308号～319号まで合本 (台湾信濃人会新年総会/毒言悪筆/豊科町の福俵/粗衣粗食主義/福島安正大将と私/長野県下の新聞雑誌/伊豆屋薬舗新年会 乙巳詩会 俳句歌 人 南安獵友会名簿/過去帳)
935	昭和10・3・10	1935	信濃不二 310号 日露戦争三十年記念号 (三十年前の思い出/日露戦役三十年の回顧/会田血涙社長提唱の郡立病院を起せに共鳴し其経営をして協同組合組織に依られん事を希望す/)			冊子	308号～319号まで合本 (武道町村対抗試合を見ての感/河口慧海師に聴く/徳本行者 新刊紹介/日露戦争従軍略記/奉天会戦歌/南安曇郡日露戦役従軍現存者氏名/南安曇郡日露戦役出征戦死者氏名/軍艦『有明』に有明神社の分霊を迎う/平林盛人大佐母堂逝く/飯田町より申上候/松本より申上候/毒言悪筆/砲煙弾雨 乙巳詩会 美蔦会詠草 高家雅会/噫喜楽亭喜悦翁/過去帳)
936	昭和10・4・10	1935	信濃不二 311号 (四月一日/三宝を尊信せよ/毒ガスの知識/軍備に対する国民の認識/平林盛人大佐母堂の葬儀/旅順攻城の回顧/有明村の大火/日露戦役の老兵会/嵩下婦人会へ出演 備考に続く)			冊子	308号～319号まで合本 (有明山神社御分霊祭/武藤金吉氏と私/伊勢音頭/乙巳詩会 美蔦歌壇 真々部雅会 信陽選句集 人/過去帳)
937	昭和10・5・10	1935	信濃不二 312号 (巻頭言/更科郡青木島村連合青年団へ出演/旅順攻城の回顧/上田市及東信の新聞雑誌/非常時に於ける青年の使命/福田富蔵氏と私/三鱗石灰専務湯口昌氏巖父の葬儀 備考に続く)			冊子	308号～319号まで合本 (南安曇郡各町村農会総代一覧表/伊勢音頭/間島省より/八坂神社由来記/長野県連合食肉営業組合総会/東京より/信濃不二社の観桜会/乙巳詩会 林部雅会冠句 真々部雅会冠句集外/過去帳/有明大火義捐者芳名 人 感謝録)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
938	昭和10・6・10	1935	信濃不二 313号 (栗となるか蛇となるか/産業組合と反産運動/女子の性器とホルモンの関係/千島より/白船遊記/シアトル市より申上候/台南市より申上候/微戒録/南安美容術業者総会備考に続く)			冊子	308号～319号まで合本 (南安煙草小売人組合総会/日本アルプス休泊所登山案内人組合総会/信州山葵組合総会/南安曇郡連合在郷軍人分会海軍部結成/関浦吉君来る/奉天より申上候/歩兵軍曹杉浦三司君戦歴/東京より/故平林武雄君建碑除幕式/南安曇各町村農会役員一覧表/乙巳詩会 弔丸山俊岳君/過去帳)
939	昭和10・7・10	1935	信濃不二 314号 (選挙肅正/有明神社論/信飛連絡線を探ねて/安筑一市四郡県会議員下馬評/上高地の穂高神社奥社 穂高神社々務所/金と取る気でウジを独れ並南安曇郡蛆駆除予防督励委員/)			冊子	308号～319号まで合本 (六月中の火事/六月中の自殺者/明科の一日/長野市及北信の新聞雑誌一覧表/豊科警察署/詩 俳 歌 冠 句 安曇節 人/過去帳)
940	昭和10・8・10	1935	信濃不二 315号 (上田市会議員当選/農村疲弊の病源/溺れる生徒の身代りとなった先生/ヨヨでなくてセイセイが正しい/登波離橋を国立公園中に加えよ/外国のマネは失敗の基 備考に続く)			冊子	308号～319号まで合本 (信飛連絡線を探ねて/高橋周三君と語る/満州に活躍しつつある鈴木勝守君/光栄の穂高山葵/母子四人の心中/南安商権擁護連盟発会式/図們市の長野県人/命に食傷した人/各地通信(東京より・会田老台・新京より) 人漢詩 俳句/過去帳)
941	昭和10・9・10	1935	信濃不二 316号 (秋雨/売る勿れ/シアトルより申上候/陸軍第二飛行団会寧に決る/子守歌をうたって育てる親の慈悲/唐沢警保局長/今夏上高地雑感/選挙公権論/信飛連絡線を探ねて備考に続く)			冊子	308号～319号まで合本 (南穂高村便り/命に食傷した者/嗚呼永田鉄山中将/肅正のいろいろ/選挙肅正委員三市及南安曇郡の部/国勢調査委員南安曇郡の部/戸数割 十二ヶ町村/乙巳詩会 小穴静月祝還暦 南部雅道研究会 七貴村/農会 人/ハルピンより/過去帳)
942	昭和10・10・10	1935	信濃不二 317号 (ホコトン/選挙法改正私案/エチオピア問題/温村長二木柄伍君/シアトルより申上候/私の仕事/信飛連絡線を探ねて/上高地の施設意見書/母のみまかりし折よめる 備考に続く)			冊子	308号～319号まで合本 (八坂神社遷宮祭/荒川海太郎君/長野県会議員候補者並当選者明細表/県会議員選挙関係明細表/毒言悪筆/三田・烏川・西穂高・穂高・豊科・北穂高等級割/乙巳会 和歌 南部研究会俳句及冠句/九月中の自殺者 人/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
943	昭和10・ 11・10	1935	信濃不二 318号 (遺憾千万/此頃の新聞記事/尺貫法本位の確率は度量衡を混乱せず/千人の女工声朗らかに歌って豊科工場に働く/露満国境より申上候/發明翁植松市太郎氏来る/新京より 備考に続く)			冊子	308号～319号まで合本 (梓川殉職五勇士の建碑/長野県蚕種業者第十八回総会詳報/南安曇郡産業組合関係職員録/金繡の紅葉/中立的県議諸君に問う/豊科青年学校開校式/新京より/毒言悪筆/カジノフォーリー エロ・オンパレード/噫萱齊野本要次郎君/梓・高家・明盛・温の等級割/芝崎九市氏の養兔場/十月中に食傷した人)
944	昭和10・ 12・10	1935	信濃不二 319号 (鈍感なる政府人/夫婦は一しよに寝よ/生野臨犀の伝記に就て/金子雪斎翁の対医者論/日蓮宗一乗寺御会式/豊科小学校中央校舎落成式/シアトルより申上候 備考に続く)			冊子	308号～319号まで合本 (久しぶりにて御挨拶申上ます/各地通信(松尾晴見・風間礼助・植松市太郎)/丸山今朝男君/穂高町の産業組合/長野県第二回種豚共進会/松永先生の講演を聞く/豊科・穂高・烏川・倭・南西穂高 其他の等級割/人 信濃春秋会/過去帳)
945	昭和11・1・ 10	1936	信濃不二 321号 (海上雲遠/昭和十一年を迎う/生野臨犀の伝記に就て/逋信大臣望月圭介閣下に相談す/靈肉一如の治病/娘は早くくれるに限る/山岳遭難救助機関案/総選挙と第四区/鼠づくし/			冊子	320号はない、321号～332号まで合本 (海上雲遠 各家吟詠/新声 情歌 俳句/乙巳詩会/賀状答礼/信濃不二懸賞募集俳句/御詫 過去帳 人 各地俳句 等級割等次号に譲る)
946	昭和11・2・ 10	1936	信濃不二 322号 (長野県第四区の有権者数/いよいよ十ヶ堰に着眼せられしか/生野臨犀の伝記に就て/靈肉一如の治病/上堀消防三十年祝い/鼠穴の伝説/伊東町より/京都より 備考に続く)			冊子	321号～332号まで合本 (三田・穂高・梓・高家・西穂高・有明・烏川・豊科等級割/噫松田文部大臣/信濃不二懸賞俳句発表/安曇節 俳句 一ト口附 情歌 川柳/新刊紹介人)
947	昭和11・3・ 10	1936	信濃不二 323号 (俳句/嫁入道具/ダグアオ/生野臨犀の伝記に就て/シアトル市より/シアトルより申上候/今回の選挙で/平壤より/新京より/長野県下の新代議士 備考に続く)			冊子	321号～332号まで合本 (南北安曇各村別各候補者得票数/所得税十万円以上の納税者/豊科町・有明村・梓村・高家村等級割/漢詩 俳句 和歌 人/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
948	昭和11・4・10	1936	信濃不二 324号 (広田内閣成る/善光寺の御開帳/国体に就て/何事も大切に過ぎる/豊科高等女学校の陸軍記念日/ダグアオ/生野臨犀の伝記に就て/シアトルより申上候/選挙肅正を顧みて/)			冊子	321号～332号まで合本 (中萱婦人会と橋爪婦人会/乙巳詩会 文芸塔美薦支部一週年句会 新声 南部研究会俳句冠句 八花会即題 人/間島省より/過去帳)
949	昭和11・5・10	1936	信濃不二 325号 (岡谷市会議員明細一覧表/増税の洪水来らん/国体に就て/ダヴァオ/東京より/非常時と自由精神/北信の百子園鵲村/処世訓/禁酒漫言/日本の金満家 7千万円以上/)			冊子	321号～332号まで合本 (会田先生の嫁入道具を拝読して/新 京より申上候/上條翠峯先生頒画会/ 三月中の自殺者/日本アルプス登 山遭難者慰霊祭とお山まつり/不動岡 町より/北満洲牡丹江より/南安曇の学 校先生 新刊紹介 故野本萱齊画伯 追悼書会/漢詩 安曇節 情歌 俳句 人/過去帳)
950	昭和11・6・10	1936	信濃不二 326号 (長野市会議員一覽表/穂高山葵の大損害に就て/国体に就て/ダヴァオ/金は誰れが払うか/南安曇郡の各学校の先生/会寧第二飛行団設置/禁酒漫言/トラピスト修道院 備考に続く)			冊子	321号～332号まで合本 (庶政一新と肅軍の本義/穂高神社正 遷宮祭の総決算/信濃不二社の座談 会/南安女子連合青年団總會/教育 勅語記念碑建設竣工式/郷社大宮熱 田神社の由来/北満牡丹江より申上候 /新刊紹介 和歌 漢詩 川柳 俳句 人/過去帳)
951	昭和11・7・10	1936	信濃不二 327号 (小倉村ゆき/松本招魂社論/庶政一新と肅軍の本義/麻績村より/国体に就て/小倉開墾地問題/禁酒漫言/伊豆伊東町より申上候/三島町より申上候/故福島安正大将修養談の一 備考に続く)			冊子	321号～332号まで合本 (東京より/閑院参謀総長宮殿下奉迎/ 第二十八会乙巳詩会 新進社一ト口 附四評/信濃不二社懸賞俳句大募集 切/過去帳 人 新刊紹介)
952	昭和11・8・10	1936	信濃不二 328号 (小供のお駄賃/上高地表玄関登山口/庶政一新と肅軍の本義/ダヴァオ/如何百言/隠れたる明治の画家 丸山山外翁/禁酒漫言/日本アルプス三田登山口と安曇節 備考に続く)			冊子	321号～332号まで合本 (松尾晴見氏縦横談/昨日の淵は今日 の瀬/小倉開墾地より申上候/長野県 青年学校教職員講習会/県下各地多 額納税者 南安女子各学校の先生/ 青柳博士歓迎会 新刊紹介 川柳漫 画 一ト口附/信濃不二社懸賞俳句発 表外/過去帳 人)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
953	昭和11・9・10	1936	信濃不二 329号 (満州国の面積と人口/真に農村の活き行く道/撫順より/シアトルより申上候/庶政一新と肅軍の本義/函們より/穂高神社御由緒概要/戸波離橋/丸山晚霞先生歓迎会/俳句備考に続く)			冊子	321号～332号まで合本 (丸山晚霞先生を迎えられし血涙先生に感謝す/如何百言/感心な娘春子さん/新声 俳句/穂高・北穂高・三田・西穂高の等級割/乙巳詩会 土筆会 冠句 人 穂高の徴兵合格者/過去帳)
954	昭和11・10・10	1936	信濃不二 330号 (毒言悪筆/電燈哲学/拳国覚醒の基本主義/国体に就て/俳句/直に名の如き温村/松本市長問題/福島大将の思出はなし/如何百言/禁酒漫言/石曾根しげき女史/八坂神社の御輿)			冊子	321号～332号まで合本 (梓水神社研究/烏川・明盛・温・有明等級割/日本水彩画夏季講習会/美薦会兼題 漢詩 俳句 人/過去帳)
955	昭和11・11・10	1936	信濃不二 331号 (ゴタ忙な御婦人達/日本アルプス自動車道路/国体に就て/故息機庵の事ども/如何百言/東京より/禁酒漫言/伊豆より/吉林省より申上候/石曾根しげき女史 備考に続く)			冊子	321号～332号まで合本 (/諏訪湖へピクニック/豊科・梓・倭・小倉・高家・南穂高・松川・奈川の等級割/松濤岩岡米吉翁/東洋文芸社選歌/大場考古学者/第三十三会乙巳詩会外/新刊紹介 人/秋恐譜/過去帳)
956	昭和11・12・10	1936	信濃不二 332号 (詠臼井弥三郎翁/臼井弥三郎翁の建碑成る/故息機庵の事ども/新京より/伊東町より/北満より/上諏訪より/国体に就て/如何百言/等々力いく子女史 備考に続く)			冊子	321号～332号まで合本 (長野県実業教育研究会と其出席者/禁酒漫言/南安氏子総代会 新刊紹介 人 慶弔電報 黒沢堰竣成式 信濃同仁会 南安蚕桑鳥焼/釜の沢へ遠足の記/豊科・高家・南穂高・明盛・温・倭・穂高・有明の等級割/槍岳故小穴佐門先生五十年祭/観楓会の記 美薦会の一員 乙巳詩会 山外遺稿/過去帳)
957	昭和12・1・1	1937	信濃不二 333号 臨時発行教化号 (田家の雪/新年初頭の辞)			冊子	333号～345号まで合本
958	昭和12・1・10	1937	信濃不二 334号 (田家の雪/年頭の辞/回顧一年/故息機庵の事ども/コントラスト二つ三つ/如何百言/畔田明君と私/青柳兄弟の講演を聴く/忠清南道より/冠句講座/牛のいろいろ/花は美し 備考に続く)			冊子	333号～345号まで合本 (安東県より/大坂より/和歌 漢詩 安曇節外/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
959	昭和12・2・10	1937	信濃不二 335号 (三千人の豊科工場/町会議員選挙に就て/故息機庵の事ども/宮坂哲宗師を迎う/禁酒漫言/如何百言/来るべき解放に伴う総選挙と吾人の覚悟/東京遊記/句作に就て/地獄通信 備考に続く)			冊子	333号～345号まで合本 (情歌 北城庵 香風/塵箱の中は皆お金/南安警友会/乙巳詩会 国風会/和歌 俳句 情歌外/松本民友倶楽部新年会/過去帳)
960	昭和12・3・10	1937	信濃不二 336号 穂高号 (陸軍記念日/豊科警察署改築の急/穂高通信/林内閣の経緯を質す/故息機庵の事ども/如何百言/松崎篁君渡米/等々力いく子女史/祝川手立机 祝倉科黙蓮銀婚式/)			冊子	333号～345号まで合本 (新興冠句の話/宮沢正宗雅会即題/南安曇郡穂高町国防婦人会発会式/噫松沢とめ子刀自/穂高町公職にある人々/禁酒漫言/乙巳詩会 美蔦会人/吉林省より/過去帳)
961	昭和12・4・10	1937	信濃不二 337号 (こんなもの/大人物教育を望む/林内閣の経緯を質す/故息機庵の事ども/いよいよ総選挙来れり/北米シアトルより申上候/豊科町男女軍事二団体創立発会式 備考に続く)			冊子	333号～345号まで合本 (細田香雨画会 山外翁遺墨展覧会 感謝録/和田きくえ女史の『翠葉集』/第三十七回乙巳詩会 山外遺稿 柳泉庵お花祭 美蔦会和歌外/人/過去帳)
962	昭和12・5・10	1937	信濃不二 338号 総選挙特集号 (選挙法改正私案/長野県選出代議士都市別得票表/第四区各町村別得票表 並棄権歩合明細/長野県地方課調査の各候補者の選挙費用/真理に遠さかる政治 備考に続く)			冊子	333号～345号まで合本 (大野県令の死/伊東町より申上候/飯沼飛行士の挨拶/北満信濃村より申上候/北満林口より申上候/天津にて/丸山光司翁と私/改選せられたる安筑四郡の町村会議員/乙巳詩会 美蔦会各地通信 人/東京より/過去帳)
963	昭和12・6・10	1937	信濃不二 339号 (神風 飯沼正明君/因果も果報も同じ也凡て国民の自覚にある/正風冠句の話/梓村ゆき/愛国婦人会豊科分会創立発会式/丸山光司翁と私/省線穂高駅を迎う 備考に続く)			冊子	333号～345号まで合本 (故航空兵軍曹三原伊東喜君建碑除幕式/近衛新内閣成立/青山先生の慕妻録を読誦して/大妻太郎兼澄公のお祭/二人の珍客来/第三十九回乙巳詩会 人 各地通信(松本より・台湾より・京都より・上高地より・三重より)/感謝の涙/過去帳)
964	昭和12・7・10	1937	信濃不二 340号 神風号飯沼飛行士特集号 (松本市会議員一覧表/飛行機操縦の普遍化/南穂高の村名/航空予算を中心として/飯沼正明君の記念事業を起せ/神風号と長野県 備考に続く)			冊子	333号～345号まで合本 (羽田飛行場に両勇士を迎う/神風号の飯沼正明君/亜欧連絡記録飛行の両勇士/飯沼さん塚越さん/南穂高村の公職にある人々/過去帳 人)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
965	昭和12・8・10	1937	信濃不二 341号 梓村特集号（暑中御伺/栄へ行く日本/松本市長論/御礼廃止の提唱/伊豆より/森本省一郎先生と私/素屋丸山山外遺稿/梓水神社研究/夏草/御国自慢 梓村の巻/温良山恭俊寺 備考に続く）			冊子	333号～345号まで合本（梓小学校増改築竣工落成式詳報/梓村の公職にある人々 堂々一千余名/俳句 会田血涙選/菖蒲の雨/乙巳詩会 人 過去帳）
966	昭和12・9・10	1937	信濃不二 342号（明治天皇御製/銃後の相談/国務大臣の放言妄言を誠む/思い出るままに/吉林省より申上候/豊科成相銃後会々則及其役員/共栄社退脱連盟豊科で結成/妙な世の中/三重県より/			冊子	333号～345号まで合本（松本市会議員及新聞記者の戸数割/釧路より/二人の珍客来/黒河省より/豊科町成相区の等級割/嗚呼じん忠報国 花あやめ 風光集 乙巳詩会 山外遺稿/日支事変/会田血涙選/優女路壮行会 人 過去帳）
967	昭和12・10・10	1937	信濃不二 343号 倭村紹介号（支那事変/再び銃後の相談/征清詩史を読み/支那人の寝言をどうして信ずるか/信濃桜『筑前琵琶』/倭の字に就て/故降旗元太郎先生七週忌/近藤知事を迎えて/			冊子	333号～345号まで合本（三つ折のまね/南安薬業組合 吉野銃後会 陣中だより 嗚呼じん忠報国/倭村の公職にある人々 倭村のことも/俳句/各地の町村葬/豊科軍人分会満州事変六週年記念式/乙巳詩会 倭村の名所古跡 詠敵機之空襲来人/過去帳）
968	昭和12・11・10	1937	信濃不二 344号（支那事変/女子供の洋装に就て/我が国体宗教と発明発見/征清詩史を読み/陣中より吾社へ/北穂高村の事ども/北穂高村の公職にある人々/吾が北穂高村を申上ます 備考に続く）			冊子	333号～345号まで合本（支那事変と尺貫法存続/英国罪惡史/天竜峡/北穂高村婦人会 一乗寺国禱会 南安曇農家懇談会/各地の町村葬 愛回行進曲 山外遺稿/冠句 会田血涙選/冬柏山房抄 乙巳詩会 人/過去帳）
969	昭和12・12・10	1937	信濃不二 345号（銃後風景/紙の消費節約に就て/戸田公と窪田翁/支那の婦人/三田国防婦人会発会式 穂高軍友会発会式/滴々録/北海道釧路市より申上候/『銃後美談』遠長の奥様 備考に続く）			冊子	333号～345号まで合本（英語可発 豊科時局講演会 出征軍人諸君へ/陣中より吾社へ/宮沢家不幸 南安南部の大激戦/〇〇〇〇より 各地の町村葬/熱河省建昌県より申上候/乙巳詩会 英国ナンダ 山外遺稿 俳句 人/過去帳）

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
970	昭和13・1・10	1938	信濃不二 346号 (神苑の朝/出張先より/北京の懐想/転載の光栄/実用女学校/弾丸の命中しないのが不思議/日本に生れし嬉しさを感じます/東京より/北支〇〇病院より申上候/変り種の出征/			冊子	346号～360号まで合本 (富国強兵/陣中より 青島君・酒井君・小室君・横田君/寅の年/梓警察庁竣工式/『安曇』と『内山真弓』新刊紹介/年の始めに/新年情歌/虎の年/和歌 俳句 漢詩 人 細川生糸釜揚祝 過去帳)
971	昭和13・2・11	1938	信濃不二 347号 豊科警察慰問号 (御挨拶/大日本消防協会長野支部南安分会 南安医師会 郡連合衛生組合 自動車協会南安支会 工場懇話会 猟友会/南安通信/やって欲しい事 備考に続く)			冊子	346号～360号まで合本 (大塚部隊長の御留守宅を訪問して)
972	昭和13・2・15	1938	信濃不二 348号 (逋信大臣に進言す/長期抗戦に答うる道/如何百言追加/実用女学校/山口小桂先生の思出/南京城雨花門一番乗の勇士/時局名入狂歌/青柳少佐の奮戦/傑らい女二人 備考に続く)			冊子	346号～360号まで合本 (移住地の建設 穂高町片々 中萱嘉助 新田銃後会 新田消防出初式中野町より 婦人の赤誠 一乗寺の寒行 乙巳詩会 穂高国防婦人会 人 寄贈雑誌 過去帳 前金払込読者/種徳院道林蹊成善清居士/葬式 弔詞 履歴 弔電 弔句 会葬者氏名/噫古川貢君/追慕述懐/古川さんを憶う/古川大人挽歌)
973	昭和13・3・10	1938	信濃不二 349号 (どうして学校へゆきたいか/実用女学校/如何百言追加/中等学校で飛行機学を教う/従軍日誌/陣中第一信/時局名入狂歌/北満林口第四次移民団より申上候/南安曇養蚕業組合 備考に続く)			冊子	346号～360号まで合本 (輝やかなしい北支の空より申上候/陣中より吾社へ/金二千五百円 個人の寄附者/大連より/南安通信/傑い女二人/人 詩 過去帳 出征家族慰安会)
974	昭和13・4・10	1938	信濃不二 350号 (らん歌集/実用女学校/長野県経済部長に進言す/満蒙開拓青少年義勇軍/豊科町出征将士健康祈願祭/傑い女 二人/高沢君の母/従軍日誌 備考に続く)			冊子	346号～360号まで合本 (蘭領東印度で奮闘しつつある竹内伝君/南安倭村の十三年度歳入出予算/南安倭村の等級割 五円以上/信濃日光有明山神社御造営五十年式年大遷宮祭/師範卒業生配置 松本と安筑四郡/幼年学校の採用/倭村の村税賦課率/乙巳詩会 日本精神の歌 人/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
975	昭和13・5・20	1938	信濃不二 351号 (論功行賞 安筑四郡の分/あかぎれの品評会/長野県経済部長に進言す/従軍日誌/愛国行進曲/穂高明神と美術家/穂高神社々格昇進準備/南穂高敬老会 南穂高甲種合格者 備考に続く)			冊子	346号～360号まで合本 (傑い女/南安倭村区長と代理者 倭村等級割 信濃不二社の観桜会/南穂高青年会 細川製糸場 新興美術院/石田吟松画伯 桜の千句 有明村水騒動/インドの叫び 信州長谷寺夏季水彩画講習会/月刊満州 日本精神の歌 北支より/慰めの歌 北支戦線より 望月織一氏/時局名入情歌 少年義勇軍 賀上條翠峯君還暦/過去帳 人 山外遺稿)
976	昭和13・6・10	1938	信濃不二 352号 (出征兵士に慰問を怠るな/東印度より申上候/東京より申上候/京都より申上候/大阪より申上候/中商工業者は何処へ行く/こんなもの/南安女子青年団総会 備考に続く)			冊子	346号～360号まで合本 (梓村自動車ポンプ披露式/有明村の水問題/従軍日誌/横川たき先生頌徳碑 海軍兵合格者/細川喜平君出発 南穂高村等級割/陣中より吾社へ 来信百通/乙巳詩会 日本精神の歌 安曇節/砂渡山 二六詩 夏季雑詠 前金払込読者 人 過去帳)
977	昭和13・7・10	1938	信濃不二 353号 (軍事郵便に就て/信州山葵の危機/県民性を毀傷するは誰ぞ/慰問の詩/近頃の新聞記事/哭次男長逝/蘭領東印度より申上候/従軍日誌/少く共学生は下駄穿にしる 備考に続く)			冊子	346号～360号まで合本 (悼敵父細柳 諏訪神社御祭柱 出征将兵各位へ御慰問申し上げます/西筑摩郡木曾村公職の人々 日清戦役従軍の勇士 日清戦役名誉戦死者 明治二七八年の役陣中第二信/時局二六詩 日清役の長野県人金鵄勲章受領者 第五十一回乙巳詩会 過去帳 人 前金払込者芳名 南安名士の死んだ年 吟詩)
978	昭和13・7・25	1938	信濃不二 354号 (安曇節/御挨拶)			冊子	346号～360号まで合本
979	昭和13・8・10	1938	信濃不二 355号 (論功行賞/北穂高有明の二ヶ村民を見殺にする勿れ/非常時に際し帝国青年に望む/小学校の手工に下駄製作を課せ/町村葬に就て/事変以来のこの数字/松本の市税納税額 備考に続く)			冊子	346号～360号まで合本 (北穂高村有明村民大会/問題の渦中にある和田堰の古文書/嗚呼小穴甫吉先生/依知川部隊の砲戦の歌/噫井口喜源治先生/昇格途上にある穂高神社/穂高町より 新刊紹介/乙巳詩会 日本精神女性の歌/北支陣中より申上候/北支より/過去帳 人)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
980	昭和13・9・10	1938	信濃不二 356号 (留守まもる妻/蒋介石君に誨う/南安曇織物洋品小売商組合/戦勝目的達成と言論機関/穂高神社昇格奉讃会発会式/従軍日誌/陣中第三信/日清戦役名誉の戦死者備考に続く)			冊子	346号～360号まで合本 (満願寺と恭俣寺へ/銃後句信/南穂高の人々 烏川の人々 穂高町の人々/大阪より申上候/矢原より/梓村より/三重より/陣中より吾社へ/日本精神の歌 乙巳詩会の日本刀 人 俳句/過去帳)
981	昭和13・10・10	1938	信濃不二 357号 (妹より兄様へ/軍国日本の娘さん達へ/筆不精のために/蘭領東印度より申上候/伊藤痴遊氏を憶う/満州信濃村移民団員/陣中より吾社へ/陣中より申上候/)			冊子	346号～360号まで合本 (戦争文芸一ト口附大募集/烏川村の戸数割 松川村の人々 小倉村の人々/東京より/羽毛報国 時局川柳 時局ニ六詩 募集俳句発表 大陸行進曲/県下警察官大異動/第三次論功行賞発表 第五十四回乙巳詩会/過去帳 人)
982	昭和13・11・10	1938	信濃不二 358号 (女性従軍の途を拓け/蘭領東印度より申上候/木曾の山中より/長野県農家懇談会 於穂高町/大阪より申上候/貯金報国/列女山口不二/傑い女/銃後美談/入山製糸講演 備考に続く)			冊子	346号～360号まで合本 (流石宗教新聞/烏川戸数割/美術の秋/死んだ人からと生きた人からの手紙/銃後行事/明治節/三田村より申上候/シアトルより申上候/乙巳詩会 大陸行進曲 満州信濃村移民団員 人/戦争文学一ト口附第発表/過去帳)
983	昭和13・12・10	1938	信濃不二 359号 (日本は強い/新党樹立と既成政党/昭和のロビンソンクルーソー/南安曇教育部会創立五十週年の祝典に参列して/南安曇教育部会創立五十週年祝賀式と功労者表彰及物故者慰霊祭/)			冊子	346号～360号まで合本 (教育部五十週年記念祝賀式の感激/北支戦線にて/陣中第四信/北満林口信濃村より/安曇の一隅にて/陣中より吾社へ/青柳宗重少将 一乗寺御会式 細川製糸の講演と映画の夕/穂高町より/烏川村等級割 乙巳詩会外/事変一週年を迎え将兵の労苦を偲びて/過去帳)
984	昭和13・12・20	1938	信濃不二 360号 南安曇教育部会号 (ふるさとの山(版画)/口絵(版画)/挨拶/学校だより/学校職員/慰問文/南安曇教育部会五十周年記念式/編集後記)			冊子	346号～360号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
985	昭和14・1・1	1939	信濃不二 361号 臨時発行 (卯の年と蒋介石/長期建設と保健衛生/朝陽映嶋/消壊席/北支陣中より申上候/長野の恵比寿講/日満支の尺貫ブロック結成/昨年の南安曇郡/			冊子	361号～372号まで合本
986	昭和14・1・10	1939	信濃不二 362号 (俳句/長期抗戦と建設/日蘇問題に関し故人の事蹟を憶う/銃後女性の姿/シヤトルより申上候/相馬愛蔵君と私/豊科警察署員の穂高神社参拝/戦線の勇士各位へ 備考に続く)			冊子	361号～372号まで合本 (ハイラルより申上候/入山丸キ両製糸場の釜揚祝/〇〇病院より申上候/陣中より吾社へ/西穂高国防婦人会久松班の活動/南安郷友会だより/朝陽映嶋 俳句 和歌 乙巳詩会 人/過去帳)
987	昭和14・2・10	1939	信濃不二 363号 (平沼内閣成立/紙の節約/国会開設五十周年に就て/相馬愛蔵君と私/会田血涙先生の婦人従軍論を駁す/八幡様へ参詣/北満首都新京より/丸山晚霞と私/支那から拾って見る 備考に続く)			冊子	361号～372号まで合本 (陣中にて新正を迎えて/薩摩芋を食い泥水を飲みつつ/日本男子と生れし喜び/大西郷先生の征韓論/三重県より/陣中より吾社へ/満州信濃村移民団 浅草長野県人会 第四回論功勇士 思出の戦線 乙巳詩会 和歌 人 過去帳/北満浜江省より)
988	昭和14・3・10	1939	信濃不二 364号 皇軍慰問号 (陸軍記念日/洋服の袖のボタンを廃せ/国会開設五十周年に就て/国のおきてなら槍でも呑もう/熱情溢るる等々力智恵太君/松本の縄手通りの如く 備考に続く)			冊子	361号～372号まで合本 (汽車の乗務員全部兵隊/長野より/内地に居る様感じます/御挨拶/長野より/新刊紹介 穂高通信 出征軍人各位へ/陣中より吾社へ/降旗徳弥氏講演会 軍事郵便料半額 南安郷友会 嗚呼白金俊雄君/乙巳詩会 優女路 歓迎雅会 人/過去帳)
989	昭和14・4・10	1939	信濃不二 365号 警防団号 (巻頭言/徹底的に頑張れ/国のおきてなら槍でものもう/国会開設五十週年に就て/諏訪ゆき/上鳥羽出征兵士慰安会 南安氏子総代総祈願祭 豊科武運長久祈願祭 備考に続く)			冊子	361号～372号まで合本 (下鳥羽国防婦人会/電柱の地代値上の新聞記事を見て/松中生の快挙/大日本警防協会長野支部南北安曇東筑摩役員/小岩養蚕技手の大陸進出を送りて/新河県治安維持会結成式/山西省第一の激戦地/八路軍の根拠地にして/安曇筑摩の健児集り来りて/南安通信/第六十会乙巳詩会 和歌行進曲 人/過去帳)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
990	昭和14・5・10	1939	信濃不二 366号 農会惣代号（農会総代諸君/政友会はどこへ行くか/国のおきてなら槍でものもう/南洋奇譚『虎』/山本駿次君を送る/光栄に感激せる秋山一司君/豊科紡績産業報国会結成式 備考に続く)			冊子	361号～372号まで合本 (血涙先生の論説/南安曇郡各町村農会総代/耳塚養蚕実行組合/陣中より吾社へ/信濃不二社時局座談会/南安通信/第六十一回乙巳詩会 和歌俳句外/上堀国防婦人会総会 人/過去帳)
991	昭和14・6・10	1939	信濃不二 367号 皇軍慰問号（毒言悪筆/農蚕増収祈願祭/深沢大王祭/南安曇女子青年団総会/仏道真実経/大陸の珍客来る 満州と北支/雨の木崎湖/新刊紹介 久我通頭侯爵 備考に続く)			冊子	361号～372号まで合本 (南安曇郡内各神社と氏子総代/碩水寺詣で/陣中より吾社へ 勇士の通信/木曾より/村風宗匠へ/アンゴラ兎大会 乙巳詩会 人/聖戦余録/過去帳)
992	昭和14・7・10	1939	信濃不二 368号（打倒英国/東亜建設工作/仏道真実経/政党は何をしているのだ/警察署長の異動 各地の長者鑑/黒沢川治水期成同盟会/木曾谷より申上候/銀座街頭より申上候/			冊子	361号～372号まで合本 (山清路から差切新道/三田村通信/陣中より吾社へ/元の古巣の鉄道警察/青柳由郎中佐/五十三歳の老骨を以て/南安通信/良民良平社長来られて/漢詩 川柳 俳句 人/過去帳)
993	昭和14・8・10	1939	信濃不二 369号 皇軍慰問号（明治天皇御製/英語廃すべし/仏道真実経/民政党も馬鹿/農保問題を截る/正風冠句講座/中支より/中島知久平氏を迎えて飛行機製作を起せ/陣中より吾社へ 備考に続く)			冊子	361号～372号まで合本 (北支陣中より申上候/北満林口自警村より申上候/南支陣中より申上候/南安曇産業組合陣営/上川手村公務録/乙巳詩会 打倒英国 冠句募集等々力八趣 人/過去帳)
994	昭和14.9.10	—	信濃不二 370号（柔仏王国の虎狩/仏道真実経/碩水寺夏季修道会参禅記/亡き妻と共に/乙巳会梓溪谷写生記/隻眼の美術家加藤大道君/第六十五回乙巳詩会/信濃不二冠題/和歌俳句)			冊子	361号～372号まで合本
995	昭和14・10・10	1939	信濃不二 371号（洗場哲学/健脚部隊進軍歌/仏道真実経/柔仏王国の虎狩/小さくも偉い/こちらで見た事聞いた事/美ヶ原/朝の清澄/勇士健在/信濃不二冠句/第六十六回乙巳詩会/和歌 備考に続く)			冊子	361号～372号まで合本 (本誌代前金払込読者芳名)
996	昭和14・11・10	1939	信濃不二 372号 廃刊号（廃刊の辞/仏道真実経/勅題に就て/乙巳詩会 安曇節外/萩山人先生追悼会)			冊子	361号～372号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
997	昭和21・7・10	1946	信濃不二 373号 復刊第一号 (供米の不振をかえり見て農家の大敵雀を退治せよ/県議員選挙近し/満州南安曇郷開拓団のことども/南安産婆看護婦会/町村会議員改選/樺林に袋虫/人 一乗寺雅会 俳句)			冊子	373号～390号まで合本
998	昭和21・8・10	1946	信濃不二 374号 (信濃不二復刊の辞/県議員下馬評まだ殖える/南安曇の義勇軍/小主開拓団へいった花嫁/勤労奉仕隊の娘/毒言悪筆/南安曇の刊行物/お医者と坊さん/二二二名の巡查/)			冊子	373号～390号まで合本 (こんなもの 安曇節 人 農休会 祝復刊 感謝録)
999	昭和21・9・10	1946	信濃不二 375号 (雀を全滅して米麦の増産をはかれ/南安曇開拓殉難者合同慰霊祭/毒言悪筆/南安曇関係の刊行物/こんなもの 雀 日盛り 人 乙巳詩会 感謝録)			冊子	373号～390号まで合本
1000	昭和21・10・10	1946	信濃不二 376号 (是からの住宅に就て/町村会議員と婦人候補者/熊沢天皇記/毒言悪筆/祝復刊/物故した人/穂高神社 近詠 豊科農機具工場 牧食品工業会社/妹尾義郎氏講演 和歌 感謝録 人)			冊子	373号～390号まで合本
1001	昭和21・11・10	1946	信濃不二 377号 (塩の話/南安曇農業者大会/南安曇連合青年会の活動/町村会議員と婦人候補者/毒言悪筆/物故した人/穂高句会/三重県より/誌代前金払込読者 人)			冊子	373号～390号まで合本
1002	昭和21・12・10	1946	信濃不二 378号 (立候補学/青年激励/毒言悪筆/物故した人/蚕糸増産感謝祭並表彰式/家族慰安大会 泰心上人十三回忌 琴と尺八の大会/穂高農業学校 信濃不二歌壇 祝復刊 乙巳詩会 故山 人 感謝録)			冊子	373号～390号まで合本
1003	昭和22・1・10	1947	信濃不二 379号 (町村長はどんな所へゆくか/毒言悪筆/南安曇の民政委員/民主主義の新農地委員/物故した人/こんなもの/感謝録 経理室より/)			冊子	373号～390号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1004	昭和22・2・10	1947	信濃不二 380号 (知事や市長村長ばかりでなく地方事務所長、警察署長、国民学校長も居住地の者を公選せよ/新たなる努力/こんなもの/物故した人/お目出た二件/植原国務相歓迎会 備考に続く)			冊子	373号～390号まで合本 (有明短歌研究会 俳句宗匠立机披露/乙巳詩会 和歌 俳句外/木曾より/人 感謝録)
1005	昭和22・3・20	1947	信濃不二 381号 (松本県庁論/出揃いし南安曇の県議候補者/共鳴するもの/安曇の人物/有明村より/毒言悪筆/物故した人/和歌 信濃不二歌壇 新声 俳句 人)			冊子	373号～390号まで合本
1006	昭和22・4・10	1947	信濃不二 382号 (皆んなでウント働けば総ての物価は安くなる/愛読者の各位へ/南安曇の町村長候補者/改暦二十二年の記録/安曇の人物/心窓長閑に/毒言悪筆/物故した人/和歌 一ト口附 感謝録 人)			冊子	373号～390号まで合本
1007	昭和22・5・10	1947	信濃不二 383号 (植原増田降旗三氏当選/初代公選長野県知事は林虎雄氏/初代公選長野県の六市長/南安曇の初代公選町村長/乙巳詩会/初めて公選せる長野県の参議院/喜悦宗匠十三回忌追悼句/備考に続く)			冊子	373号～390号まで合本 (長野県選出代議士十三名/安曇の人物/人情の琴線/感謝録)
1008	昭和22・6・10	1947	信濃不二 384号 (和歌/長野ゆき/第四区各派得票表/南安曇郡衆議院得票/長野県会議員当選者/南安曇県会議員得票表/南安曇の第一次公選町村会議員/約束に背いて三円に致します/)			冊子	373号～390号まで合本 (感謝録 和歌 漢詩/南安曇より飯田市へ)
1009	昭和22・7・10	1947	信濃不二 385号 (時感一則/民主主義化に徹せよ/安曇の人物/無限の幸福/毒言悪筆/文化ニュース/南安曇助産看護婦総会/こんなもの/和歌 新声 人/東京都より/感謝録)			冊子	373号～390号まで合本
1010	昭和22・8・10	1947	信濃不二 386号 (時感一則/安曇の人物/微風の扉/南安曇地方事務所職員名簿/物故した人/金龍寺の吊鐘/乙巳詩会 祝信濃不二復刊一周年/南安曇の旧友を思う/新声 感謝録 人/愛知県より)			冊子	373号～390号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1011	昭和22・9・10	1947	信濃不二 387号 (女子決死隊 有明道場の火の玉の猛練修/千葉県より/南安曇郡歴代の郡長/安曇の人物(六)/明日の命/郷土研究/こんなもの/南安曇郡町村農地委員会書記名簿備考に続く)			冊子	373号～390号まで合本 (新声/中萱嘉助/祝復刊信濃不二の一周年/感謝録/人)
1012	昭和22・10・10	1947	信濃不二 388号 (奉迎天皇陛下御巡幸/常時敬老会/安曇の人物(七)/高原の太陽/南安曇のお医者(一)/南安曇の食糧調査委員/文化ニュース/害鳥雀/祝万水橋完成/漢詩/感謝録)			冊子	373号～390号まで合本
1013	昭和22・11・10	1947	信濃不二 389号 (仁科の里/金龍寺の鐘/天皇陛下の御巡幸を迎え奉る/安曇の人物(八)/純情一路/南安曇のお医者(二)/犀水会句集/御巡幸/新声/乙巳会/雀害の歌/珍客来/備考に続く)			冊子	373号～390号まで合本 (人/安曇蚕業株式会社/感謝録)
1014	昭和22・12・10	1947	信濃不二 390号 (祝クリスマス/八面六臂の大活躍/一ノ沢山林係争事件回顧録/有明山麓『翁塚』再建に就いて/銀月の海/南安曇のお医者(三)/有明道場より/文化ニュース/人)			冊子	373号～390号まで合本
1015	昭和23・1・10	1948	信濃不二 391号 (謹賀新年/片山内閣倒潰必死/安曇の人物(九)/随筆 嵐に立つ樹/南安曇のお医者(四)/物故した人(九)/元警部の骨つぎ/春の山/新声/降旗徳弥先生/乙巳詩会/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (犀水会句集/春の山/人/感謝録/降旗代議士演説会/会田翁古希寿祝)
1016	昭和23・2・10	1948	信濃不二 392号 (祝発展/随感随想/随筆 さわやかに/安曇の人物(十)/公安委員/洞光寺奉額俳句/人)			冊子	391号～412号まで合本
1017	昭和23・3・10	1948	信濃不二 393号 (祝発展/随感随想/安曇の人物(十)/随筆 無邪気な童顔/参議院補欠選挙/安曇節 みすず会/南安曇のお医者(五)/新声/川柳/時局吟/時事漫吟/乙巳詩会/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (子の年/文化ニュース/人/感謝録)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1018	昭和23・4・10	1948	信濃不二 394号 (祝発展/随感随想/随筆 人間味/安曇の人物(十一)/南安曇のお医者(六)/南安曇民生兼児童委員/文化ニュース/降旗代議士後援会結成式/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (南穂高青雲支部創立記念短歌会開催/新声/齊藤隆夫先生/安曇蚕業会社/人/感謝録)
1019	昭和23・5・10	1948	信濃不二 395号 (祝発展/持久戦でやれ 松本分県論/随筆 法悦/安曇の人物(十二)/南安曇のお医者(七)/南安長寿録(一)/南安曇物価監視委員/犀水句碑除幕式/南安産婆看護婦会/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (新声/安曇蚕業会社一ト口附/環翠庵即題/文化ニュース/感謝録/正道賀寿/祝古希血涙/人/満願寺)
1020	昭和23・6・10	1948	信濃不二 396号 (祝奈川村合併/烏川辺りに立ちて/随筆 精進の道/安曇の人(十三)/六月一日から南安曇郡になった奈川村/南安長寿録(二)/文化ニュース/美篤会/乙巳詩会/中信美術展/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (新声/祝血涙翁古希/安曇蚕業会社一ト口附/ゼネスト/五月/感謝録/人/豊科町長選挙/奈川村南安曇に合併/西穂高怪火頻々)
1021	昭和23・7・10	1948	信濃不二 397号 (芦田内閣旦夕に迫る/安曇の人物(十四)/随筆 神秘境/安曇野の政治史(一)/南安長寿録(三)/農村ある記/新声/祝豊科駅/環翠庵即題/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (感謝録/人/各派勢力)
1022	昭和23・8・10	1948	信濃不二 398号 (祝復刊/女子吏員の皆さん/安曇の人物(十五)/随筆 心の花園(十七)/農村のある記/南安曇の政治史(二)/夏夜舟行/刈原洞光寺奉額俳句/乙巳詩会/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (新声/思い出/血涙先生古希/小穴勝弘氏/安曇蚕業一ト口附/人/感謝録)
1023	昭和23・9・10	1948	信濃不二 399号 (梓村短歌会八月詠草/観光信州 観光安曇/安曇の人物(十六)/随筆 輝きの前に(一八)/農村ある記/南安曇の政治史(三)/法華経を読誦して/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (美篤会/科布風社 感謝録/人)
1024	昭和23・10・10	1948	信濃不二 400号 (青年よ演説を聴け而して演説をしよ/安曇の人物(十七)/祝甲子園行/随筆 道ゆく心(一九)/南安曇の政治史(四)/民主自由党南安支部結成/人/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (有明青年同志会結成/積水寺修導会/有明消防組/表彰/南安文化ニュース/新声/三田村句会/環翠庵即題/感謝録/傷足)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1025	昭和23・ 11・10	1948	信濃不二 401号 (こんなもの/四区から三人の大臣 増田労働、降旗通信、下條文部/安曇の人物(十八)/新たに任命された民生委員/随筆 感話録(二十)/南安曇の政治史(五)/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (南安曇歴代蚕業取締所長/南安曇郡歴代郵便局長/南安曇の登録所長/長野県教育委員南安曇郡得票表/初の長野県教育委員/南安文化ニュース/新声/小林仙道宗匠立机披露/安曇蚕業会社一ト口附/人)
1026	昭和23・ 12・10	1948	信濃不二 402号 (第三回信濃歌人大会/世界平和の象徴大聖釈迦牟尼仏成る/安曇の人物(十九)/随筆 これではいか(二一)/南安曇の政治史(六)/師走の島々行き/松沢求策先生の碑を建てよ/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (穂高町へ/南安曇ニュース/紅葉/梓村短歌会十月詠草/新声/人/感謝録/三田村句会)
1027	昭和24・1・ 10	1949	信濃不二 403号 (こんなもの/第四区又々大激戦/政治の根本的立て直し/安曇の人物(二四)/随筆 年頭静思(二一)/南安曇郡各町村農業調整委員/矢継早の穂高の祭/耳塚主婦の会/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (安曇蚕糸窯上祝/新声/第三回信濃歌人大会/人/感謝録)
1028	昭和24・2・ 10	1949	信濃不二 404号 (病中苦吟/団扇やカレンダーを商店が只くれる時代を要望する/安曇の人物(二五)/歴史に現れた二十四年/急がずは濡れまじものを旅人のあとよりはるる野路の村雨/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (新刊紹介 安曇集/衆議院選挙得票表/長野県衆議院議員当選者/一乗寺釈尊の光栄/小主開拓団新年会/中信美術会総会/乙巳詩会/歳旦雑感/三田村句会/新声/一月梓村短歌会詠草/俳句/感謝録/人)
1029	昭和24・3・ 10	1949	信濃不二 405号 (夏冬抄/時感一則/今回の総選挙/南安曇の洋画家/農民と農政/安曇の人物(二六)/乙巳詩会/美篤会/洞光寺区会/梓村短歌会/安曇蚕業一ト口附/新声/感謝録/人/梓村短歌会)			冊子	391号～412号まで合本
1030	昭和24・4・ 10	1949	信濃不二 406号 (二月梓村短歌会詠草/時感一則/社会党のゴタゴタ/農民と農政(完)/安曇の人物(二七)/長野県代議士/豊科高等学校第一回卒業生/科布風社競点和歌/乙巳詩会/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (新声/三田村句会/人/婦人代議士/俳句/安曇蚕業一ト口附 近詠/感謝録/洞光寺俳諧)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1031	昭和24・5・10	1949	信濃不二 407号 (川西三十四番札所並御詠歌/親孝行論/安曇の人物(二八)/来年の事を言っても鬼も笑うまい/南安寺院巡り(1))			冊子	391号～412号まで合本
1032	昭和24・6・10	1949	信濃不二 408号 (川西三十四番札所並御詠歌/穂高遷宮祭 線香花火式では駄目/安曇の人物(二九)/南安曇の開拓地/来年のことを言っても鬼も笑うまい(二)/熱血青年栗林秀行君/備考に続く)			冊子	391号～412号まで合本 (南安曇の未帰還者(一)/南安寺院巡り(2)/俳句 情歌の宗匠 感謝録人)
1033	昭和24・9・10	1949	信濃不二 409号 (六月梓村短歌会詠草/お詫びと感謝/郡境変更一週年に際して/安曇の人物(三〇)名士の雅号/新声)			冊子	391号～412号まで合本
1034	昭和24・10・10	1949	信濃不二 410号 (安い酒をウント醸れ/安曇の人物(三一)/初代民族/美篤会)			冊子	391号～412号まで合本
1035	昭和24・11・10	1949	信濃不二 411号 (南安曇郡引揚者名簿/火事には水、病には医者/臥明楼弘龍の建てた桃青句碑につきて/安曇の人物(三二)/安曇蚕業一ト口附/名士の雅号/老人訓六ヶ條/新声 科布風社競点和歌)			冊子	391号～412号まで合本
1036	昭和24・12・10	1949	信濃不二 412号 (病中苦吟/死線を越えて/安曇の人物(三三)/臥明楼弘龍の建てた桃青句碑につきて(二)/新声 無煙家烈伝(一)/安曇蚕業一ト口附)			冊子	391号～412号まで合本
1037	昭和25・1・10	1950	信濃不二 413号 (謹賀新年/新年雑感/新春の辞/安曇の人物(三四)/光の五神社/信濃随想の歌/無煙家烈伝(二)/簡易安楽美術展/南安曇寺院巡り(3)/乙巳詩会 庚寅勅題/祝血涙翁快癒/人)			冊子	413号～425号まで合本
1038	昭和25・2・10	1950	信濃不二 414号 (治山治水緑化運動/時感一則/年頭所感/安曇の人物(三五)/光の五神社/来年のことを言っても鬼も笑うまい(三)/無煙家烈伝(三)/簡易安楽書道展/備考に続く)			冊子	413号～425号まで合本 (祝血涙先生快癒/青年団長と婦人会長/人)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1039	昭和25・3・10	1950	信濃不二 415号 (妙な世の中/人間が多い/安曇の人物(三六)/此頃の想うこと/参議院議員選挙/会田賢兄/無煙家烈伝(四)/南安曇寺院巡り(4)/詩/新声/南安有権者/人)			冊子	413号～425号まで合本
1040	昭和25・4・10	1950	信濃不二 416号 (南安曇地区警察署/純綿の手拭たれ/安曇の人物(三七)/此頃の想うこと(二)/来年のことを言っても鬼も笑うまい(四)/会田賢兄/無煙家烈伝(五)/南安曇寺院巡り(5)/備考に続く)			冊子	413号～425号まで合本 (瑞穂高等女学院/乙巳詩会/血涙和尚様/日米交渉秘話/共産党幹部の運命/美篤会/南安遺族会長/露月宗匠喜寿祝/会山環翠句碑建設/上條翠峰鯉魚百絶首序/人/安曇蚕業一ト口附)
1041	昭和25・5・10	1950	信濃不二 417号 (豊科警察署 穂高警察署/税金を安くする法/平出遺蹟孝/此頃の想うこと(完)/来年のことを言っても鬼も笑うまい(五)/大降旗と小降旗/お医者政治家/東京より/備考に続く)			冊子	413号～425号まで合本 (世界平和祈願大聖釈迦牟尼仏尊像奉賛会特別会員氏名(其一)/未帰還者/人/安曇よさらば/無煙家烈伝(六)/青柳露月翁喜寿祝三光/三重県より/燕/川船水棹画会)
1042	昭和25・6・10	1950	信濃不二 418号 (科布風社競点/時感一則/昔の大臣と今の大臣(一)/来年のことを言っても鬼も笑うまい/南安曇の四名橋 雑炊橋・お経橋・うろたえ橋・白金の三枚橋/長野より/備考に続く)			冊子	413号～425号まで合本 (南安曇寺院巡り(6)/高山完画伯頌布会/無煙家烈伝(七)/青柳露月翁喜寿祝三光/引揚促進の歌/人)
1043	昭和25・7・10	1950	信濃不二 419号 (塩尻町警察署 本郷村警察署/参議院選を省りみて/安曇の人物(三八)/来年のことを言っても鬼も笑わない/俳句)			冊子	413号～425号まで合本
1044	昭和25・8・10	1950	信濃不二 420号 (乙巳詩会/会田血涙翁喜寿/時感一則/昔の大臣と今の大臣(二)/奈川村のお宮とお寺/上高地新登山路山路踏査/来年のことを言っても鬼も笑うまい/備考に続く)			冊子	413号～425号まで合本 (無煙家烈伝/デンマーク国民歌/引揚促進安曇節/人/新声)
1045	昭和25・9・10	1950	信濃不二 421号 (乙巳詩会 シベリア/時感一則/安曇の人物(三九)/昔の大臣と今の大臣(三)/糸価二十万円恩師を偲ぶ/選挙違反の副産物/三代議士夏の陣/備考に続く)			冊子	413号～425号まで合本 (血と涙の叫び 故丸山岩雄氏の建碑/一休禪師/南安曇農業改良普及員)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1046	昭和25・ 10・10	1950	信濃不二 422号 (祝国勢調査/ハガキ値上は愚策/安曇の人物(四十)/昔の大臣と今の大臣(四)/来年のことを言っても鬼も笑うまい/筋金入れの花嫁学校/瀧沢屋の女将あがる/無煙家烈伝/備考に続く)			冊子	413号～425号まで合本 (南安寺院巡り(7)/小居の月/文化ニュース/安房天津より鴨川へ/時事吟/伝導学の研究/人)
1047	昭和25・ 11・10	1950	信濃不二 423号 (乙巳詩会/松本市の諸君/ワンマン総裁の謀将(一)/安曇の人物(四一)肉一ぱい活躍している/来年のことを言っても鬼も笑うまい/矢原と言う所/南安寺院巡り(8)/備考に続く)			冊子	413号～425号まで合本 (噫宮瀬柏園宗匠/人類の敵/真弓川柳信濃国 講演集 嫉妬の心理 日本いかに処すべきか/少年画家 齊藤俊雄君/大町警察署/人) yonn
1048	昭和25・ 12・10	1950	信濃不二 424号 (祝クリスマス/時感一則/ワンマン総裁の謀将(二)/安曇の人物(四二)/長野県教育委員選挙/京郁意仙/昔の大臣と今の大臣(五)/南安曇の俳人伝(一)/南安曇寺院巡り/備考に続く)			冊子	413号～425号まで合本 (入聲は傑らい(一)/南安曇町村議員総会/法句経/無煙家烈伝/人)
1049	昭和26・1・ 15	1951	信濃不二 425号 (乙巳詩会/鬼の笑う来年は遂に来た/安曇の人物(四三)/ワンマン総裁の謀将(三)/昔の大臣と今の大臣(六)/詠警察/シアトルより申上候/入聲は傑い(二)/備考に続く)			冊子	413号～425号まで合本 (南安曇俳人伝(二)/県立穂高高等学校新築落成を祝う歌/新声/人/講和)
1050	昭和26・3・ 25	1951	信濃不二 426号 会田血涙追悼号 (血涙翁を悼む/御挨拶申し上げます/残された巨跡を偲ぶ/会田さんの死/弔句 弔詩 弔歌/弔辞御芳名 弔電御芳名 弔文御芳名 会葬者御芳名/備考に続く)			冊子	426号～444号まで合本 (血涙先生を憶うて/選挙いろはかるた)
1051	昭和26・5・ 20	1951	信濃不二 427号 (首相の式辞/時感一則/長野県知事選挙 長野県議員選挙 長野県の市長選挙 南安曇の町村長選挙 町村議員当選者 松本市議員当選者/備考に続く)			冊子	426号～444号まで合本 (農村の生活を思う/文化ニュース)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1052	昭和26・6・10	1951	信濃不二 428号 (野良の帰りを待つ子に土産 母が袂の草いちご/望みなきにあらず/草庵放語(一)/南安曇郡町村役場/農業協同組合役員/農業協同組合役員/妙法寺席額選集/備考に続く)			冊子	426号～444号まで合本 (三原山紀行(上)/文化ニュース/人類の敵)
1053	昭和26・7・10	1951	信濃不二 429号 (吉田内閣改造/私達の詞/草庵放語(二)/立身出世三十ヶ條/南安曇町村議会議長会 南安曇町村会政務調査員 農業共同組合役員 南安第一次追放解除者/備考に続く)			冊子	426号～444号まで合本 (藤原牧人句碑除幕式安曇節/松川神社祭典余興安曇節/豊科十景安曇節/文化ニュース/人)
1054	昭和26・8・10	1951	信濃不二 430号 (雑詠/追放解除と農業委員選挙/奥様心得帳(洗濯の巻)/三惚れは成功のもと/農業委員当選者/松本市署大異動/南安曇の郵便局長/文化ニュース/人)			冊子	426号～444号まで合本
1055	昭和26・9・10	1951	信濃不二 431号 (講和会議出席全権委員/日本アルプスと安曇の里/赤痢菌の暗躍恐るべき伝染病/安曇の人物(四四)/村の選挙/南安曇農業選任委員/南安曇消防団幹部/ニュース/人)			冊子	426号～444号まで合本
1056	昭和26・10・10	1951	信濃不二 432号 (懐会田血涙翁/神社仏閣に望むこと/戦争犠牲者を救え!/講和なりて/南安曇消防団大巡検/消防団検閲式に臨みて/是でよいのか?こうありがたい!/安曇の人物(四五)/備考に続く)			冊子	426号～444号まで合本 (犀水会十周年祝が雅会/犀水会祝賀俳句/祝賀一ト口付/ニュース/人)
1057	昭和26・11・10	1951	信濃不二 433号 (米の統制撤廃はよいのか!悪いのか!/過去!現在!未来!/時に想う/平和積尊秋の大聖典/南安曇民生委員/安曇の人物(四六)/龍尚山席額句集/住廻江連雅会冠句/備考に続く)			冊子	426号～444号まで合本 (郵便料値上げ/俳句/ニュース/人)
1058	昭和26・12・10	1951	信濃不二 434号 (泥沼の華/演説と言うもの/安曇節 堀金文芸研究会/人口問題雑観(一)/展示結果を検討する/ニュース/人)			冊子	426号～444号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1059	昭和27・1・10	1952	信濃不二 435号 (五十二年の新春を迎えて/新年の御挨拶/新年初頭の感/血涙和尚を偲ぶ/人口問題雑観(二)/年輪紋土器の研究/麦類の年内手入について/安曇の人物(四七)/備考に続く)			冊子	426号～444号まで合本 (大雪を人工で消し麦の雪腐防止が大切/ニュース/人)
1060	昭和27・2・10	1952	信濃不二 436号 (加藤犀水翁碑の句/戦争犠牲者を救え!/自由党長野県支部大会/解せぬ事ども/ころがり込んだ福俵/辰年の縁起/安曇の人物(四七)/柿本環翠翁句碑除幕古希祝賀雅会/備考に続く)			冊子	426号～444号まで合本 (ニュース/人)
1061	昭和27・3・10	1952	信濃不二 437号 (雑詠/道着の頽廢/解せぬ事ども/公民館に親しめ/遺族援護法四月から実施/農民道義の実践に就いて(一)/郷土の戸籍をたずねて(三田村の巻)/俳句/安曇節)			冊子	426号～444号まで合本
1062	昭和27・4・10	1952	信濃不二 438号 (永遠の平和/加藤(犀水)博士逝去さる謹んで哀悼の意を表す/解せぬ事ども?/安曇の人物(四八)/国警県本部移動/国民道義の実践に就いて(二)/俳句)			冊子	426号～444号まで合本
1063	昭和27・6・10	1952	信濃不二 439号 (国会の不勉強/晩春雑事/解せぬ事ども?/郷土の古跡をたずねて(烏川村の巻)/稲作肥料について/加藤犀水翁追悼区会)			冊子	426号～444号まで合本
1064	昭和27・7・10	1952	信濃不二 440号 (選挙の明朗化/解せぬ事ども?/知っておきたい法の改正/安曇の人物(四九)/郷土の古跡をたずねて(高家村の巻)/堀金文芸研究会農休雅会)			冊子	426号～444号まで合本
1065	昭和27・8・10	1952	信濃不二 441号 (役人亡国?/解せぬ事ども/稲育成状況と其の後の管理について/飯沼正明飛行士(一))			冊子	426号～444号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1066	昭和27・9・10	1952	信濃不二 442号 (選挙雑感/解せぬ事ども/郷土の古跡をたずねて(倭村の巻)/衆議院議員総選挙第四区立候補者/安曇伝説 有明の鬼/安曇の人物(五十)/三宗匠立机雅会)			冊子	426号～444号まで合本
1067	昭和27・10・10	1952	信濃不二 443号 (教育委員/選挙雑感/衆議院選南安曇町村別得票数/衆議院選第四区郡市別得票表/南安曇郡教育委員当選者/安曇伝説 有明の鬼/飯沼正明飛行士(二)/備考に続く)			冊子	426号～444号まで合本 (会山環翠・石曾根民郎 合選/アルプス足袋募集入選歌詞)
1068	昭和27・12・10	1952	信濃不二 444号 (年末に思う/雑感二つ三つ/郷土の古跡をたずねて(梓村の巻)/飯沼正明飛行士(三)/昭和二十七年の終りにのぞんで/安曇野市伝説 有明の鬼/俳句選集/ニュース/人)			冊子	426号～444号まで合本
1069	昭和28・1・20	1953	信濃不二 446号 (新年に際して/新春を迎えて/郷土の古跡をたずねて(安曇村の巻)/飯沼正明飛行士(四)/理想と労働/安曇伝説 有明の鬼)			冊子	446号～462号まで合本
1070	昭和28・2・10	1953	信濃不二 447号 (安曇野の早春/二月の感想二つ三つ/爐火をかこんで/郷土の古跡をたずねて(西穂高村の巻)/岡村広吉翁/軍人恩給 七年以上勤務に支給/安曇伝説 有明の鬼/備考に続く)			冊子	446号～462号まで合本 (社会は果してどうなるのか/村雅会俳句選集/穂高中学校請負・烏川上水道第一期工事完成・高家農協料理コンクール・松風句碑の建設・西川雪峰・太田晴山宗匠・モデル写生会・豊科のミシンデパート・鉄砲の腕比べ・多収穫四石以上・穂高町消防第一分団・有明物故雅人追悼会・特別路線着工・一日市場氏子総代改選・福はうち鬼はそと・豊科町舗装道路・今年度農作物吉凶兆・玄蕃稻荷初午祭)
1071	昭和28・3・20	1953	信濃不二 448号 (春暖の三月/憂うべき事ども/保温折中苗代の普及奨励について(一)/二十八年度麦作生育経過と今後の管理に就いて/郷土の古跡をたずねて(小倉村の巻)/備考に続く)			冊子	446号～462号まで合本 (鳥居博士の長逝/安曇伝説 有明の鬼)

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1072	昭和28・5・10	1953	信濃不二 449号 (戦塵と花塵と/国民審判のもとに衆参院選了(第四区)萩本、降旗、増田の各氏当選/憂うべき事ども/衆議院選挙県下の結果/乾繭公庫を作れ/社会は果してどうなるか(二)/備考に続く)			冊子	446号～462号まで合本 (美篤刈る科野が生んだ俳聖吉楽亭喜悦翁/保温折中苗代の普及奨励について(一)/安曇伝説 有明の鬼)
1073	昭和28・6・20	1953	信濃不二 450号 (一人々々の注意/明治時代に於ける松本地方の俳界展望(上)/血涙君を憶う/時事漫語/反か/郷土の古跡をたずねて(穂高町の巻)/吉楽亭喜悦翁句碑除幕雅会/備考に続く)			冊子	446号～462号まで合本 (遺児靖国神社昇殿参拝について/靖国神社参拝)
1074	昭和28・7・20	1953	信濃不二 451号 (夏祭りの味/明治時代に於ける松本地方の俳界展望(下)/故加藤正治博士夫人 玉瑛女史を迎えて玉瑛会生る/時事漫語/安曇の人物(五二)/靖国神社に参拝し)			冊子	446号～462号まで合本
1075	昭和28・8・10	1953	信濃不二 452号 (秋風に感あり/時事漫語/郷土の古跡をたずねて 穂高町の巻(二)/靖国の父にあって/喫煙家に告ぐ/安曇人 望月織一)			冊子	446号～462号まで合本
1076	昭和28・9・10	1953	信濃不二 453号 (秋祭りの月/初秋漫想/郷土の古跡をたずねて 穂高町(三)/治水に貢献 小笠原孫一翁/紫雲英と磷酸肥料/靖国神社昇殿参拝/きさらぎ会蒲原吟行)			冊子	446号～462号まで合本
1077	昭和28・10・20	1953	信濃不二 454号 (凶作の対策/風水害に直面して/山葵献上のため参内の記/郷土の古跡をたずねて(温村の巻)/秋宵詩談/何とかならぬものか/台風/安曇人 望月織一(二))			冊子	446号～462号まで合本
1078	昭和28・12・25	1953	信濃不二 455号 (交通事故/速やかに町村合併を致しましょう/五つの雁/何とかなるだろう/祝有明道場十週年雅会)			冊子	446号～462号まで合本
1079	昭和29・1・20	1954	信濃不二 456号 (国鉄従業員/午にちなんだ警句二つ三つ/元旦の往診二題/郷土の古跡をたずねて(高家村の巻)/吉楽亭喜悦翁句碑除幕雅会/弥三郎伝記/七福神)			冊子	446号～462号まで合本

116 文化・教育 7 文学・文芸

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1080	昭和29・2・10	1954	信濃不二 457号 (町村合併問題/不連続線/郷土の古蹟をたずねて(明盛村の巻)/今年こそは豊年満作五穀豊穰であってほしい/税制改革は家計にどう響くか?/俳句の神韻)			冊子	446号～462号まで合本
1081	昭和29・3・15	1954	信濃不二 458号 (初午の頃/不連続線/郷土の古蹟をたずねて(明盛村の巻)/知らないと損をする話/町村の適正規模に就いて/感謝の明け暮れ/立足正観世音祭典雅会/煩惱無数)			冊子	446号～462号まで合本
1082	昭和29・4・25	1954	信濃不二 459号 (陽春の暗雲/郷土の古蹟をたずねて(豊科町の巻)/有明原開拓地演習地化は産業行政を破壊する/単語文芸一ト口附/わすれかねて!/玄蕃稻荷奉額安曇節/備考に続く)			冊子	446号～462号まで合本 (上押野研究会一ト口付/細萱分科会 礼評安曇節)
1083	昭和29・6・25	1954	信濃不二 460号 (合併村の名称/不連続線/郷土の古蹟をたずねて(豊科町の巻②)/農業協同組合役員/単語文芸一ト口附(起因編)/信力の泉の出所/本村雅会一ト口付)			冊子	446号～462号まで合本
1084	昭和29・7・25	1954	信濃不二 461号 (人間万事塞翁が馬/不連続線/郷土の古蹟をたずねて(有明村の巻①)/神経衰弱とヒステリー①/真の道は真直ぐなり/染色についての思い出/立足正観世音祭典奉額安曇節)			冊子	446号～462号まで合本
1085	昭和29・8・20	1954	信濃不二 462号 (同署/不連続線/郷土の古蹟をたずねて(有明村の巻②)/農業委員当選者/南安農委会長と代表者)			冊子	446号～462号まで合本